

特記仕様書の適用	追補	<p>6節 砂利、砂及び捨コンクリート地盤等</p> <p>6.6.2 [付加] a.砂利地盤に使用する砂利 *再生クラッシャラン・切込砂利又は切込碎石 b.砂地盤に使用する砂 ・砂砂 *碎砂 c.床下防湿層に使用する材料 *ポリエチレンフィルム t=0.15mm以上 ・設計図による</p> <p>6.6.3 [付加] a.厚さ *設計図による ○60mm b.適用箇所 ○基礎スラブ下 ○基礎下 c.土間コンクリート下 ○土に接するスラブ下 d.及び砂地盤 ○上記のうち地盤改良施工範囲を除く。</p> <p>6.6.4 [付加] a.厚さ *設計図による ○50mm b.設計基準強度 *設計図による ○18N/mm² * c.スランプ *設計図による ○15cm *18cm d.適用箇所 ○基礎スラブ下 ○基礎下 ○基礎下 e.土上り面の精度は、設計基礎面より上へ0mm、下へ20mm以内とする。</p> <p>6.6.5 [付加] a.適用箇所 ○床下防湿層 *建築物内との土に接するスラブ及び土間コンクリート下のすべてとし、ピット下を除く。 b.防湿層の重ね合せ部は、接着テープ等で貼り合わせるなど、隙間のないよう施工する。端部処理も同様に、隙間のないよう施工する。</p> <p>6.6.6 [付加] a.深さ 地盤名 長期許容支持力 度 備考 SGL- 1.8 m ~ SGL- 7.7 m 砂礫 300 kN/m² SGL- m ~ SGL- m kN/m² SGL- m ~ SGL- m kN/m²</p> <p>SGLの定義は工事概要書1-11 8による。(地層に関する設計図番号:構2-1)</p> <p>6.6.7 [付加] a.柱、梁等の加工に用いるかぶり厚さは、設計図に示す設計用かぶり厚さを標準とする。 b.D32以上の鉄筋のかぶり厚さ及び簡略については、設計図によるとともにJASS 5NC(原子力発電所施設における鉄筋コンクリート工事)による。</p> <p>6.6.8 [付加] a.鉄筋のかぶり厚さに対する許容差は、床スラブ、屋根スラブにあっては+5mm、-0mm。その他の部位にあっては±10mmとする。</p> <p>6.6.9 [付加] a.設計図に寸法を指定する箇所を除き、鉄筋は等間隔で配筋する。 b.土に接する部分に軽量コンクリートを用いる場合のかぶり厚さ *設計用かぶり厚さに10mm加える c.高炉セメントB種を使用した場合のかぶり厚さ *設計用かぶり厚さに10mm加える</p> <p>6.6.10 [付加] a.耐久性上不利な箇所のかぶり厚さは、次による。 施工箇所 設計用かぶり厚さに加える寸法(mm) b.特殊な鉄筋相互のあき *なし ・あり(*設計図による)</p> <p>6.6.11 [付加] a.各部配筋は、次による。 *設計図による *設計図によるほか、織仕【各部配筋参考図】1節～7節による b.鉄筋の加工寸法の許容差は、次による。</p> <p>6.6.12 [付加] a.耐震スリットの設置箇所、種類、形状 *設計図による b.耐震スリット部への処置 1)防火区画部、耐火材の使用箇所及び仕様 *設計図による 2)遮音材の使用箇所及び仕様 *設計図による 3)水掛り部の防水シーリングの使用箇所及び仕様 *設計図による 4)耐震スリットの納まり *設計図による</p> <p>6.6.13 [付加] a.溶接金網、鉄筋格子の形状・寸法・径 種類 記号 使用箇所 径(mm) ・溶接金網 WFP ・鉄筋格子 S0295</p> <p>6.6.14 [付加] a.溶接金網、鉄筋格子の形状及び寸法は、設計図及び標準配筋要領図による。</p> <p>6.6.15 [付加] a.溶接金網の施工位置 施工箇所の配置図 施工箇所の品質記録 施工期間中の地盤の計測記録 土質試験、地下水位測定等の記録 そのほか、施工手順、工事中の施工写真等、参考となる資料</p> <p>6.6.16 [付加] a.杭地盤、地中壁地盤及び地盤改良地盤の施工日ごとに、施工時の検査記録等を監理者に提出する。検査記録には支持層上面と判断されたレベル、及び杭先端又は地盤改良底部レベルのSGLからの寸法を記入する。 b.杭地盤、地中壁地盤及び地盤改良地盤の全施工完了後の検査記録には、近傍の土質柱状図を併記する。 c.杭地盤、地中壁地盤及び地盤改良地盤の施工は、専門工事業者による。 d.杭地盤、地中壁地盤の施工には、杭工事管理者を置く。なお、杭工事管理者は「基礎施工士」の資格を有する者とする。 e.工事に先立ち、施工計画書を作成し、監理者の承認を受ける。</p> <p>6.6.17 [付加] a.杭地盤、地中壁地盤及び地盤改良地盤の施工前に、専門工事業者と共に、発注者、監理者、設計者と施工前協議を行う。 b.協議内容は、施工計画書に記載すべき事項、施工前の地盤調査結果、並びに施工時に問題が生じた際の措置とする。 c.協議の際に、地盤調査位置、試験施工位置の確認を行い、確認した記録を協議記録と合わせて監理者に提出する。 d.検査試験の結果、規定の精度を満たさないもの及び耐力不足と判断された場合は、施工前に協議にて定めた措置をとり、監理者に報告する。</p> <p>6.6.18 [付加] a.砂利、砂、捨コンクリート地盤及び置換コンクリート地盤においては、根切り底の試験掘りを行い、土質や地下水位の状況を確認する。 b.支持層レベル確認のための追加地盤調査・行う(箇所) *行わない *ボーリング(各箇所深さ m)による深さ mごとの標準貫入試験及びサンブル採取(SPTサンプランナーによる) c.地盤調査位置 *設計図による</p> <p>6.6.19 [付加] a.平板載荷試験 *行わない</p>	<p>5.4.7 [付加] a.鉄筋を切断したのち、圧接作業までに時間がかかる場合等で、監理者の承認のうえで防錆上の観点から端面に圧接端面保護剤を塗布することができる。圧接端面保護剤は、日本鉄筋継手協会による認定を受けた、ガス圧接部の性能に影響を及ぼさない塗料を用いる。</p> <p>5.4.8 [付加] a.ガス圧接については、圧接作業終了後の外観試験及び抜取試験を行う。検査及び試験の実行は、日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書ガス圧接工事(2017年)」による。 b.外観試験 1)目視による外観検査を全数実施するほか、次に示す詳細外観検査を行う。 イ)検査数は、抜き取り試験の1ロットあたり3箇所とする。 ロ)検査項目、検査方法、合否判定基準は、日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書ガス圧接継手工事(2017年)」(4,7,2 外観検査)による。 ハ)詳細外観検査を行ったのち、ロット番号、部材番号、鉄筋径、各項目の測定値、検査結果等を結果一覧表に記録し、監理者へ提出するとともに、記録と検査部位が隠蔽できるようにする。</p> <p>c.抜取試験の方法 -引張試験 *引張試験かつ超音波探傷試験 ○超音波探傷試験 1)引張試験の試験機関は、原則として公的試験機関とする。 2)引張試験の試験片の形状、寸法及び試験方法は、JIS Z 3120とする。 3)引張試験の試験片を採取した箇所は、同種の鉄筋を圧接して巻き足す。ただし、D32以下の場合は、監理者の承認のうえで重ね継手とすることができる。 4)超音波探傷試験のロット区分は引張試験と同様とする。試験方法、判定基準は、JIS Z 3062(かく、次の5)による。 5)JIS Z 3062による超音波探傷試験の合否判定基準は、基準レベルの-2dB(日本鉄筋継手協会 A級継手相当)とする。 6)4におけるJIS Z 3062による超音波探傷試験と併用する試験 *行う(JIS Z 3063による超音波角探触子を用いたK走査法とする。合否判定基準は、基準レベルの-20dBとする。ただし、二面動子斜角探触子を用いたK走査法は、監理者との協議により参考扱いも可とする。) ・行わない 7)超音波、引張の各試験の試験片の採取位置の選定は、圧接作業の難易度にも配慮したうえで、バランスよくランダムに選出した位置とする。 8)超音波、引張の各抜取試験のロット番号、抜取位置、鉄筋径、各項目の測定値、検査員等を結果一覧表に記録し、監理者へ提出するとともに、記録と検査部位が隠蔽できるようにする。また、試験を行な技能者からの検査報は、受注者と同時に監理者へも送付する。 9)試験を併用する場合の合否判定は、引張試験及び超音波探傷試験の合否判定を、それぞれの試験で独立して行い、いずれかが不合格となった場合は当該試験を不合格として扱い、5.4.11に示す不合格が生じた場合の処置を行う。</p> <p>5.4.9 [付加] a.各部配筋は、次による。 *設計図による *設計図によるほか、織仕【各部配筋参考図】1節～7節による b.鉄筋の加工寸法の許容差は、次による。</p> <p>5.4.10 [</p>
----------	----	---	---

2節 コンクリートの種類及び品質	6.2.1 コンクリートの種類	a.コンクリートの類別 *Ⅰ類	[付加] 9.回収水のうち上澄水を使用する場合は、次の規定を満足する。配合計画書にて水質試験結果を提出する。 検査項目 品質規準 検査頻度 検査方法 懸濁物質の濃度 透視度深さ20cm以上(2g/L以下) 1回/日(始業前) 透視度計による目視 懸濁物質の量 ≦2g/L x JIS A 5308 附属書C 溶解性蒸発残留物の量 ≦5g/L x JIS A 5308 附属書C *12か月に1回及び受注契約時に製造者と協議により必要と認められた場合	f.スリーブの材料と使用箇所 ・設計図による *下表による(設計図に記載がある場合を除く) 表 型枠に設ける配管用等のスリーブの使用箇所と材料	[付加] 15節 流動化コンクリート a.流動化コンクリートの適用箇所 *設計図による 一般事項
	6.2.2 コンクリートの強度	b.コンクリートの種類 番号 設計基準強度 Fc(N/mm²) スランプ(cm) 単位水量の上限値(kg/m³) 使用箇所 備考	1 普通 27 18 170 開床より上の躯体 檜2以外 2 普通 27 15 170 開床以下の躯体 檜2以外 3 普通 27 15 175 開床より上の躯体 檜2以外 4 普通 21 15 170 保護コン、機械基等 檜2以外	外壁貫通部(地上) ・つば付きステンレス鋼管 ・設計図による ◎高張力化ビニル管	6.15.1 17節 化粧打放しコンクリート a.この節は、コンクリート化粧打放し仕上げ(保護クリヤー塗装、撥水剤仕上げ等がある場合を含む)の箇所に用いるコンクリートに適用する。適用箇所は、設計図による。 一般事項
	6.2.4 ワーカビリティ及びスランプ			地下外壁(梁部とも)貫通部 ・つば付き鋼管 ◎硬質ポリ塩化ビニル管(◎非加硫ブチルゴム系止水材巻付け・水膨張性ゴム系止水材巻付け) ・つば付き溶融鉛めっき鋼管(HDZ77) ・つば付き外側水鉄管	6.15.2 6.17.1 材料 a.セメント及び混和材料は、それぞれ同一製造者のものを(*用いる・用いない)。 b.骨材は、同一产地のものを(*用いる・用いない)。 c.型枠のせき板は、次による。 1)標準[6.8.2(2)(ア)]による合板(厚さ*12mm・15mm)とし、損傷のないものとする。 2)製造者は同一のものを(*用いる・用いない)。 3)合板以外のせき板を用いる場合は、設計図による。
	6.3.2 コンクリートの調合			地中で水密性を要しない貫通部 *硬質ポリ塩化ビニル管	6.17.2 6.17.3 品質 a.コンクリート表面の仕上り状態 1)色むら、目違い、不陸等の極めて少ない良好な面とする。 2)凹凸模様等特殊なせき板を用いる場合は、設計図による。 b.コンクリートの打継ぎ計画について検討し位置、打継ぎ部の詳細について監理者の承認を受ける。
	6.9.4 調合管理強度の管理試験	1)コンクリート番号(1-3)については構造体強度補正を行なう。 場所打ちコンクリート杭の構造体強度補正値(S)の値は4.5%による。 2)コンクリート番号(1-)については、試し練りを行う。 3)コンクリート番号(1-3)については、調合管理強度の管理試験を行う。 4)コンクリート番号(1-3)については、構造体コンクリート強度の推定試験を行う。 5)コンクリート番号(1-)については、建築基準法第37条二号に規定する国土交通大臣の認定を受けたコンクリートとする。 6)コンクリート番号(1-)については、次に示す材料試験を行う。 コンクリートの材料試験	[付加] 1.コンクリート用化学増強剤において促進のものは、原則として使用しない。使用する場合は、監理者の承認を受ける。 [付加] 2.コンクリート番号(1-)については、品質及び供給の安定性を確認し、コンクリートの品質に及ぼす影響を明らかにしたうえで、監理者の承認を受ける。 [付加] 3.コンクリート用において防錆剤は原則として使用しない。	屋内一般部 *溶融鉛めっき鋼板製又は硬質ポリ塩化ビニル管 ・鋼管(白管)	6.17.4 6.17.5 型枠 a.型枠の割付けは、すべての面のせき板、コーン割付け図を作成して、監理者の承認を受ける。 b.合板せき板による型枠の転用は、寸法及びセパレーター位置が同一の場合に限り、3回までを限度として行なうことができる。 c.型枠の加工、組立は、次による。 1)型枠の加工は、日光の直射及び雨露にさらされない場所で行なう。 2)型枠製作及び組立に当たっては、コンクリートの一区画内にせき板の木目、色あい、肌合い等のバランスがとれた型枠となるよう材料を選別する。 3)加工、組立において、合板せき板に加工被膜のほく離や表面の傷等の欠陥がないことを確認する。 4)型枠内の密着性を上げるため、合板せき板端部の株木の位置は、入念に調整を行う。 5)面木、目地棒は、ラワン材にビニールライニングした材質とし、形状は、三角面木、ビン角面木、合板組合せ面木等から、監理者と協議を行なう。 6)セパレーターは、ストロングペース(2分5厘)又は3分のものを使用する。 7)せき板の底面には、ノロ止めツバを使用する。 8)入力溝の型枠の小口処理は、はく離剤又はウレタン系塗料塗りとする。 9)型枠の転用時は、小口のれんを適切に行なう。表面のコーティング面は、傷がつかないようラテックス系塗料塗りを行う。 10)柱、梁、出入口、窓まわり等の出隅形状は、次による。 *面取り(mm)・角出し ◎設計図による
	6.10.2 材料及び調合		[付加] 4.コンクリート用セメント及び混和材料の使用量を配合計画書に示し、監理者の承認を受ける。	6.17.6 11)設備機器・プレート類周辺の形状は、設計図による。	
	6.9.5 構造体コンクリート強度の推定試験		[付加] 5.コンクリート用試験機器の使用量を配合計画書に示し、監理者の承認を受ける。		
	6.10.1 調合管理強度の管理試験		[付加] 6.コンクリート用試験機器の使用量を配合計画書に示し、監理者の承認を受ける。		
	6.10.2 材料及び調合		[付加] 7)コンクリートの製造に先立ち、配合計画書を作成し、監理者の承認を受ける。		
	6.2.5 [(1)付加] 構造体コンクリートの仕上り	a.部材の位置及び断面寸法の許容差 *標準[表6.2.3]による・許容差()適用箇所()	[付加] 6.6.1 [付加] a.コンクリートポンプによる送圧を行う技能資格者は、コンクリート圧送施工技能士1級の技能を有する者とする。 b.コンクリートの打込みに際し、その品質管理のため監理技術者、監理技術者補佐又は主任技術者は、必ず立会い、作業状況を確認し、監理者に報告を行う。	6.17.7 6.17.8 6.17.9 6.17.10 6.17.11 6.17.12 6.17.13 6.17.14 6.17.15 6.17.16 6.17.17 6.17.18 6.17.19 6.17.20 6.17.21 6.17.22 6.17.23 6.17.24 6.17.25 6.17.26 6.17.27 6.17.28 6.17.29 6.17.30 6.17.31 6.17.32 6.17.33 6.17.34 6.17.35 6.17.36 6.17.37 6.17.38 6.17.39 6.17.40 6.17.41 6.17.42 6.17.43 6.17.44 6.17.45 6.17.46 6.17.47 6.17.48 6.17.49 6.17.50 6.17.51 6.17.52 6.17.53 6.17.54 6.17.55 6.17.56 6.17.57 6.17.58 6.17.59 6.17.60 6.17.61 6.17.62 6.17.63 6.17.64 6.17.65 6.17.66 6.17.67 6.17.68 6.17.69 6.17.70 6.17.71 6.17.72 6.17.73 6.17.74 6.17.75 6.17.76 6.17.77 6.17.78 6.17.79 6.17.80 6.17.81 6.17.82 6.17.83 6.17.84 6.17.85 6.17.86 6.17.87 6.17.88 6.17.89 6.17.90 6.17.91 6.17.92 6.17.93 6.17.94 6.17.95 6.17.96 6.17.97 6.17.98 6.17.99 6.17.100 6.17.101 6.17.102 6.17.103 6.17.104 6.17.105 6.17.106 6.17.107 6.17.108 6.17.109 6.17.110 6.17.111 6.17.112 6.17.113 6.17.114 6.17.115 6.17.116 6.17.117 6.17.118 6.17.119 6.17.120 6.17.121 6.17.122 6.17.123 6.17.124 6.17.125 6.17.126 6.17.127 6.17.128 6.17.129 6.17.130 6.17.131 6.17.132 6.17.133 6.17.134 6.17.135 6.17.136 6.17.137 6.17.138 6.17.139 6.17.140 6.17.141 6.17.142 6.17.143 6.17.144 6.17.145 6.17.146 6.17.147 6.17.148 6.17.149 6.17.150 6.17.151 6.17.152 6.17.153 6.17.154 6.17.155 6.17.156 6.17.157 6.17.158 6.17.159 6.17.160 6.17.161 6.17.162 6.17.163 6.17.164 6.17.165 6.17.166 6.17.167 6.17.168 6.17.169 6.17.170 6.17.171 6.17.172 6.17.173 6.17.174 6.17.175 6.17.176 6.17.177 6.17.178 6.17.179 6.17.180 6.17.181 6.17.182 6.17.183 6.17.184 6.17.185 6.17.186 6.17.187 6.17.188 6.17.189 6.17.190 6.17.191 6.17.192 6.17.193 6.17.194 6.17.195 6.17.196 6.17.197 6.17.198 6.17.199 6.17.200 6.17.201 6.17.202 6.17.203 6.17.204 6.17.205 6.17.206 6.17.207 6.17.208 6.17.209 6.17.210 6.17.211 6.17.212 6.17.213 6.17.214 6.17.215 6.17.216 6.17.217 6.17.218 6.17.219 6.17.220 6.17.221 6.17.222 6.17.223 6.17.224 6.17.225 6.17.226 6.17.227 6.17.228 6.17.229 6.17.230 6.17.231 6.17.232 6.17.233 6.17.234 6.17.235 6.17.236 6.17.237 6.17.238 6.17.239 6.17.240 6.17.241 6.17.242 6.17.243 6.17.244 6.17.245 6.17.246 6.17.247 6.17.248 6.17.249 6.17.250 6.17.251 6.17.252 6.17.253 6.17.254 6.17.255 6.17.256 6.17.257 6.17.258 6.17.259 6.17.260 6.17.261 6.17.262 6.17.263 6.17.264 6.17.265 6.17.266 6.17.267 6.17.268 6.17.269 6.17.270 6.17.271 6.17.272 6.17.273 6.17.274 6.17.275 6.17.276 6.17.277 6.17.278 6.17.279 6.17.280 6.17.281 6.17.282 6.17.283 6.17.284 6.17.285 6.17.286 6.17.287 6.17.288 6.17.289 6.17.290 6.17.291 6.17.292 6.17.293 6.17.294 6.17.295 6.17.296 6.17.297 6.17.298 6.17.299 6.17.300 6.17.301 6.17.302 6.17.303 6.17.304 6.17.305 6.17.306 6.17.307 6.17.308 6.17.309 6.17.310 6.17.311 6.17.312 6.17.313 6.17.314 6.17.315 6.17.316 6.17.317 6.17.318 6.17.319 6.17.320 6.17.321 6.17.322 6.17.323 6.17.324 6.17.325 6.17.326 6.17.327 6.17.328 6.17.329 6.17.330 6.17.331 6.17.332 6.17.333 6.17.334 6.17.335 6.17.336 6.17.337 6.17.338 6.17.339 6.17.340 6.17.341 6.17.342 6.17.343 6.17.344 6.17.345 6.17.346 6.17.347 6.17.348 6.17.349 6.17.350 6.17.351 6.17.352 6.17.353 6.17.354 6.17.355 6.17.356 6.17.357 6.17.358 6.17.359 6.17.360 6.17.361 6.17.362 6.17.363 6.17.364 6.17.365 6.17.366 6.17.367 6.17.368 6.17.369 6.17.370 6.17.371 6.17.372 6.17.373 6.17.374 6.17.375 6.17.376 6.17.377 6.17.378 6.17.379 6.17.380 6.17.381 6.17.382 6.17.383 6.17.384 6.17.385 6.17.386 6.17.387 6.17.388 6.17.389 6.17.390 6.17.391 6.17.392 6.17.393 6.17.394 6.17.395 6.17.396 6.17.397 6.17.398 6.17.399 6.17.400 6.17.401 6.17.402 6.17.403 6.17.404 6.17.405 6.17.406 6.17.407 6.17.408 6.17.409 6.17.410 6.17.411 6.17.412 6.17.413 6.17.414 6.17.415 6.17.416 6.17.417 6.17.418 6.17.419 6.17.420 6.17.421 6.17.422 6.17.423 6.17.424 6.17.425 6.17.426 6.17.427 6.17.428 6.17.429 6.17.430 6.17.431 6.17.432 6.17.433 6.17.434 6.17.435 6.17.436 6.17.437 6.17.438 6.17.439 6.17.440 6.17.441 6.17.442 6.17.443 6.17.444 6.17.445 6.17.446 6.17.447 6.17.448 6.17.449 6.17.450 6.17.451 6.17.452 6.17.453 6.17.454 6.17.455 6.17.456 6.17.457 6.17.458 6.17.459 6.17.460 6.17.461 6.17.462 6.17.463 6.17.464 6.17.465 6.17.466 6.17.467 6.17.468 6.17.469 6.17.470 6.17.471 6.17.472 6.17.473 6.17.474 6.17.475 6.17.476 6.17.477 6.17.478 6.17.479 6.17.480 6.17.481 6.17.482 6.17.483 6.17.484 6.17.485 6.17.486 6.17.487 6.17.488 6.17.489 6.17.490 6.17.491 6.17.492 6.17.493 6.17.494 6.17.495 6.17.496 6.17.497 6.17.498 6.17.499 6.17.500 6.17.501 6.17.502 6.17.503 6.17.504 6.17.505 6.17.506 6.17.507 6.17.508 6.17.509 6.17.510 6.17.511 6.17.512 6.17.513 6.17.514 6.17.515 6.17.516 6.17.517 6.1	

2節 材料	7.2.1 鋼材	a.種類等 次による 種類の記号 使用箇所 名称 備考	7.2.8 スタッド SW490A 檻3:トラス部材等 電炉材の使用を可とする SW400C 檻3:通しダイアフラム等 鋼板等 電炉材の使用を可とする SS400 小梁,閣柱等 形鋼,鋼板等 電炉材の使用を可とする BCR295 檻3:檻柱等 冷間成形角鋼 TSC295への変更を可とする SSC400 下地材等 軽量形鋼 電炉材	7.2.9 a.種別 柱底均しモルタル [付加] b.28日材幹圧縮強度 *設計図による 7.2.10 材料試験等	a.スタッド *頭付スタッド・ねじ付き溶接スタッド・異形鉄筋スタッド b.スタッドの呼び名、呼び長さ *設計図による a.種別 *無収縮モルタル b.28日材幹圧縮強度 *設計図による c.柱の建方に先立ち、その支持にモルタル以外のものを使用する場合は、監理者との協議による。 a.鋼材の材料試験は次による。ただし、7.2.1,fの場合を除く。 *行わない ・行う(対象鋼材: 1)試験要領は、次による。 試験の回数は、製造ロット及び断面の異なるごとに、質量20t以下は1回、20tを超える場合は20tごと及びその端数につき1回とし、機械的性質の試験体は1回の試験につき3体とする。事前に材料試験要領書を作成し、監理者の承認を受ける。	c.試験方法、試験片の摩擦面の状態 *日本建築学会「高力ボルト接合設計施工ガイドブック」による 7.4.5 [付加] 繕付け工法の確認 a.JIS形高力ボルトの長さがねじの呼び径の5倍を超える場合は、導入張力試験を行う。 b.トルシア形超高力ボルト(F14T)は、構造図に示すトルシア形超高力ボルト導入張力試験を実施する。 7.4.7 繕付け a.JIS形高力ボルトの長さがねじの呼び径の5倍を超える場合の回転量 *7.4.5 a号の結果による	7.6.11 [付加] a.溶接部の試験を行なう検査会社は、機器・材料製造者・専門工事業者一覧表から選定し、かつ受注者との第三者性が確保されていると監理者が承認した検査会社とする。 b.溶接部の受入検査 発注者の直接発注による溶接部の受入検査 *行わない 発注者の直接発注による受入検査を行わない場合は、受注者の発注とし、その費用は受注者の負担とする。この場合、日々の受入検査の結果は、検査会社から直接受注者及び監理者に同時に報告する。 ・行う c.溶接部の試験を行なう技能資格者は、CIW(日本溶接協会溶接検査認定委員会)の認定事業所に所属し、鉄骨技術者教育センターが認定する「建築鉄骨製品検査技術者」と「建築鉄骨超音波検査技術者」の資格を有する者とする。
[付加]	c.電炉広幅平鋼、電炉鋼板及び電炉H形鋼を使用する場合の種類、板厚及び板幅は次による。	銅材の種類 種類の記号 板厚 板幅	銅材の種類 種類の記号 板厚 板幅	[付加]	a.電炉広幅平鋼 SN400, SN400A/B 電炉広幅平鋼 40mm以下 500mm以下 SN490B/C SN400, SN400A/B/C 電炉鋼板 TMCP325B 40mm超え60mm 以下 TMCP325C 40mm超え50mm 以下 電炉H形鋼 SS400, SN400A/B JIS G 3192 SN490A, SN490B 製造者製造可能寸法	a.電炉広幅平鋼は、普通鋼電炉工業会「建築構造用広幅平鋼メーカー規格」の化学成分及び機械的性質を満足するものとする。 4.90N/mm ² 級電炉広幅平鋼は、400N/mm ² 級電炉広幅平鋼、400N/mm ² 級及び490N/mm ² 級(TMCP325を含む)電炉鋼板、400N/mm ² 級及び490N/mm ² 級電炉H形鋼は、該当する鋼材のJIS規格の化学成分及び機械的性質を満足するものとする。 e.塑性化部位に使用する電炉鋼材は、表7.2.1,1の種類とし、規定の化学成分及び機械的性質は、JIS規格に記載して表7.2.1,2に満足するものとする。 表7.2.1,1 塑性化部位に使用する電炉鋼材の化学成分(%)	7.6.12 溶接部の試験 a.完全溶込み溶接部の食違い、仕口のずれ検査 1)工場溶接部の食違い、仕口のずれ検査の抜取検査方法は、「独立行政法人 建築研究所 監修 実合せ継手の食違い、仕口のずれ検査・補強マニュアル」の抜取検査①(社内検査記録の検証)による。 2)工事現場溶接部の食違い、仕口のずれ検査は、全数とする。 b. JASS6付則6(鉄骨精度検査基準)の付表3「溶接」に関する試験方法は、超音波探傷試験を行った完全溶込み溶接部について、寸法形状等の外観検査をJASS6 10.4のgにより行う。 c.完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 工場溶接部 *行う 工事現場溶接部 *行う 試験に先立ち、事前に検査要領書を作成し、監理者の承認を受ける。 d.完全溶込み溶接部の超音波探傷試験の抜取り率は次による。 工場溶接部 *10%以上 *以上 工事現場溶接部 *100% *以上
[付加]	d.4.90N/mm ² 級電炉広幅平鋼は、普通鋼電炉工業会「建築構造用広幅平鋼メーカー規格」の化学成分及び機械的性質を満足するものとする。 4.90N/mm ² 級電炉広幅平鋼は、400N/mm ² 級電炉広幅平鋼、400N/mm ² 級及び490N/mm ² 級(TMCP325を含む)電炉鋼板、400N/mm ² 級及び490N/mm ² 級電炉H形鋼は、該当する鋼材のJIS規格の化学成分及び機械的性質を満足するものとする。	7.6.13 a.技量付加試験 *行う・行わない 技量付加試験を行う場合の、試験項目は下記による。 ①工場溶接・工事現場溶接・鋼管溶接・ロボット溶接 b.溶接技能者の技量付加試験は以下による。 1)技量付加試験の受験資格、試験の項目及び試験要領等は、AW検定協会「AW検定(建築鉄骨溶接技量検定)」の工場溶接・現場溶接・鋼管溶接、及びロボット溶接オペレータの各試験 運用規定、試験基準及び判定基準」による。事前に技量付加試験要領書を作成し、監理者の承認を受ける。 2)試験に使用する鋼種は、原則として本工事に使用するものと同一とする。 3)試験に使用する溶接材料の規格及び径は、原則として本工事に使用するものと同一とする。 4)代替エンドタブを使用する場合は技量付加試験(代替タブ)を追加する。技量付加試験の受験資格、試験の項目及び試験要領等は、AW検定協会「AW検定(建築鉄骨溶接技量検定)」試験運用規定、試験基準及び判定基準」による。技量付加試験に合格した場合でも溶接施工は下向姿勢限界とする。 5)前a号 技量付加試験は、過去に実施した技量付加試験合格者、及び「AW検定」の有資格者で監理者の承認を得た場合は、該当する技量付加試験を免除することができる。ただし、AW検定試験に規定されていない姿勢や特殊な溶接材料、裏当て金、エンドタブ等を用いる場合は、施工内容に応じて試験を行う。 6)F鋼等の特殊鋼及び550N/mm ² 級を超える鋼材を用いて施工する場合、又は550N/mm ² 級鋼材を550N/mm ² 級の溶接材料を用いて施工する場合は、技量付加試験を行う。この場合の受験資格は、「AW検定」の有資格者とする。 7)「溶接技能者技量付加試験合格者」の有効期間は、「AW検定」の規定に準ずる。 8)前項6)に該当し過去に試験を行った場合は、受注者は技量付加試験報告書及び当該鋼種の継続的な溶接施工実績を提出し、監理者の承認を得た場合は、該当する技量付加試験は免除することができる。	7.6.14 a.開先形状 *設計図による	7.6.15 a.高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縫隙距離、ボルト間隔、ゲージ等 *設計図による b.床書き現況 *行わない c.型板、定規の確認 *行う(対象部位： (実施時期：*工作図の詳細図を確定する以前 - 行わない d.増築工事等の場合は、既存建築物との取合い部分を現場実測のうえ作成する。	7.6.16 a.エレクトロスラグ溶接部の試験 1)合否判定基準は、日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」 2)上記a号に引張応力が作用する場合による。 イ.溶接部内部欠陥の検出 溶接部内部の欠陥は、欠陥長さ1mm単位で求めて欠陥指示長さとする。 ロ.溶込み指示幅の測定 全溶込み指示幅は、内ダイアフラムの板厚+6mm以上とする。全溶込み幅が不足する場合は、不足する範囲を1mm単位で測定して、この長さを欠陥指示長さとする。 溶込み幅の境界点が複数の場合 溶込み幅の境界点と溶接予定線の内側へのすれば、0以下とする。溶込み幅の境界点と溶接予定線の内側へのすれば、0を超えた場合は、該当部分の長さを1mm単位で求め、これで欠陥指示長さとする。 2)不合格部位の処置 不合格と判定された箇所は、ロットの合否と併せて報告する。鉄骨製作工場は、監理者の指示による補修方法により補修する。		
[付加]	f.塑性化部位に使用する電炉鋼材は、e号に示す化学成分及び機械的性質を満足する製品を供給出来ると認められた鋼材製造者の製品とする。受注者は、規格品証明書又は原本相当規格品証明書を提出し監理者の承認を受ける。	7.3.2 a.高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縫隙距離、ボルト間隔、ゲージ等 *設計図による b.床書き現況 *行わない c.型板、定規の確認 *行う(対象部位： (実施時期：*工作図の詳細図を確定する以前 - 行わない d.増築工事等の場合は、既存建築物との取合い部分を現場実測のうえ作成する。	7.6.17 a.エンドタブの切削部位 *配筋上支障となる部分 ①見え掛り部 (檻3のトラス部材等) ②柱仕口部 () b.エンドタブの切削部の仕上げの程度 ①エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から、1~5mm残して、部材断面を欠損しないように直線状に切斷する。切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。また切断面は、グラウンド掛けにより、粗さ100μm程度以下及びノッチ深さ1mm程度以下に仕上げる。 (適用部位：*配筋上支障となる部分・見え掛け部・柱仕口部) ②エンドタブ、裏当て金等は、切除のうえ、部材断面を欠損しないように切断面をグラウンド掛けにより仕上げる。適用部位、仕上げの程度は、次による。 (適用部位：*見え掛け部・柱仕口部) c.板厚が異なる完全溶込み溶接突合せ継手の形状 -低应力高サイクル荷重を受ける部位 (適用部位：) d.完全溶込み溶接部のスカラップ形状 工場溶接 *ノースカラップ工法 ・複合円型スカラップ工法 工事現場溶接 *複合円型スカラップ工法 ・ノースカラップ工法 ・反転スカラップ工法 (桧端工事現場溶接のみ) e.溶接施工試験 *行わない -行う(試験内容：) 溶接施工試験を行う場合は、事前に溶接施工試験要領書を作成し、監理者の承認を受ける。	7.6.18 a.溶接ロボットによる溶接施工試験 使用する溶接ロボットが日本ロボット工業会の建築鉄骨溶接ロボット型式認定範囲内の溶接施工をする場合、本工事の施工条件を踏まえ、7.6.3に示すロボット溶接オペレーターによる溶接施工試験を行う。事前に溶接施工試験要領書を作成し、監理者の承認を受ける。 f.溶接ロボットによる溶接施工試験 *行わない -行う(適用部位： 仕上げ程度： 仕上げを行う場合、部材断面を欠損しないようにビードを仕上げる。 g.溶接ビードの見え掛け部/ケラインダ掛け *行わない -行う(適用部位： 仕上げ程度： 仕上げを行う場合、部材断面を欠損しないようにビードを仕上げる。	7.6.19 a.関連する工事のため、金物等を鉄骨部材に溶接する場合は、棊仕[7.6.1]に示す最小ピード長さを確保するとともに、必要に応じて予熱等の措置を行う。 b.溶接は、棊仕[7.6.1]による技量を有する溶接技能者が行う。ただし、捨てプレート上の溶接等については監理者の承認を得て、溶接方法・溶接姿勢に応じた、JIS Z 3801又はJIS Z 3841有資格者による溶接とができる。	7.7.8 a.合成スラブ用を含むデッキプレートを鉄骨部材に溶接する場合の溶接方法は、以下による。 *鋼肉溶接・焼抜き栓溶接 b.合成スラブ用を含むデッキプレートの鉄骨部材に溶接する場合の施工方法は、平14国交告第326号による。 c.鉄筋・トラス付デッキプレートの鉄筋を鉄骨部材に溶接する場合の溶接方法は、フレア溶接とし、施工方法は、採用する製造者の仕様による。 d.溶接技能者は、JIS Z 3801又はJIS Z 3841による有資格者とする。 e.母材にアンダーカット等の有害な欠陥を生じないよう溶接する。	
7.2.2 [(1)置換] 高力ボルト	a.高力ボルト ◎トルシア形高力ボルト(JSS II 09J)大臣認定品 2種(S10T) ◎JIS形高力ボルト(JIS B 1186) 2種(F10T)トルク係数による種類 A ◎溶融亜鉛めっき高力ボルト(大臣認定品) 1種(FBT) トルク係数による種類 A ・防錆処理高力ボルト(大臣認定品) 2種(F10T)トルク係数による種類 A	7.3.3 a.製作精度 * JASS 6 [付則6](鉄骨精度検査基準)による	7.6.20 a.溶接部の試験を行なう検査会社は、機器・材料製造者・専門工事業者一覧表から選定し、かつ受注者との第三者性が確保されていると監理者が承認した検査会社とする。 b.溶接部の受入検査 発注者の直接発注による溶接部の受入検査 *行わない c.溶接部の試験を行なう技能資格者は、CIW(日本溶接協会溶接検査認定委員会)の認定事業所に所属し、鉄骨技術者教育センターが認定する「建築鉄骨製品検査技術者」と「建築鉄骨超音波検査技術者」の資格を有する者とする。	7.6.21 [付加] a.溶接部の試験を行なう検査会社は、機器・材料製造者・専門工事業者一覧表から選定し、かつ受注者との第三者性が確保されていると監理者が承認した検査会社とする。 b.溶接部の受入検査 発注者の直接発注による溶接部の受入検査 *行わない c.溶接部の試験を行なう技能資格者は、CIW(日本溶接協会溶接検査認定委員会)の認定事業所に所属し、鉄骨技術者教育センターが認定する「建築鉄骨製品検査技術者」と「建築鉄骨超音波検査技術者」の資格を有する者とする。	7.6.22 [付加] a.溶接部の試験を行なう検査会社は、機器・材料製造者・専門工事業者一覧表から選定し、かつ受注者との第三者性が確保されていると監理者が承認した検査会社とする。 b.溶接部の受入検査 発注者の直接発注による溶接部の受入検査 *行わない c.溶接部の試験を行なう技能資格者は、CIW(日本溶接協会溶接検査認定委員会)の認定事業所に所属し、鉄骨技術者教育センターが認定する「建築鉄骨製品検査技術者」と「建築鉄骨超音波検査技術者」の資格を有する者とする。		
[付加]	b.b.高力ボルトのねじの呼び *設計図による	7.3.4 a.溶接施工<br					

7.8.2 塗装の範囲	a.耐火板張り・耐火材巻付け工法等の耐火被覆を施す部材の錆止め塗装 ・行わない * 行う (適用部位 :) b.耐火板張り・耐火材巻付け工法等以外の耐火被覆を施す部材の錆止め塗装 ○行わない * 行う (適用部位 :)	[付加] b.施工検査 i) 鉄骨工事の施工が完了した時点で、JASS 6 [10節] (工事現場施工)による施工検査を行う。 [付加] c.座屈拘束フレース・制振フレース等に施工時応力を入れない部材の建方 * 行わない * 行う (対象部位 :) [付加] d.エレベーターシャフト内柱等の動力を保持することが想定されていない柱については、コンクリート打込み後に本締めを行うなど施工方法を検討し、監理者の承認を受ける。	
7.8.4 塗料種別	a.鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブ内面の錆止め塗料の種別 ・設計図による ○種仕 [表18.3.1] A種 b.耐火板張り・耐火材巻付け工法等の耐火被覆を施す面の錆止め塗料の種別 ・設計図による ○種仕 [表18.3.1] A種 c.耐火板張り・耐火材巻付け工法等以外の耐火被覆を施す面の錆止め塗料の種別 ・設計図による ○種仕 [表18.3.1] A種		
9節 耐火被覆			
7.9.1 一般事項	〔付加〕 a.鉄骨の耐火被覆に関する特記事項 * 19章15節による ・本節の記載を19章15節より優先する		
7.9.2 耐火被覆の種類等	a.耐火被覆の種類、工法、材料等 - 次表による ○意匠図による		
	工法 工法 材料 使用箇所 ・ウェット工法 ・左官工法 ・ラス張りモルタル ・セラミック系耐火材コテ押え ・耐火材吹付け工法 ・半乾式吹付けロックウール ・セコニラ系耐火材吹付け ・セラミック系耐火材吹付け ・塗装工法 ・発泡性耐火塗料 ・ドライ工法 ・耐火材張り工法 ・けい酸カルシウム板 ・セメント板 ・プレハブ工法 ・コンクリートPC系板、ALCパネル ・耐火材巻付け工法 ・不織布耐熱ロックウール巻付け ・耐火シート工法 ・発泡性耐火シート ・複合耐火工法 ・各種工法の組合せによる工法 注)耐火時間等の仕様及び使用範囲は、設計図による。		
	〔付加〕 b.エレベーターシャフト内、エレベーター機械室及びエアチャンバー等の風圧、振動を受ける部位の耐火被覆 * 設計図(意匠図)による c.PS-EPS、電気室、機械室等の柱やフレーム部で、メンテナンス要員の通行等が多い部位の露出部の耐火被覆 * 設計図(意匠図)による d.厨房、浴室等の湿潤状態にある部位の耐火被覆 * 設計図(意匠図)による e.天井裏をチャンバーとして使用する部位の耐火被覆 * 設計図(意匠図)による		
7.9.3 耐火被覆の性能、品質等	〔付加〕 a.耐火被覆の仕様は、関係法規により次の適用とする。 * 建築基準法施行令第107条の規定による要求性能を有するものとする ・建築基準法施行令第108条の規定により大臣認定を受けたものとする		
7.9.4 耐火材吹付け	〔付加〕 a.吹付け工法で大梁フランジ下鍛面(幅300mm以上の場合)、風圧・振動を受けるところ等、はく離が起きやすい箇所は、プライマー処理等付着性能の確認を行い、監理者の承認を受ける。 b.鉄骨表面で錆止め塗装を施した面に耐火被覆材を吹き付ける場合は、接着剤との適合性を確認のうえ、プライマー処理等はく離防止要領を作成し監理者の承認を受ける。		
7.9.5 耐火板張り	〔付加〕 a.耐火板張り工法では、補強材や耐火板接合釘等を用いて鉄骨を被覆し、所定の性能を確保する。		
7.9.6 耐火材巻付け	〔付加〕 a.耐火材巻付け工法では、目地隙間の有無、材料の破損有無及び固定ピンの間隔について、大臣認定内容に基づき所定の性能を確保する。		
7.9.8 耐火塗料	〔付加〕 a.発泡性耐火塗料を施す部位の錆止め塗料の種別は、事前に製造者の確認を行い、仕様を決定する。 b.ホルムアルデヒド放散等級 * ☆☆☆☆ c.耐火塗料の仕様は、18、19節による。		
10節 工事現場施工			
7.10.2 建方精度	〔付加〕 a.建方等の工事現場施工の精度 * JASS 6 [付則6] (鉄骨精度検査基準)付表5「工事現場」による 〔付加〕 b.工事現場施工計画書を作成し、監理者の承認を受ける。		
7.10.3 アンカーボルトの設置等	〔付加〕 a.アンカーボルトの種別 ○構造用アンカーボルト(適用部位:すべて) ・建方用アンカーボルト(適用部位:) b.アンカーボルト・アンカーフレームの形状及び寸法 * 設計図による (構造用、建方用共とも) c.アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ○構造用 * 設計図による ○建方用 * A種 * B種 d.柱底均しモルタルの厚さ * 50mm * 30mm (適用部位:) ○設計図による e.柱底均しモルタルのコンシスティンシーの確認 * 行う * 行わない 1) 使用するモルタル製造者の標準値であることを確認する。 f.鉄骨柱脚のベースプレート下モルタル注入方法 * ポンプによる圧入 * 流し込み(適用部位:) * ホッパー使用による注入 (適用部位:) 〔(5)付加〕 g.鉄骨柱脚のベースプレート下モルタル充填検査 * 行わない * 行う(次による) 1) モルタル充填検査を行う柱 * 指定柱() * 設計図による h.中心塗りモルタル形状 * 円形 i.鉄骨柱脚ベースプレート下モルタル充填検査 * 行わない * 行う(次による) 1) モルタル充填検査を行う柱 * 指定柱() * 設計図による		
7.10.5 建方	〔付加〕 a.建方用仮設材の設置位置やアンカーボルトの径や材質、エレクションピースの鋼材品質や形状、ボルト本数等は設計図を参考とし、受注者が総合的な仮設計画に基づき、建方時の安全性を十分に確認して定める。		

着工	.	.	代表となる設計者 勝矢 武之 一級建築士 その他の設計者 久次米 真一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認) 宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士 若松 宏輔 中村 優人 大和 純子	日建設計	(仮称)人生100年の学びの拠点 中頓別学園整備工事	(構) (通し番号) 1 - 4
竣工	.	.		2024. 8.30	検査者:宇田川 貴章	特記仕様書 構造編(4)
監理	.	.				No. J - 221730 - C
施工	.	.				

木質工事特記仕様書 (3)

(3) 木ネジ接合	<ul style="list-style-type: none"> 木ネジの先孔の径は針葉樹においては主材でネジ径の60%、側材で80%とし、広葉樹においては主材でネジ径の80%、側材で100%とする。先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。 ねじ込みには適切な道具を使い、ハンマーなどで打ち込んではならない。 ねじ込みを容易にしたり、損傷せないために潤滑油などを用いてもよい。 構造耐力上主要な部分において、木ネジを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 木口面にねじ込まれた木ネジは、引き抜き方向に抵抗させることはできない。 特殊ねじ（木質構造用ビス）を使用する場合は、その製品の使用方法に準じ施工する。
(4) ポルト接合	<ul style="list-style-type: none"> 締め付けに先立ち、ポルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適しているものであることを確認する。 ポルトの締め付けは2回以上に分けて行い、1群のポルトの締め付けは一様となるようを行う。 ポルトの締め付けは、座金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締め付けを完了する。 締め付けを完了したポルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出していることを確認する。 一度締め付けたポルトについても、木材の収縮によるポルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。 引張り力を負担する構造上主要な箇所のポルトで、設計図書で指定する部位については、ダブルナット等、戻り止めなどの処理を行う。
(5) ラグスクリュー接合	<ul style="list-style-type: none"> 構造耐力上主要な部分において、ラグスクリューを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 座金の厚さと大きさは、同じ胴径のせん断用ポルト接合部における規定値を用いる。 締め付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径などが施工箇所に適しているものであることを確認する。 胸部の先行の径は胸部と同径とし、長さも胸部と同寸とする。 ねじ部の先孔の径は、比重0.5以上の樹種ではねじ径の60~75%、その他の樹種では40~70%とし、長さはねじ部の長さと同寸以上とする。 ラグスクリューは先孔にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んではならない。 ねじ込みを容易にするためや、損傷せないために潤滑油などを用いてもよい。 一度ねじ込んだラグスクリューを抜き直し、再びねじ込むことは避ける。 鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、削れねじ又はねじ部外径が胸部径以下の転造ねじを使用する。その際の鋼板の孔径は、M12以下:d+1.0mm、M16以上:d+1.5mm (dはポルト呼び径)とする。
(6) ドリフトピン接合	<ul style="list-style-type: none"> ドリフトピンは孔に密着させる。 一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。 規格金物とセットで使用されるドリフトピンを他の規格金物や学会基準により計算して使用する接合部を使用してはならない。
(7) ラグスクリューボルト接合	<ul style="list-style-type: none"> 認定の内容に適合した先孔寸法とし、適切な治具等を用いてまっすぐ加工する。 打ち込みに先立ち、長さ、材質、呼び径などが打ち込み箇所に適しているものであることを確認する。 ラグスクリューボルトは先孔に対しレンチなどで回しながら挿入するものとし、ハンマーなどで打ち込んではならない。打ち込みに際しては、適切な治具などを用いてまっすぐ打ち込む。また、材料を傷つけにくい低速電動レンチを使用する事が、作業性も良く、精度も確保できるので、望ましい。 柱脚接合部の柱木口には、千削れ防止、柱木口からの吸湿・吸水による含水率の増加の防止のための木口シールを行う。 接合金物との接合において、ボルト、ナットなどの締め付けはレンチなどで行い、有効な戻り止め措置を行う。
(8) ジベル接合	<ul style="list-style-type: none"> 木部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点がないよう注意し、彫込み・打ち込みまたは圧入に際して割れを生じないよう、ジベルの種類に応じた断面と余長をもたせる。 接合材は十分圧着させる。木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。 特殊ジベルは使用箇所、使用方法を確認する。
(9) 木栓接合	<ul style="list-style-type: none"> 木栓の仕様は、基本的には45φ以下、円形断面で、母材の強度以上の材とし、ナラ・ケヤキ・カシなどで気乾比重0.6以上、含水率15%以下の広葉樹で節や目切れなどの欠点のないものとする。 木栓は孔に密着させる。 木栓を孔に対して打ち込む際、折れ曲がりや割れ、頭部のつぶれなどが生じないように注意し、無理な打撃を加えてはならない。 木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場において水に濡れないよう注意する。
(10) 接合金物による接合	<ul style="list-style-type: none"> 羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かね折り金物および箱金物などの取り付けは、それぞれの仕様に基づき、接合両材の間に密着するように締め付ける。 大断面材用の接合金物に関しては、それぞれの仕様に基づく。

- (11) 接着接合
- 接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。
 - 接着剤を用いた接合を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従うとし、実験によって接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合はその際の作業条件を標準とする。
- (12) その他の方法による接合
- 使用材料および使用方法は構造図によるものとし、監理者の承認を得る。

7. 運搬・建方

- (1) 輸送計画
- 製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順などを考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようする。

輸送計画書の提出 [監理者の承認を得ることで内容の変更を可とする。]

(2) 集積・保管

- 集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。

集積場の確認 [監理者の承認を得ることで内容の変更を可とする。]

(3) 建方計画

- アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。

建方計画書の提出

(4) 施工時の安全性

- 建方作業中および作業後、横架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監理者の承諾を受ける。また、強風などによる諸外力に対する、必要に応じて仮設補強などの処置を施す。

施工時の安全性に対する検討書の提出

施工時荷重条件の通知

(5) アンカーボルトの施工

- 芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合せて適切な機器などで正確に行う。
- アンカーボルトの保持は、形鋼などを用いるなどして正確に行い、コンクリート打設時に移動、下部の振れなどないように固定する。
- アンカーボルトの保持および埋め込み工法

A種 [] B種 [] その他 []

レインカーボルトはダブルナットとする。適用除外 []

ベン台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。

(6) 建方精度

1) 建方の精度基準は下記による。

建物の倒れ : $e \leq H/1000$ []

梁の水平度 (節点間のレベル差) : $e \leq L/700 + 5\text{mm}$ かつ $e \leq 15\text{mm}$ []

建物の湾曲 : $e \leq L/2500\text{mm}$ かつ $e \leq 25\text{mm}$ []

柱据え付け面の高さ及びアンカーボルトの位置

柱据え付け面の基準高さからの誤差 : ±3mm以下 []

通り芯からの誤差 : ±5mm以下 []

階高 : -5mm ≤ $\Delta H \leq +5\text{mm}$ []

2) 建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。

(7) 施工状況の検査

1) アンカーボルト施工時の立会い検査

目視による精度確認 計測機器による精度確認 アンカーボルト径、間隔 施工者自主検査記録の提出 [監理者の承認を得ることで内容の変更を可とする。]

2) 地組み時の立会い検査

目視による精度確認 計測機器による精度確認 材料の加工寸法検査 施工者自主検査記録の提出 [監理者の承認を得ることで内容の変更を可とする。]

3) 建方時の立会い検査

目視による精度確認 計測機器による精度確認 材料の加工寸法検査 施工者自主検査記録の提出 [監理者の承認を得ることで内容の変更を可とする。]

4) 建方後の施工状況の検査

防腐・防蟻処理 材料の加工寸法検査 接合具の施工状況

その他 [] 施工者自主検査記録の提出 [監理者の承認を得ることで内容の変更を可とする。]

5) 最終確認

工事中に発生するボルトの緩み、接合具および接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれなどに注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。

施工者自主検査記録の提出 [監理者の承認を得ることで内容の変更を可とする。]

8. 試験による性能の確認

(1) 本計画における木架構の性能を確認することを目的として、適切な時期に以下の試験を行うこととする。

(a) 屋根架構の剛性と曲げ耐力を算定するための試験

本計画における屋根架構の仕様により $1.8m \times 5.4m$ 程度の試験体5体について実施すること。
・試験方法等は、原則として木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年版)に掲ること。

(b) やぐら柱の剛性と軸耐力を算定するための試験

本計画におけるやぐら架構の仕様により $5.4m \times 5.4m$ 程度の試験体5体について実施すること。
・試験方法等は、原則として木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年版)に掲ること。

着工
竣工
監理
施工

代表となる設計者 藤矢 武之 一級建築士 その他設計者 久次米 薫 一級建築士・構造設計士 宮城 正弘 一級建築士・構造設計士 若松 宏輔 中村 貴人 大和 梅子	日建設計
2024.8.30	絵図者:宇田川 貴章 木質工事特記仕様書(3)

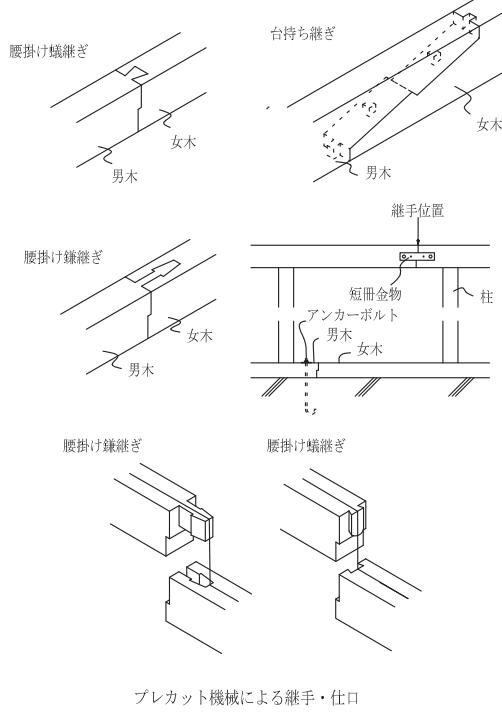
(仮称)人生100年の学びの拠点 中頃別学園整備工事	(構) 1 - 7
No. J-221730-C	

軸組工法接合部の標準仕様

各接合部共通：プレカット製品を使用する場合はその形状および許容耐力に及ぼす影響を確認する。

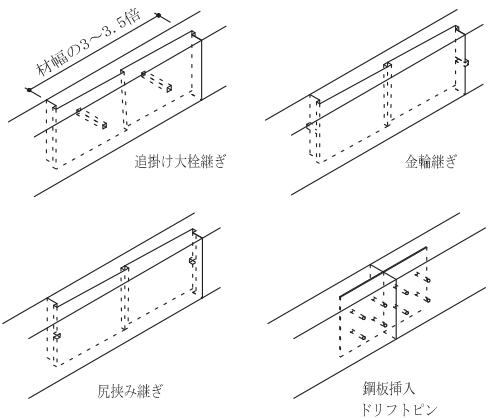
(1) 横架材どうしの継手

- 曲げ応力や引張力を負担しない継手：腰掛け継ぎ、腰掛け鍵継ぎ
 - せん断力が大きい場合は台持ち継ぎとする。
 - 長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
 - 逆せん断と引張の補強として短冊金物等を併用すること。
 - 柱からの持ち出し位置は、連続梁の長期荷重の反曲点付近とする。
 - 土台の場合は、継手から男木側100mm付近にアンカーボルトを設ける。



2. 曲げ応力や引張力を負担する継手

- 追掛け大栓継ぎ、金輪継ぎ、尻挟み継ぎ、鋼板挿入ドリフトピン接合
 - 伝達できる曲げモーメントや引張力は母材全断面強度の20%以下とされること。

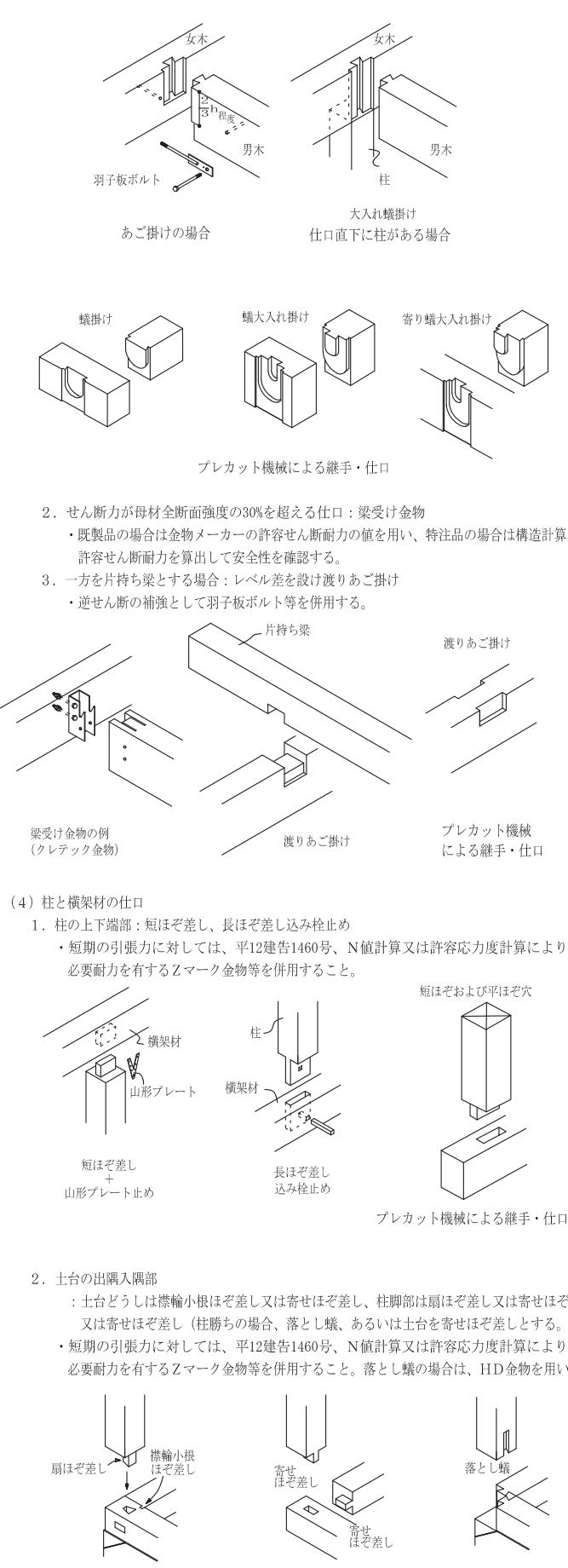


(2) 柱の継手

- 階の中間部における柱の継手は原則として禁止する。
- やむを得ず柱の継手を設ける場合は、曲げと軸力による複合応力の検定を行い安全性を確認する。

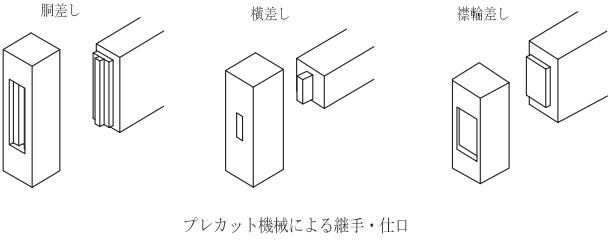
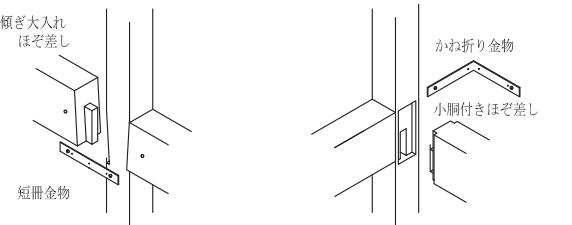
(3) 横架材どうしの仕口

- せん断力が母材全断面強度の30%以下の仕口：（大入れ）腰掛け
 - 長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
 - 逆せん断と引張の補強として羽子板ボルト等を併用する。
 - 男木の梁せいが女木の2/3以下の場合か、仕口直下に柱がある場合には、大入れとしてもよいが、そうでない場合は男木のせいの2/3程度のあごをかける。



3. 通し柱と胴差し：小胴付きほぞ差し、傾ぎ大入れほぞ差し、梁受け金物

- 梁受け金物以外の仕口には、引張の補強として短冊金物やかね折り金物等を併用すること。



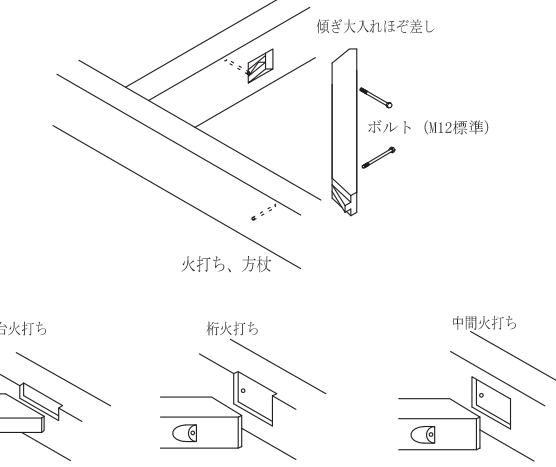
(5) 節かい端部

- 平12建告1460号の例示仕様又は同等品とする。



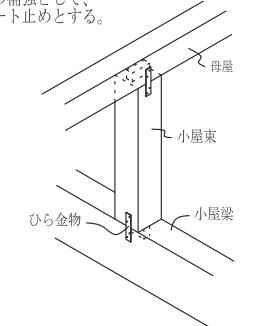
(6) 火打ち、方枠

- 角材を用いる場合の端部は、傾ぎ大入れほぞ差し+ボルト締めとする。
- Zマーク銅製火打ち又は同等品としてもよい。



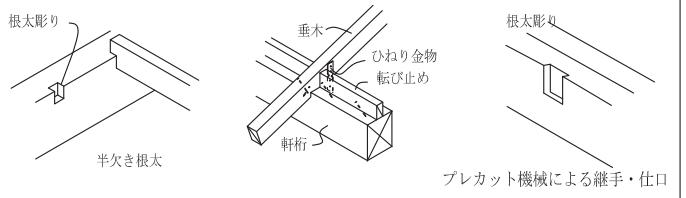
(7) 小屋束の上下端部

- 短ほぞ差し又は長ほぞ差しみ込み栓止めとする。
- 短ほぞ差しの場合、風圧力による引張力の補強として、かねかわい2本又はひら金物又は山形プレート止めとする。



(8) 根太、垂木と横架材

- 落し込み根太：横架材に大入れまたは根太掛け+斜め釘
- 半欠き根太：横架材に大入れアゴ掛け+斜め釘
- 転ばし根太：根太が正角断面の場合、横架材に脳天釘止め
- 根太が縦長角断面の場合、斜め釘2本+転び止め
- 垂木：横架材に垂木道を掘り、転ばし根太と同様に止め。
- 風の負圧の補強：許容応力度計算により必要耐力を有するひねり金物等を取り付ける。



(9) 間柱と横架材

- 上下横架材に深さ3mm程度大入れ+斜め釘
- 上部ほぞ差し、下部突き付け+斜め釘

(10) 釘の最小間隔及び最小端あき距離

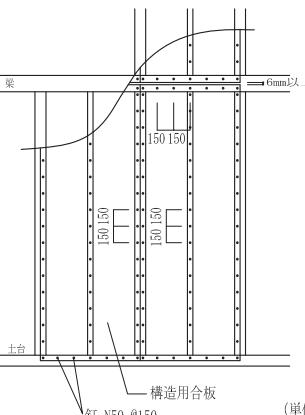
		加力方向	
		繊維方向	繊維直交方向
繊維方向	E1	15d	10d
	P1	12d	10d
繊維直交方向	E2	5d	8d
	P2	5d	8d

(11) ボルトの最小間隔及び最小端あき距離

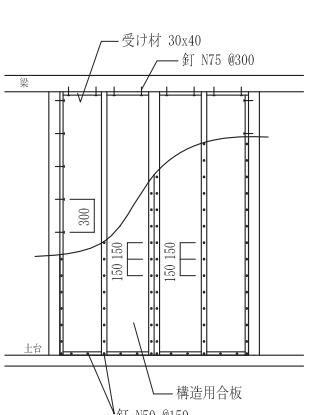
		加力方向	
		繊維方向	繊維直交方向
繊維方向	E1	7d (荷重負担側) 4d (荷重非負担側)	7d
	P1	7d	t/d=2 3d 2≤t/d≤6 3d~5d t/d>6 5d
繊維直交方向	E2	t/d≤6 1.5d t/d>6 1.5dかつP2/2	4d (荷重負担側) 1.5d (荷重非負担側)
	P2	3d	4d

(12) 面材耐力壁

1. 大壁造の場合



2. 真壁造の場合



着工
竣工
監理
施工

代表となる設計者	藤矢 武之 一級建築士
その他の設計者	久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認)
	宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士
	若松 宏輔
	中村 優人
	大和 錠子

日建設計

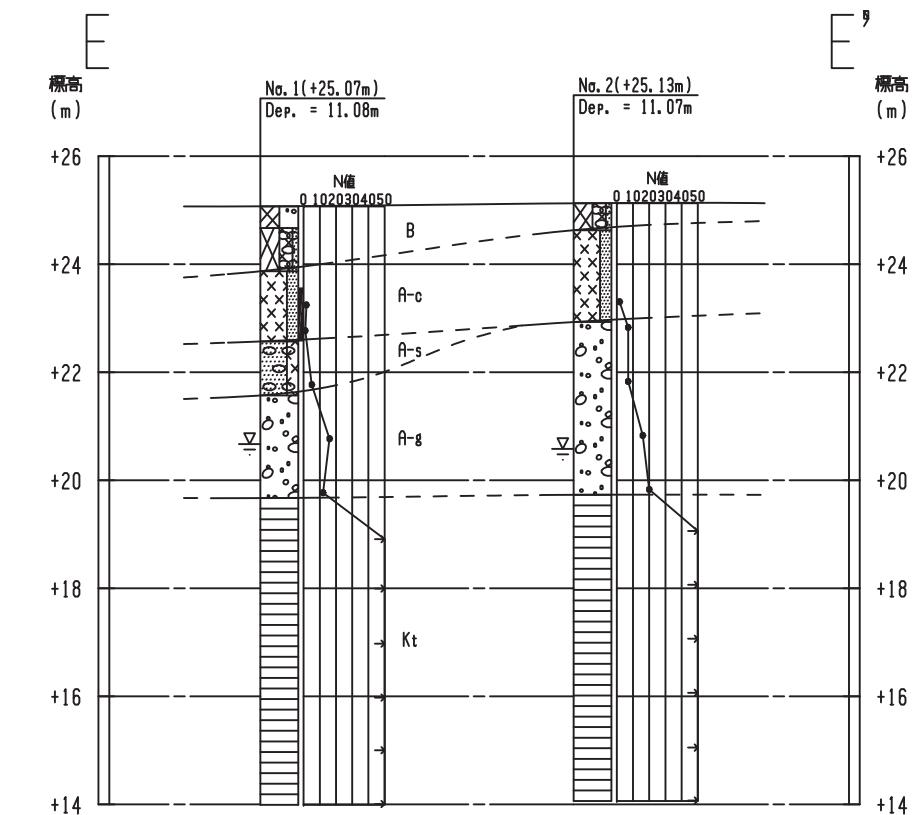
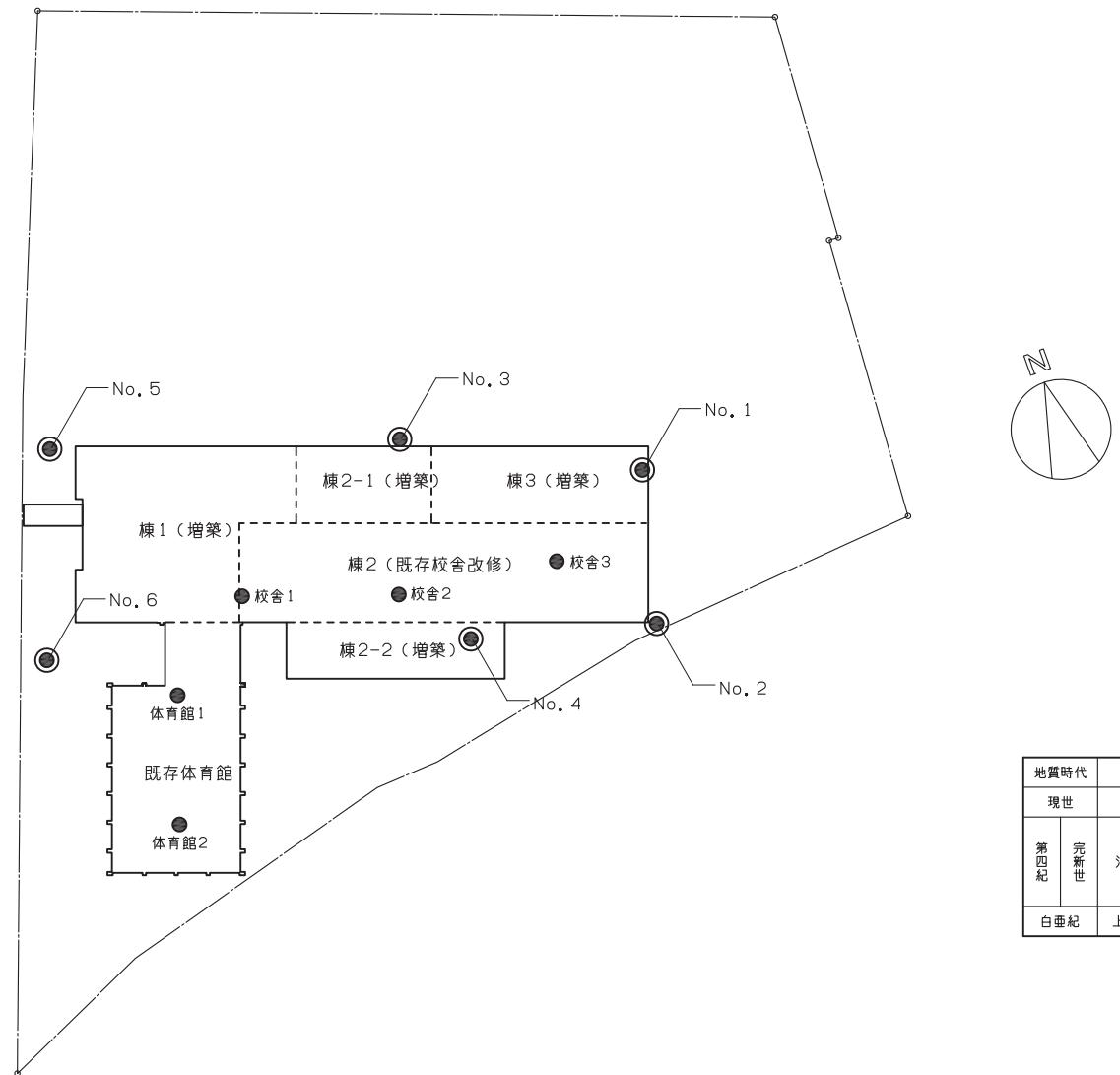
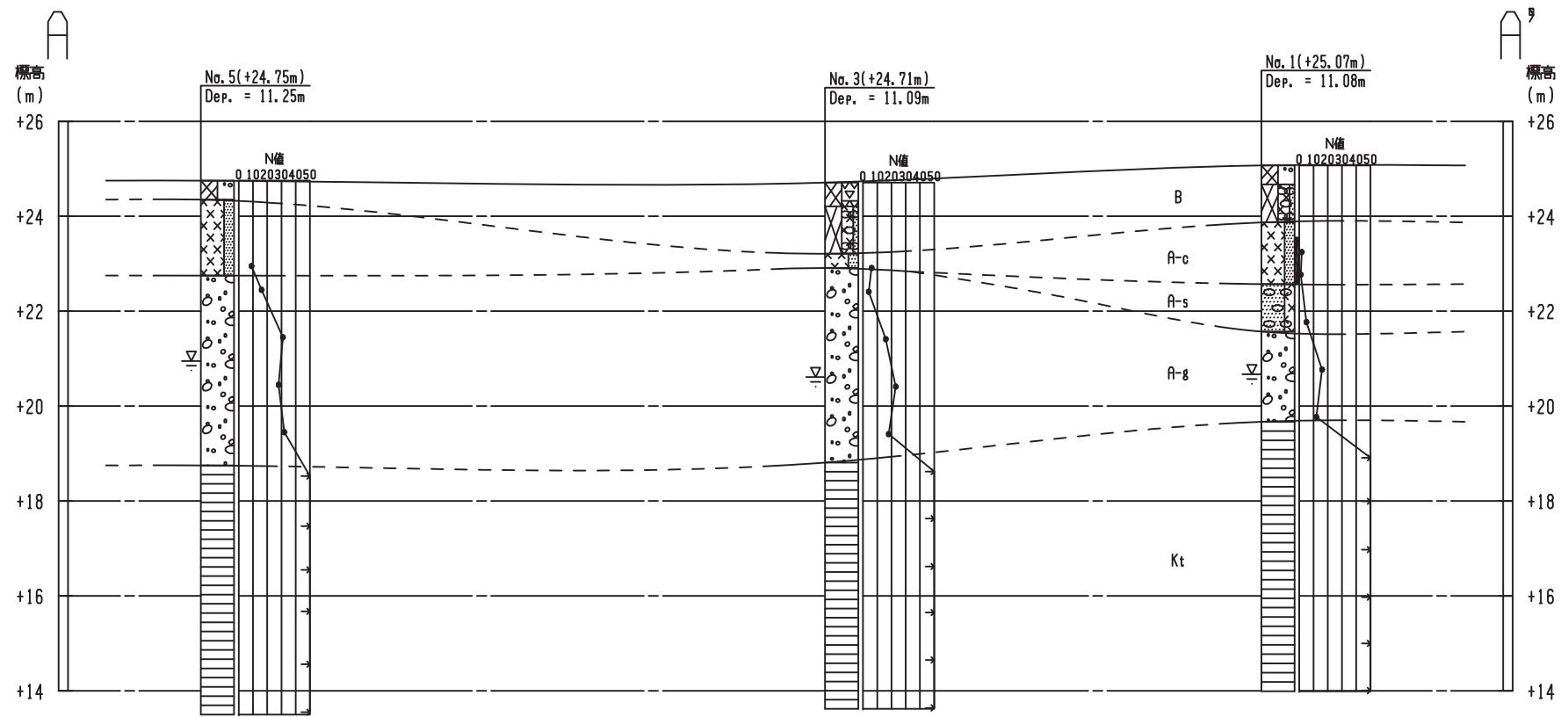
(仮称)人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

(構) 1 - 8
No. J - 221730 - C

2024.8.30

権利者:宇田川 貴章

木質工事特記仕様書(4)

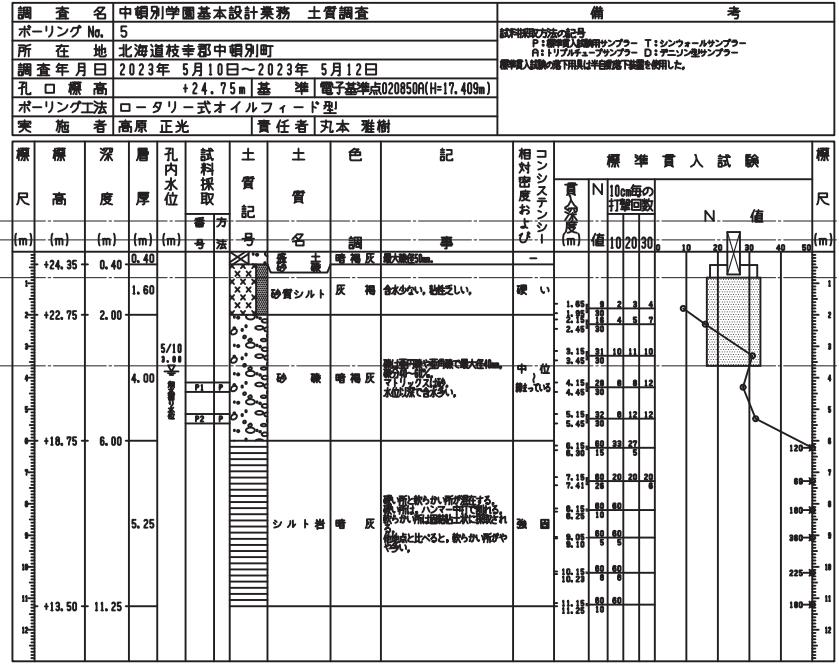


着工
竣工
監理
施工

2-01_中領別 調査位置図、断面図 DWG_1/700_24/04/22

代表となる設計者 勝矢 武之 一級建築士 その他の設計者 久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認) 宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士 若松 宏輔 中村 優人 大和 純子	日建設計	(仮称)人生100年の学びの拠点 中領別学園整備工事	(通し番号) 構 2 - 1
	2024. 8.30	検査者:宇田川 貴章 調査位置図、断面図	No. J - 221730 - C

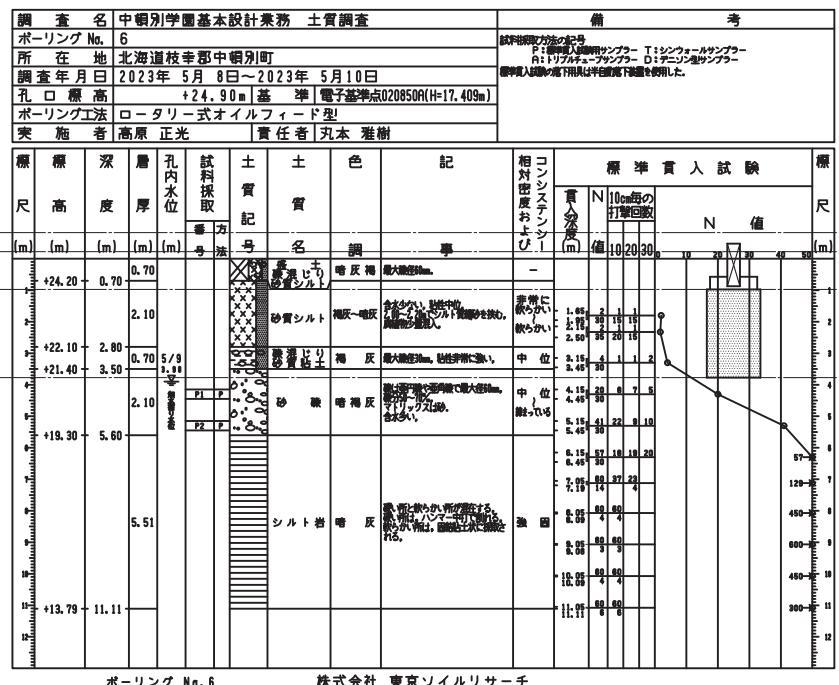
土質柱状図



ボーリング No. 5

株式会社 東京ソイルリサーチ

土質柱状図



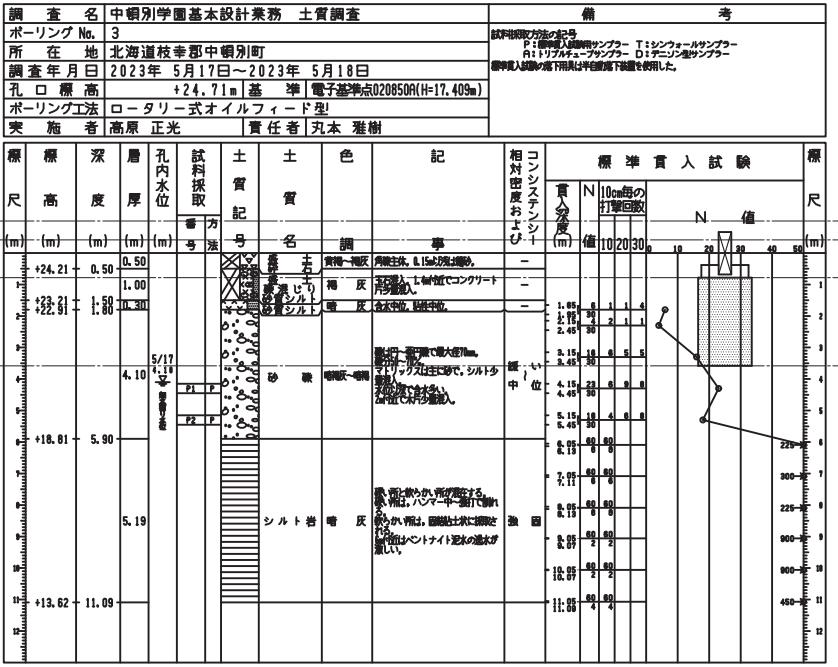
ボーリング No. 6

株式会社 東京ソイルリサーチ

着工
竣工
監理
施工

代表となる設計者 その他の設計者	勝矢 武之 一級建築士	(仮称)人生100年の学びの拠点 中頃別学園整備工事	(通し番号) 2 - 2
	久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認) 宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士 若松 宏輔 中村 優人 大和 純子		
監修者	日建設計画	絵図者:宇田川 貴章	土質柱状図
施工者	2024. 8. 30	No. J - 221730 - C	

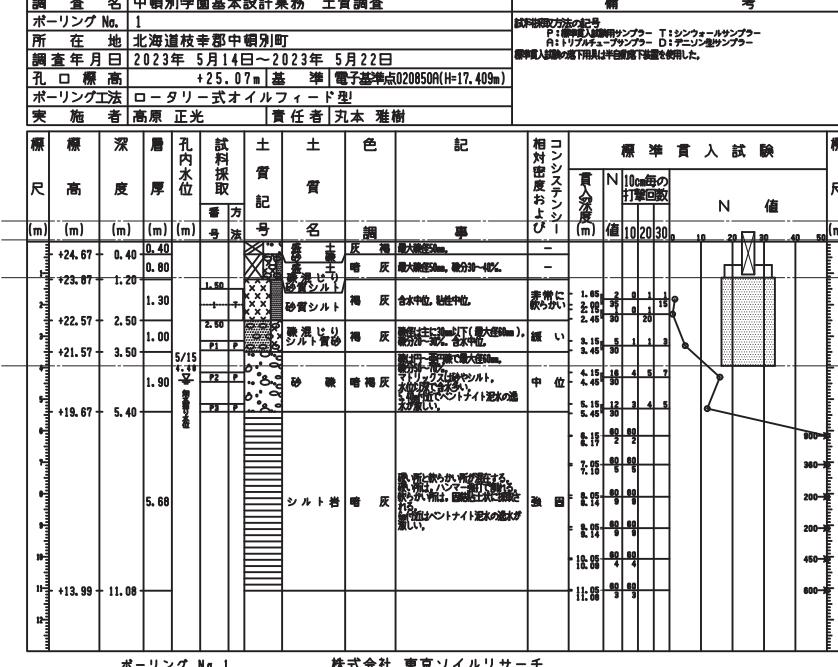
土質柱状図



ボーリング No. 3

株式会社 東京ソイルリサーチ

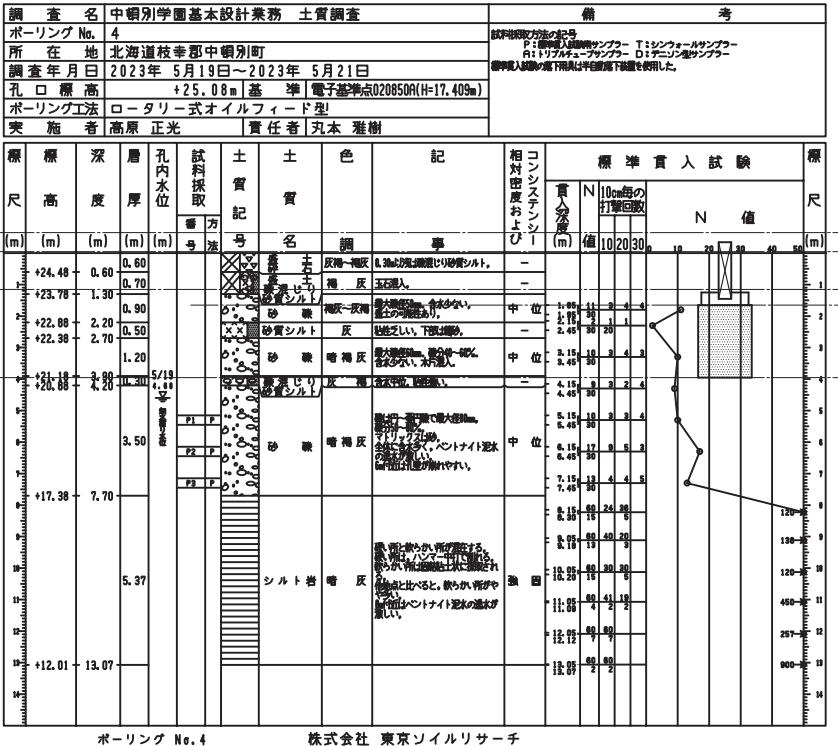
土質柱状図



ボーリング No. 1

株式会社 東京ソイルリサーチ

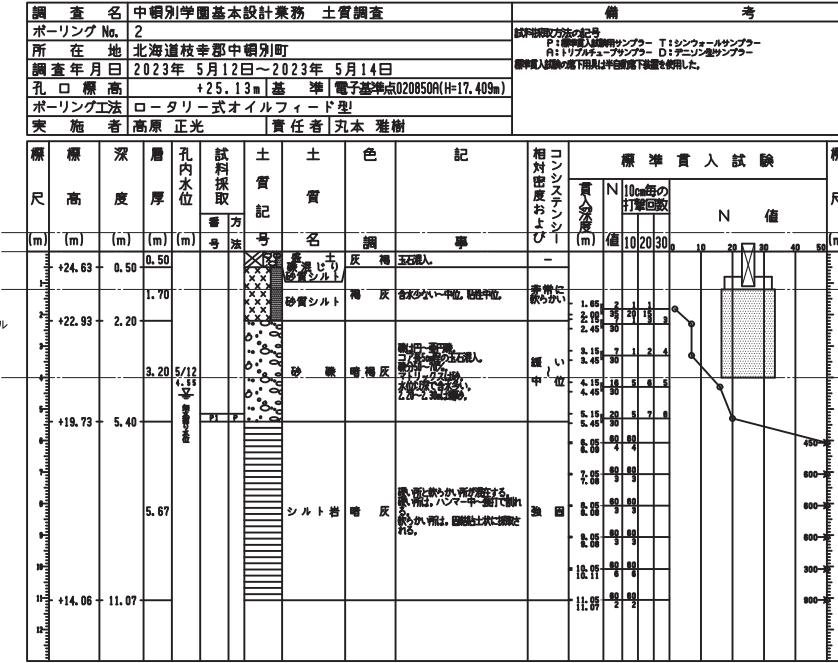
土質柱状図



ボーリング No. 4

株式会社 東京ソイルリサーチ

土質柱状図



ボーリング No. 2

株式会社 東京ソイルリサーチ

基礎・ピット伏図

A1:1/100 A3:1/200 注記) 記入なき限り下記による。
 1. 基礎下端位置 1FL-1800
 2. 基礎スラブ下端位置 1FL-1800

3. ピットは捨てコンクリートピットとする。
 □は土間コンクリートSD18を示す。

4. ピット上端位置 捨てコンクリート上端:1FL-1700
 土間コンクリート上端:1FL-1520

キープラン

EXP. J

Y
X

1 2 3 4 5 6 7 8 9

1210 5540 6750 4500 4500 2700 1800 5400 9000 3600 3300 2100 125 2300 5400 5400 5400 600

40950

著工
竣工
監理		.	.	.
施工		.	.	.

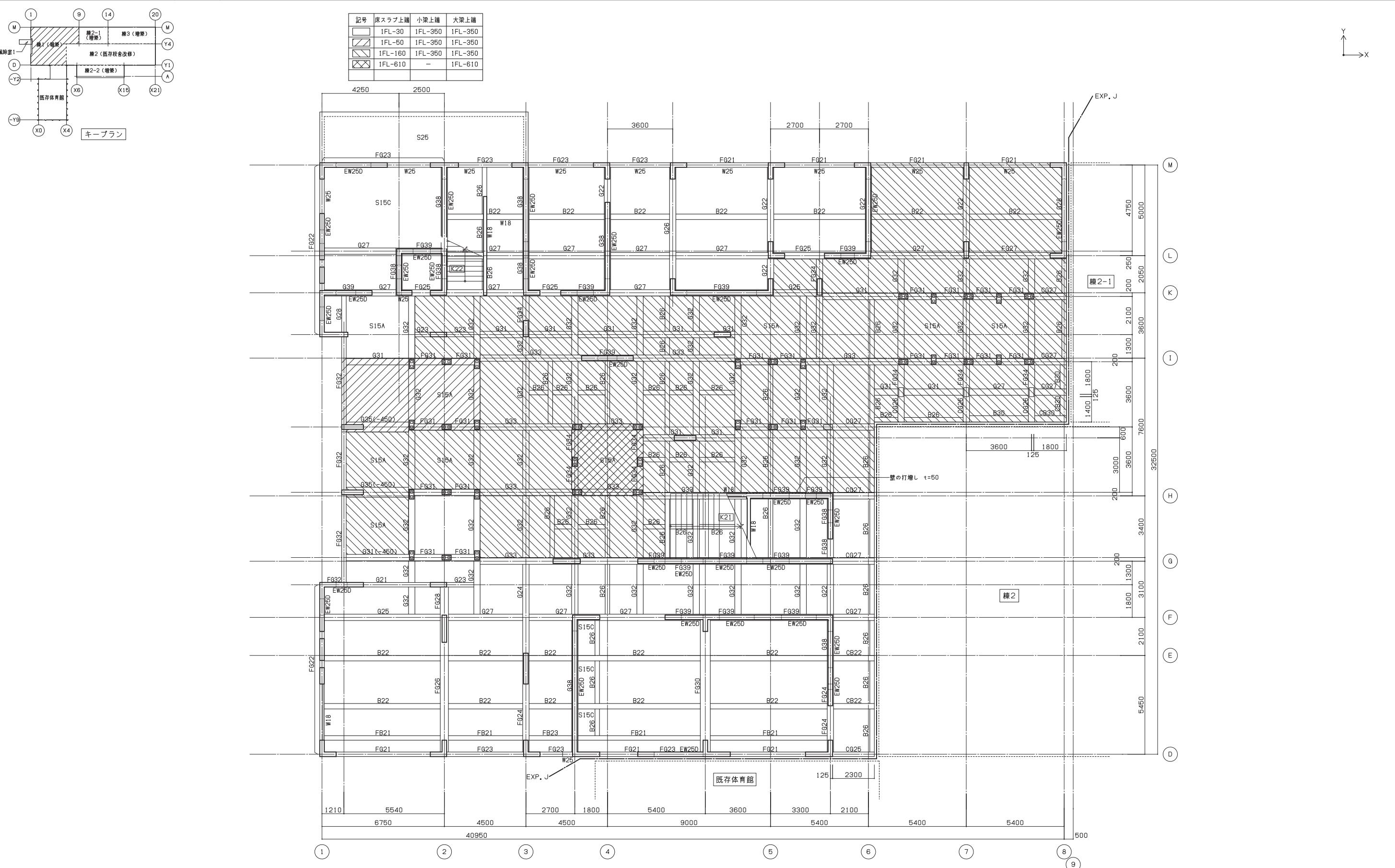
3-01_05_中頓別 棟1伏図.dwg_1/100_24/08/26

代表となる設計者	勝矢	武之
その他の設計者	久次米 薫 宮城 正弘 若松 宏輔 中村 優人 大和 紗子	

日建設計

(仮称)人生100年の学びの拠点 中頓別学園整備工事

(通し番号)
構 3 - 1
J - 221730 - C



看工	
竣工	
監理	
施工	

3-01_05_中頓別 棟1伏図.dwg_1/100_24/08/26

代表となる設計者	勝矢	武之	一級
その他の設計者	久次米 薫	一級	
	宮城 正弘	一級	
	若松 宏輔		
	中村 優人		
	大和 紗子		

建設言確認)

(仮称)人生100年の学びの拠点 中頓別学園整備工事

(通し番号)
構 3 - 2
J - 221730 - C

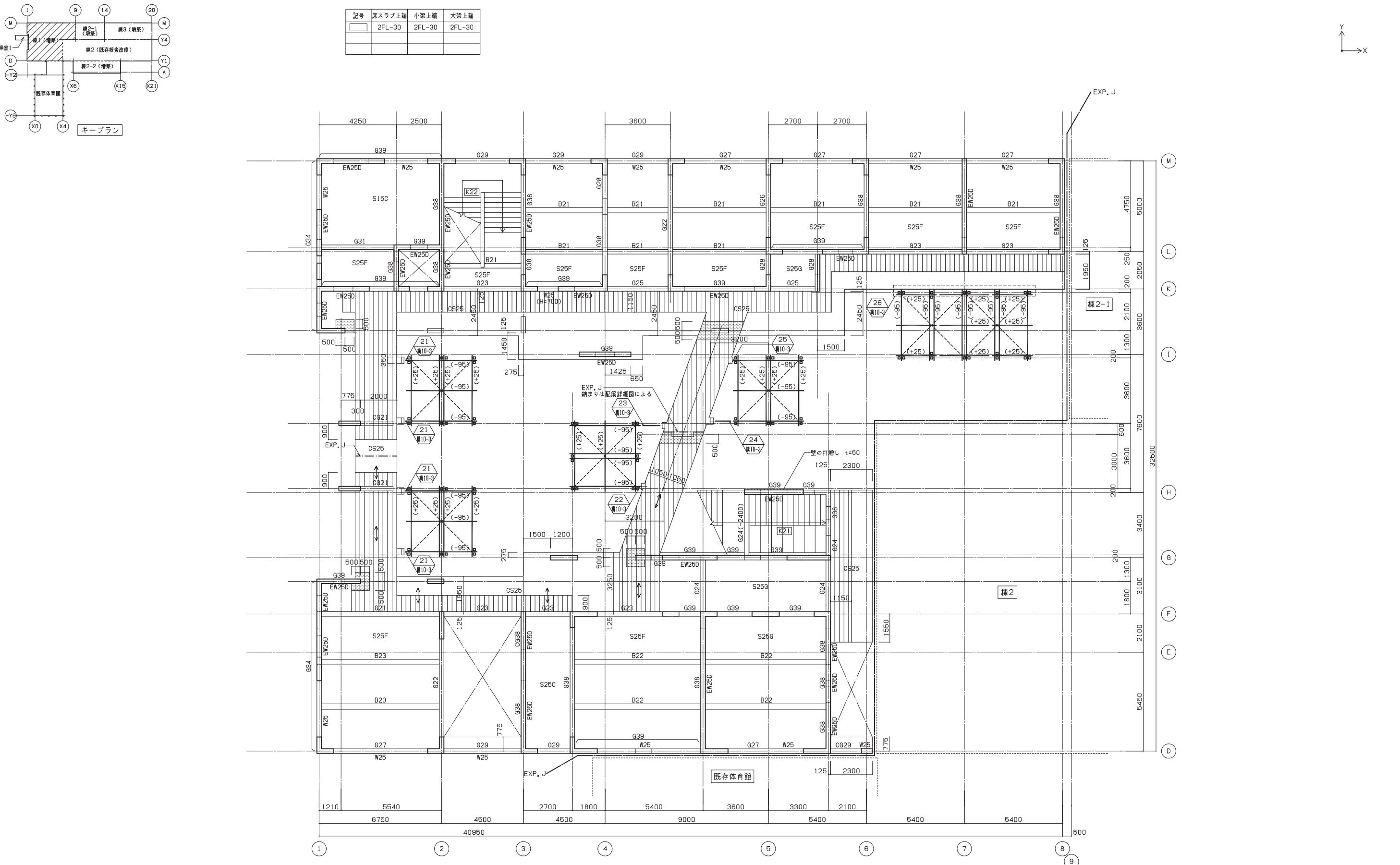
2階床梁伏図

A1:1/100
A3:1/200
注記) 記入なき限り下記による。

1. 壁符号 W18
2. 床スラブ S15
3. ——は、WH21とする。部材の上端位置は、X方向2FL-95、Y方向2FL+25
4. ---は、HV21とする。

5. ⇔は、床スラブの主筋方向を示す。
6. □は床スラブの元断面の範囲を示す。■は、せん断補強の範囲とし、補強方法は配筋要領図に示す。出隅部の補強は、配筋要領図5.2(3)による。

7. (1) (2)は詳細図の記号を示し、*1は詳細図等の番号を、*2は詳細図を記載する図面番号を示す。



着工
竣工
監理
施工

代表となる設計者 藤矢 武之 一級建築士
その他の設計者 久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認)
宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士
若松 宏輔
中村 優人
大和 純子

日建設計

(仮称)人生100年の学びの拠点
中領別学園整備工事

(通し番号)
構 3 - 3

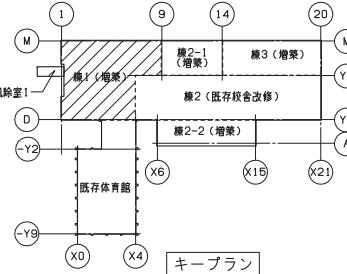
2024.8.30 檢図者:宇田川 貴章 棟1 2階床梁伏図
A1=1/100 A3=1/200 No. J - 221730 - C

R階床梁伏図

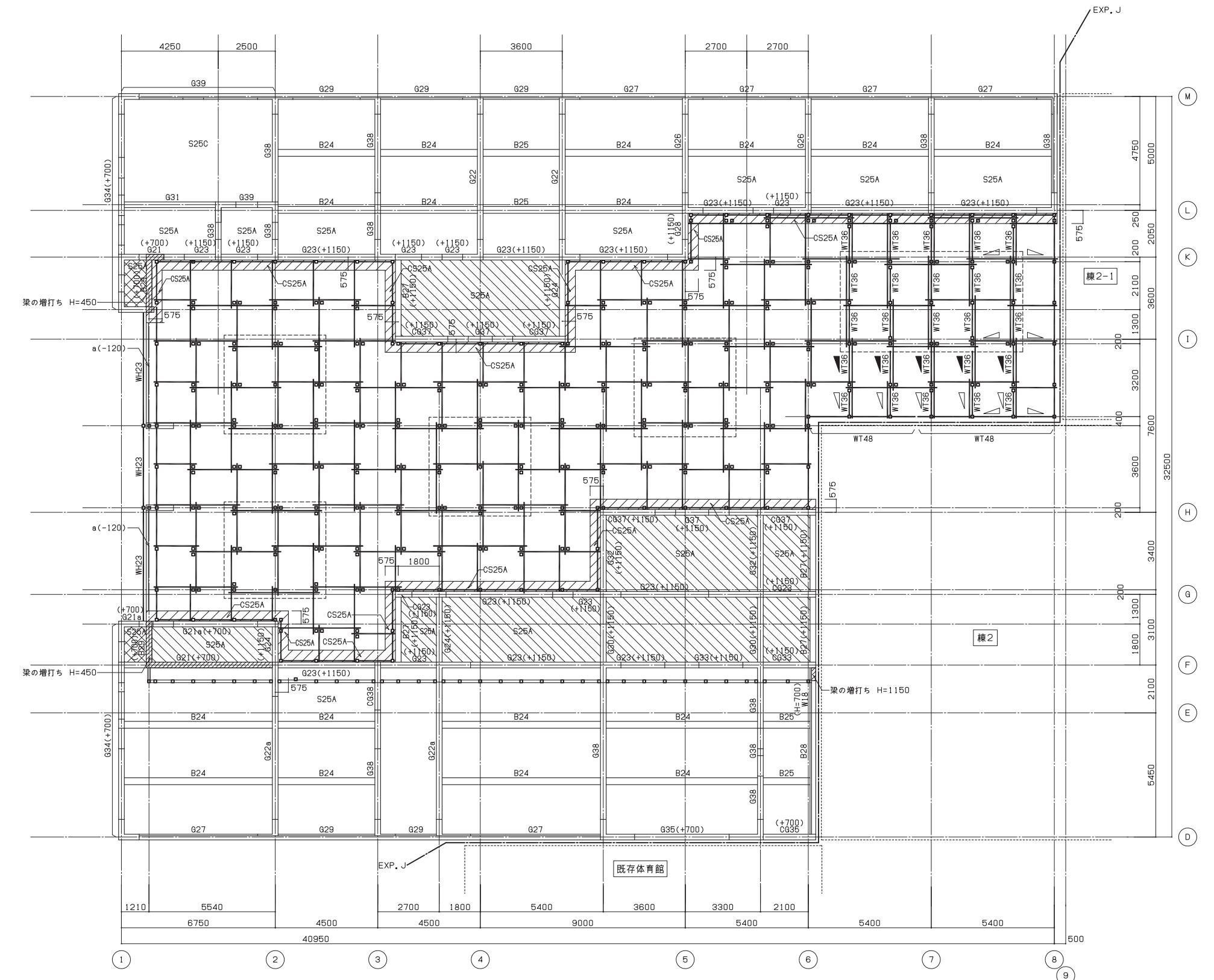
A1:1/100 A3:1/200 注記) 記入なき限り下記によ
1.木梁上端はRSL1150とする。
2.床スラブ S15

3. ——は、WH22とする。X方向の上部の部材の上端位置は、RSL-290、下部の部材の上端位置は、RSL-
Y方向の上部の部材の上端位置は、RSL-170、下部の部材の上端位置は、RSL-

4.  は木トラスの斜材1-19φ、 は2-19φを示す。詳細は構10-2に示す。
 5. は、やぐらを示す。



記号	床スラブ上端	小梁上端	大梁上端
	RSL(水下)±0	RSL(水下)±0	RSL(水下)±0
	RSL(水下)-650	-	-
	RSL(水下)-750	-	-
	RSL(水下)+700	RSL(水下)-700	RSL(水下)-7



看工	
竣工	
監理		..	
施工		..	
		..	

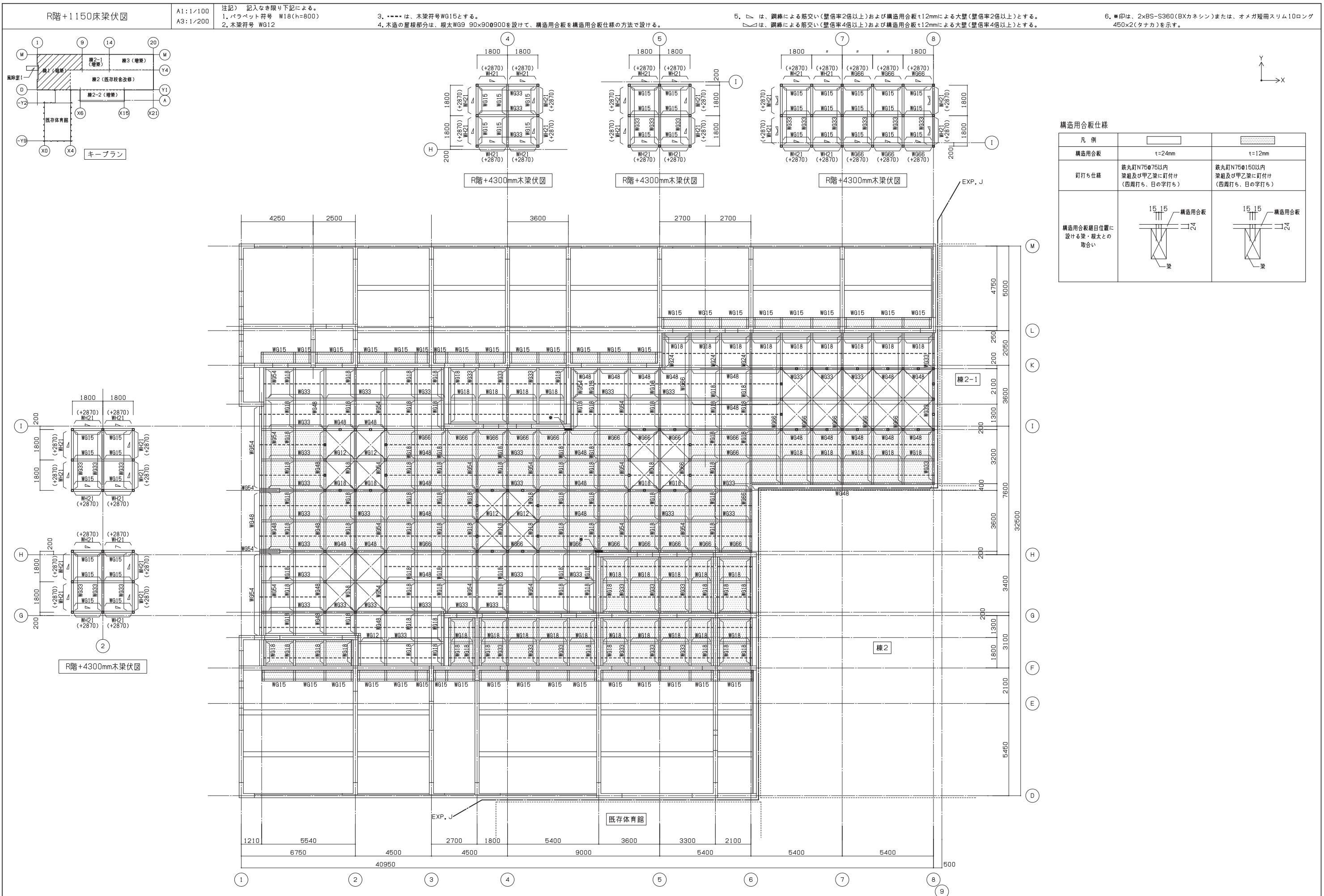
3-01_05_中頓別 棟1伏図.dwg_1/100_24/08/26

代表となる設計者	勝矢 武之	一級建築士
その他の設計者	久次米 薫 宮城 正弘 若松 宏輔 中村 優人 大和 純子	一級建築士、構造設計 一級建築士、構造設計 一級建築士、構造設計 優人 一級建築士

日建設計

(仮称)人生100年の学びの拠点 中頓別学園整備工事

(通し番号)
構 3 - 4
J - 221730 - C



着工	
竣工	
監理		..	
		..	
施工		..	

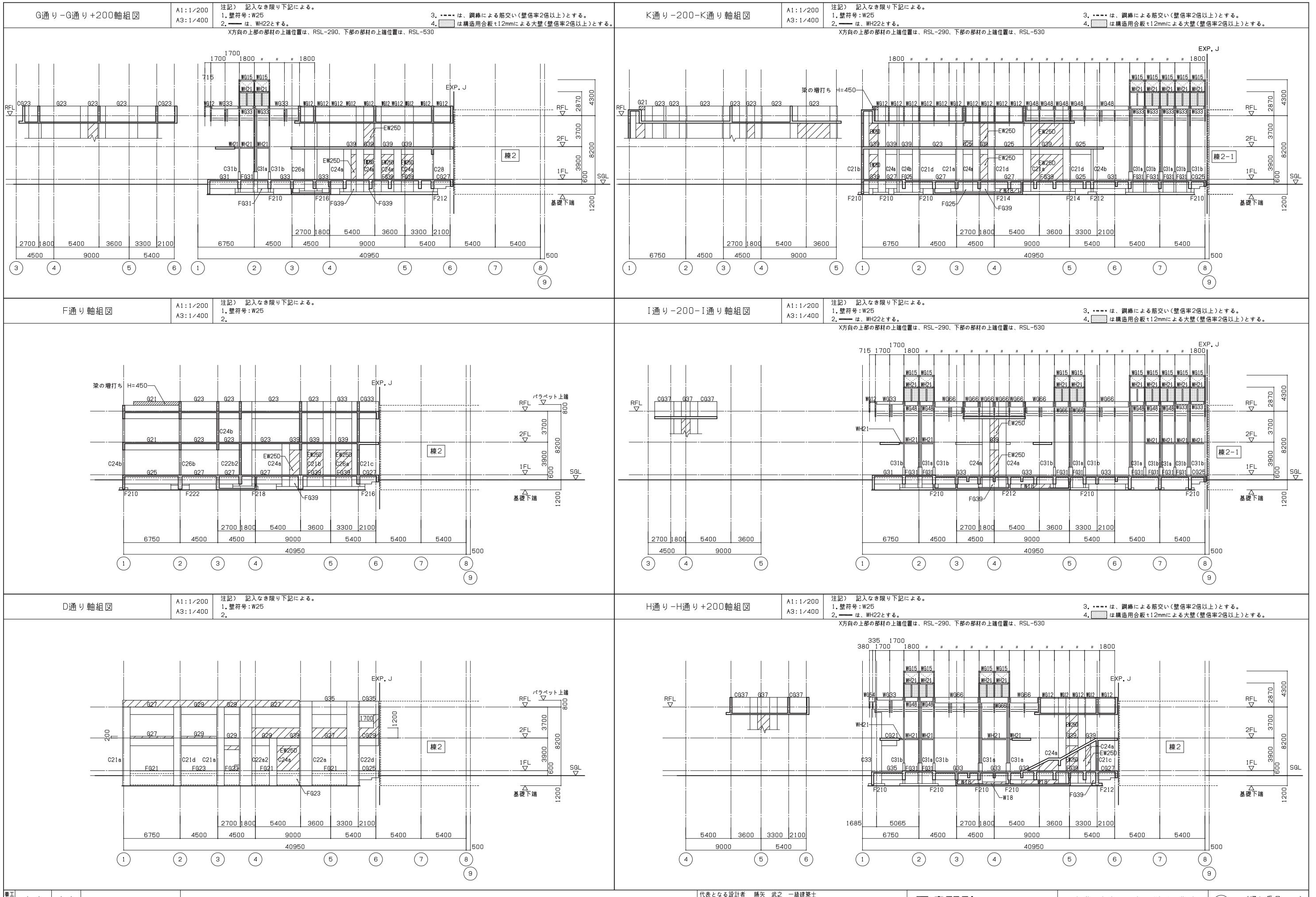
3-01_05_中頓別 練1伏図.dwg_1/100_24/08/26

代表となる設計者	勝矢 武之	一級建築士
その他の設計者	久次米 薫 宮城 正弘 若松 宏輔 中村 優人 大和 紗子	一級建築士・構造設計一級建築士・構造設計一級建築士・構造設計一級建築士

日建設計

(仮称)人生100年の学びの拠点 中頓別学園整備工事

(通し番号)



着工
竣工
監理
施工

代表となる設計者 藤矢 武之 一級建築士
その他の設計者 久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認)
宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士
若松 宏輔
中村 優人
大和 純子
日建設計
(仮称)人生100年の学びの拠点
中領別学園整備工事
検図者:宇田川 貴章 條1 軸組図(1)
AI-1/100 A3-1/200 No. J-221730-C
2024.8.30

M通り軸組図	A1:1/200 A3:1/400	注記) 記入なき限り下記による。 1. 壁符号: W25 2.		1通り+1通り+1300軸組図	A1:1/200 A3:1/400	注記) 記入なき限り下記による。 1. 壁符号: W25 2.					
L通り軸組図	A1:1/200 A3:1/400	注記) 記入なき限り下記による。 1. 壁符号: W25 2. _____は、WH22とする。 X方向の上部の部材の上端位置は、RSL-290、下部の部材の上端位置は、RSL-530	3. - - -は、鋼棒による筋交い(壁倍率2倍以上)とする。 4. ■■■は構造用合板t12mmによる大壁(壁倍率2倍以上)とする。		2通り軸組図	A1:1/200 A3:1/400	注記) 記入なき限り下記による。 1. 壁符号: W25 2. _____は、WH22とする。 Y方向の上部の部材の上端位置は、RSL-170、下部の部材の上端位置は、RSL-410	3. - - -は、鋼棒による筋交い(壁倍率2倍以上)とする。 4. ■■■は構造用合板t12mmによる大壁(壁倍率2倍以上)とする。			
								3通り軸組図	A1:1/200 A3:1/400	注記) 記入なき限り下記による。 1. 壁符号: W25 2. _____は、WH22とする。 Y方向の上部の部材の上端位置は、RSL-170、下部の部材の上端位置は、RSL-410	

著工	
竣工	
監理		..	
施工		..	

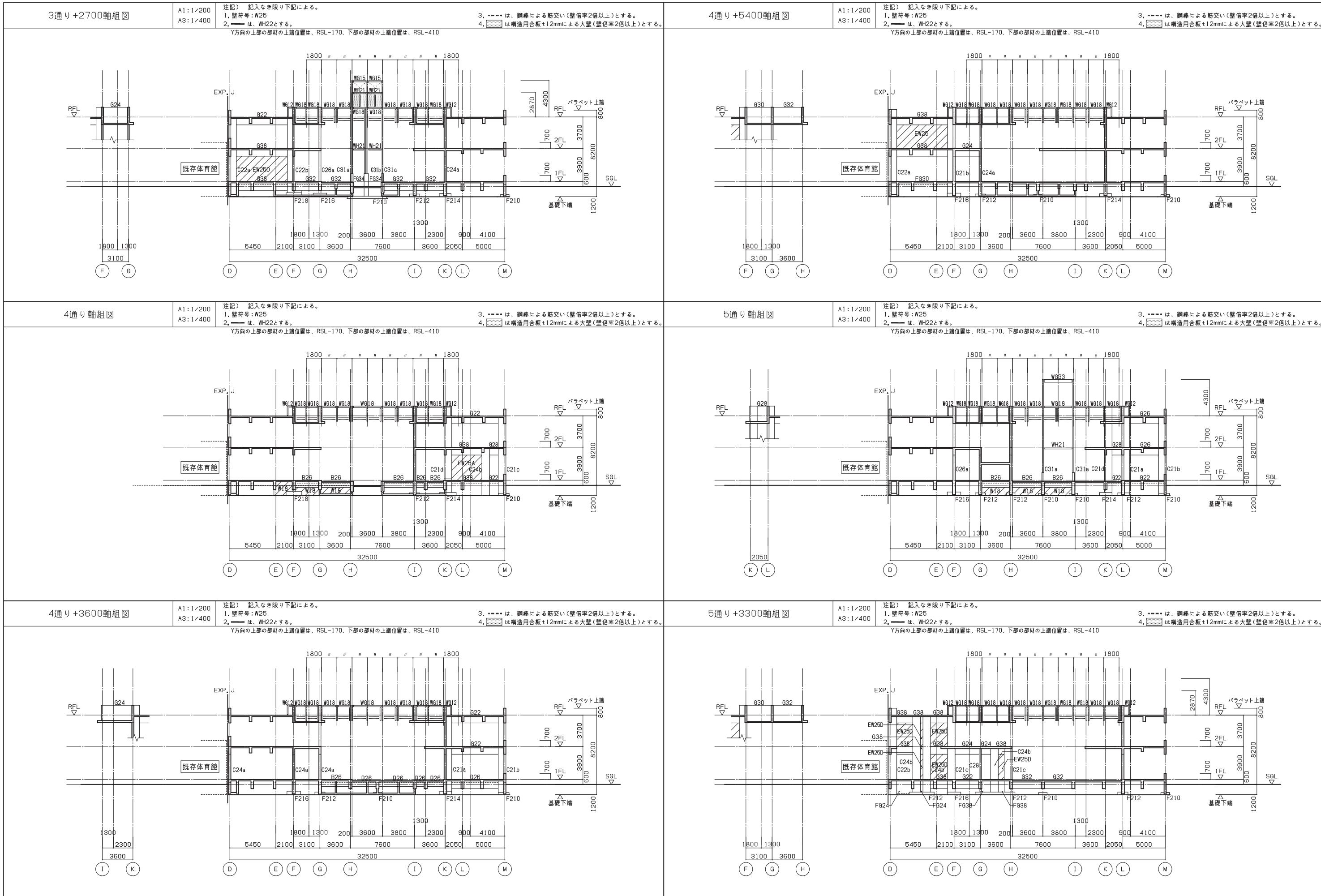
3-06_09_中頓別 棟1軸組図.dwg_1/100_24/08/26

代表となる設計者	勝矢 武之	一級
その他の設計者	久次米 薰	一級
	宮城 正弘	一級
	若松 宏輔	
	中村 優人	
	大和 綺子	

日建設計

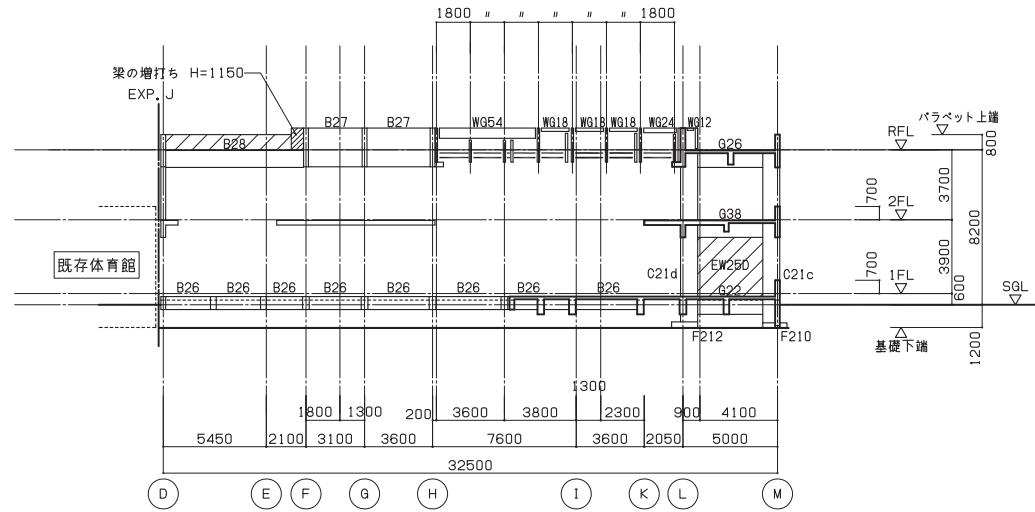
(仮称)人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

(通し番号)
構 3 - 7



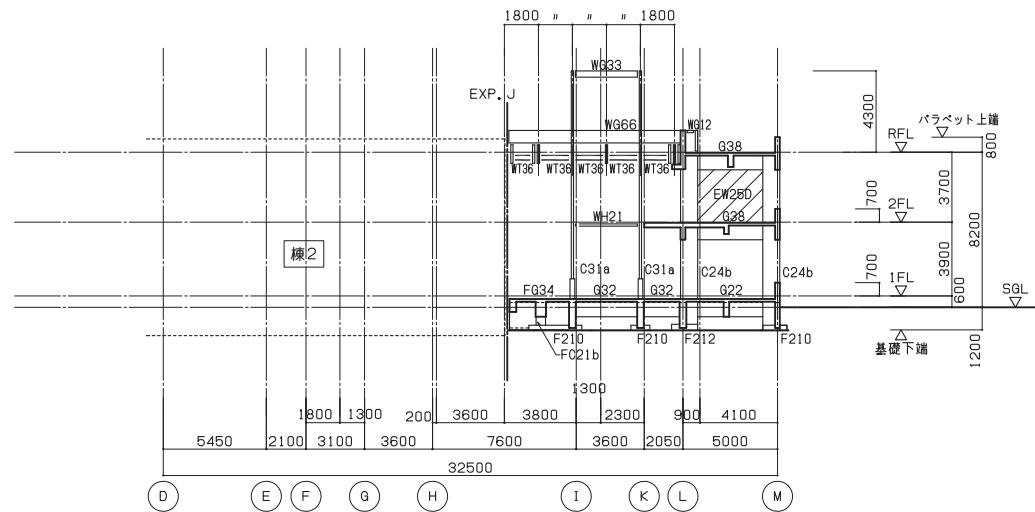
6通り軸組図

A1:1/200
A3:1/400
注記) 記入なき限り下記による。
1.壁符号:W25
2.



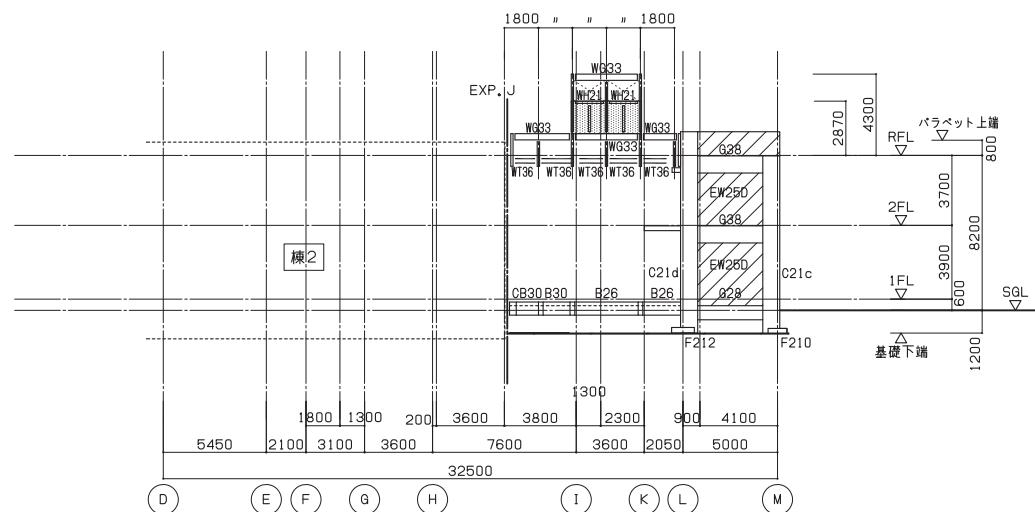
7通り軸組図

A1:1/200
A3:1/400
注記) 記入なき限り下記による。
1.壁符号:W25
2.



8通り軸組図

A1:1/200
A3:1/400
注記) 記入なき限り下記による。
1.壁符号:W25
2.



着工
竣工
監理
施工

代表となる設計者 藤矢 武之 一級建築士
その他の設計者 久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認)
宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士
若松 宏輔
中村 優人
大和 純子

日建設計

(仮称)人生100年の学びの拠点
中領別学園整備工事(通し番号)
構 3 - 9

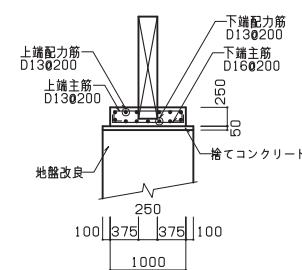
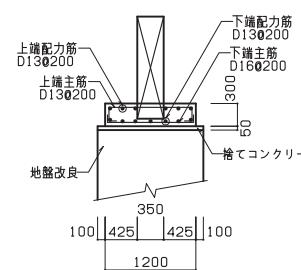
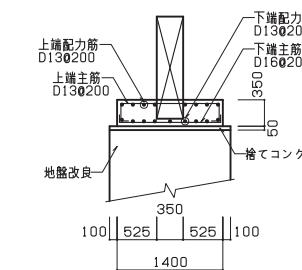
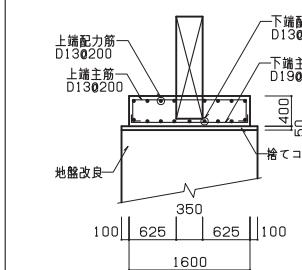
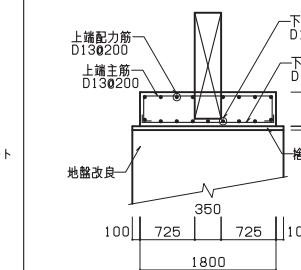
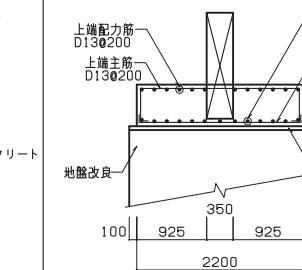
2024.8.30

検査者:宇田川 貴章

構1 軸組図(4)

A1=1/200
A3=1/400

No. J - 221730 - C

基礎断面表	A1:1/50 A3:1/100	注記) 記入なき限り下記による。				
F210	F212	F214	F216	F218	F222	
						

着工	
竣工	
監理	
施工	

3-10_中傾別 構1基礎断面表 dwg_1/50_24/06/06

代表となる設計者 勝矢 武之 一級建築士
 その他の設計者 久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認)
 宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士
 若松 宏輔
 中村 優人
 大和 純子

日建設計

(仮称)人生100年の学びの拠点
中傾別学園整備工事

(通し番号)
構 3-10

2024.8.30

総図者:宇田川 貴章

構1 基礎断面表

A1=1/50
A3=1/100

No. J-221730-C

基礎梁・1階大梁断面表			A1:1/50 A3:1/100	注記) 記入なき限り下記による。 1.巾止め筋 D100 1000													
符号	FG21	FG22	FG23	FG24	FG25	FG26	FG27	FG28									
位置	端部	中央	全断面	全断面	全断面	全断面	D通り端・中央	F通り端	7通り端	中央	8通り端	F通り端・中央	他端				
断面																	
上端筋	4-D19	6-D19	4-D19	4-D19	8-D22	5-D22	8-D22	6-D22	5-D22	8-D22	5-D22	6-D22	4-D22				
下端筋	6-D19	4-D19	4-D19	6-D19	5-D22	5-D22	6-D22	6-D22	5-D22	8-D22	6-D22	6-D22	4-D22				
あばら筋	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D13 0200	□-D10 0200	□-D13 0200	□-D10 0200	□-D13 0200	□-D10 0200	□-D10 0200				
腹筋	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10				
備考																	
符号	FG30	FG31	FG32	FG34	FG38	FG39									FB21(FB23)		
位置	D通り端	中央	F通り端	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	連続端(全断面)	中央	他端	
断面																	
上端筋	10-D22	9-D22	7-D22	3-D22	4-D19	3-D22	5-D22	5-D22						4-D19	6-D19	4-D19	
下端筋	7-D22	7-D22	7-D22	3-D22	4-D19	3-D22	5-D22	5-D22						6-D19	4-D19	4-D19	
あばら筋	□-D13 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200						□-D10 0200			
腹筋	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10	6-D10						6-D10			
備考														FB23は()内とする。			
符号	G21	G22	G23	G24	G25	G26	G27	G28									
位置	端部	中央	全断面	全断面	E通り端 中央 G通り端	1通り端 中央 2通り端	端部	中央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面				
断面																	
上端筋	4-D19	2-D19	3-D22	2-D19	6-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	2-D22			
下端筋	2-D19	4-D19	3-D22	2-D19	5-D22	5-D22	3-D22	3-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D22			
あばら筋	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200			
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10			
備考																	
符号	G31	G32	G33	G35	G38	G39											
位置	全断面	全断面	3通り+2700端 中央 他端	1通り+1300端 中央 1通り+4950端	全断面	全断面											
断面																	
上端筋	3-D22	3-D22	5-D22	3-D22 3-D22	8-D22	7-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22				
下端筋	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22 3-D22	5-D22	5-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22				
あばら筋	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D13 0200	□-D13 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200				
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10				
備考																	
着工	.	.	.														
竣工	.	.	.														
監理	.	.	.														
施工	.	.	.														

代表となる設計者
藤矢 武之 一級建築士
その他の設計者
久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認)
宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士
若松 宏輔
中村 優人
大和 純子

日建設計

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

(構) (通し番号)
3-11

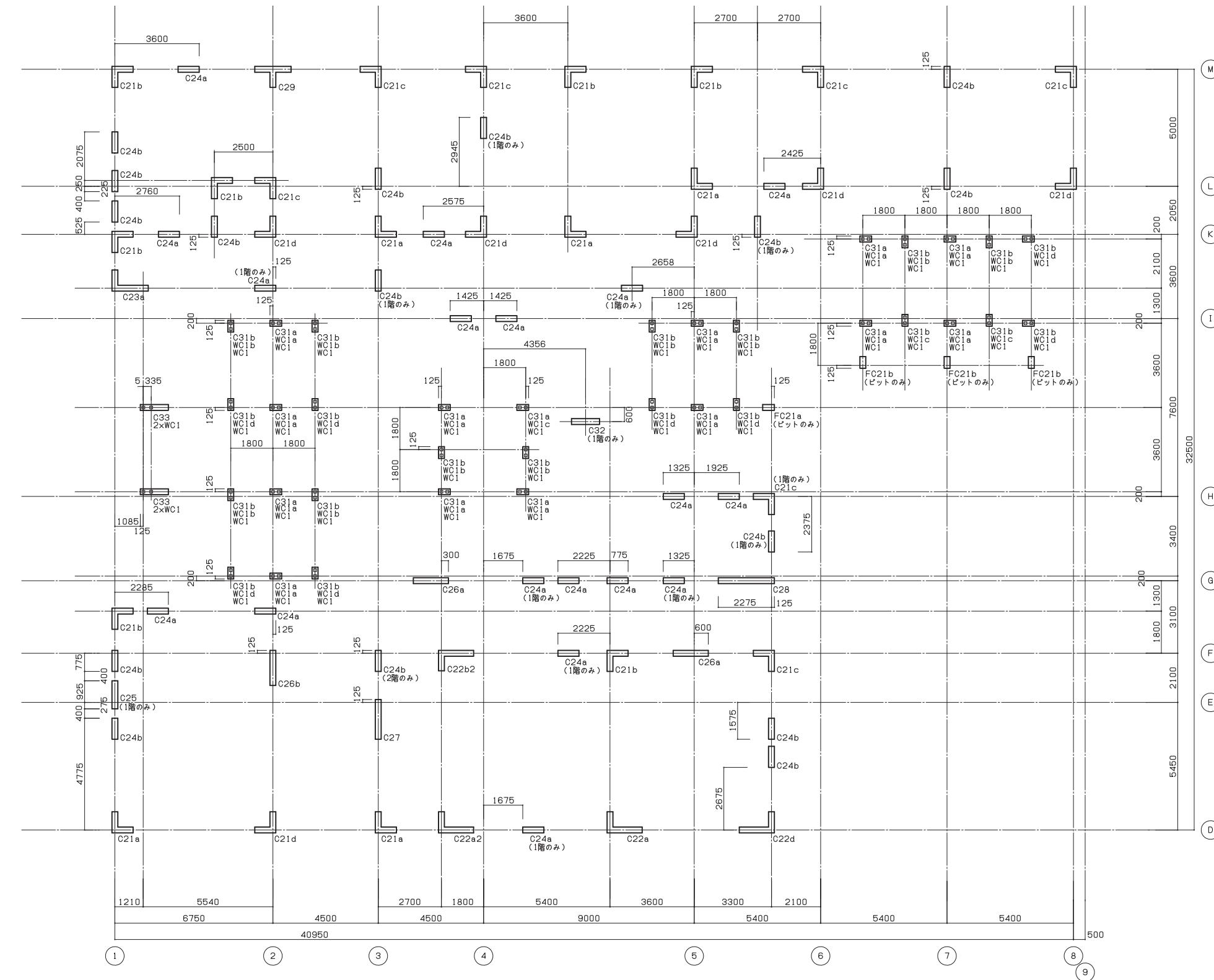
2024.8.30

検図者:宇田川 貴章

棟1 基礎梁断面表

A1=1/50
A3=1/100

No. J-221730-C



審工	.	.	
竣工	.	.	
監理	.	.	
施工	.	.	

3-12_中頓別 棟1柱位置図.dwg_1/100_24/08/01

代表となる設計者	勝矢 武之	一级
他の設計者	久次米 薫	一级
	宮城 正弘	一级
	若松 宏輔	
	中村 優人	
	大和 純子	

建設言日

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

(通し番号)
構 3 - 12

柱断面表		A1:1/50 A3:1/100	注記) 記入なき限り下記による。			
符号	C21a~C21d	C22a, C22b, C22d(C22a2, C22b2)	C23a, C23b			
断面						
主筋	12-D19+8-D13	12-D19+12-D13(24-D19)	12-D19+12-D13			
带筋	■-D10 Ø100	■-D10 Ø100	■-D10 Ø100			
補助筋		()内はC22a2, C22b2を示す。				
備考						
符号	C24a, C24b	C25	C26a, C26b	C27	C28	C29
断面						
主筋	8-D19+4-D13	8-D19+6-D13	8-D19+8-D13	8-D19+8-D13	12-D19+12-D13	12-D22+12-D13
带筋	■-D10 Ø100	■-D10 Ø100	■-D10 Ø100	■-D10 Ø100	■-D10 Ø100	■-D10 Ø100
補助筋						
備考						
符号	C31a, C31b	C32	C33		FC21a, FC21b	
断面						
主筋	6-D19	8-D19+6-D13	12-D19+6-D13		6-D19	
带筋	□-D10 Ø100	■-D10 Ø100	■-D10 Ø100		□-D10 Ø100	
補助筋						
備考						

借

工作	施工	竣工	竣工
審工	.	.	
竣工	.	.	
監理		.	
		.	
施工		.	
		.	

代表となる設計者	勝矢 武之	一級建築士	
その他の設計者	久次米 薫 宮城 正弘 若松 宏輔 中村 優人 大和 紗子	一級建築士・構造設計 一級建築士・構造設計 一級建築士 一級建築士 一級建築士	法適合確認
			2024.01.01

日建設計

(仮称)人生100年の学びの拠点 中頓別学園整備工事

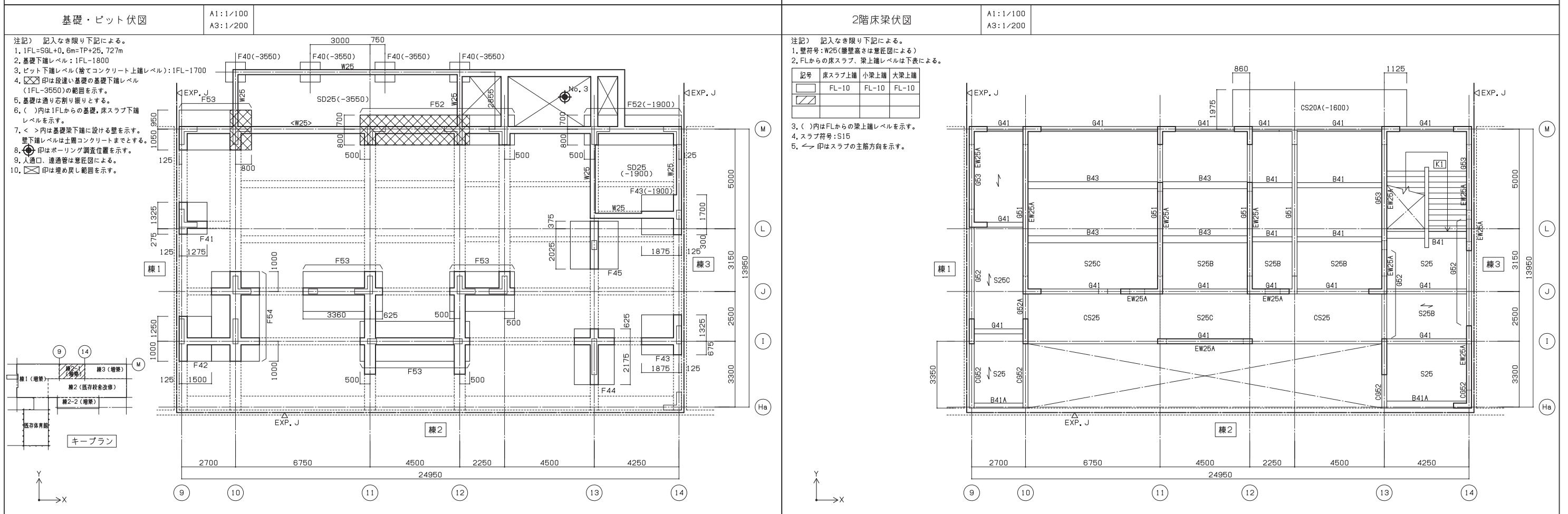
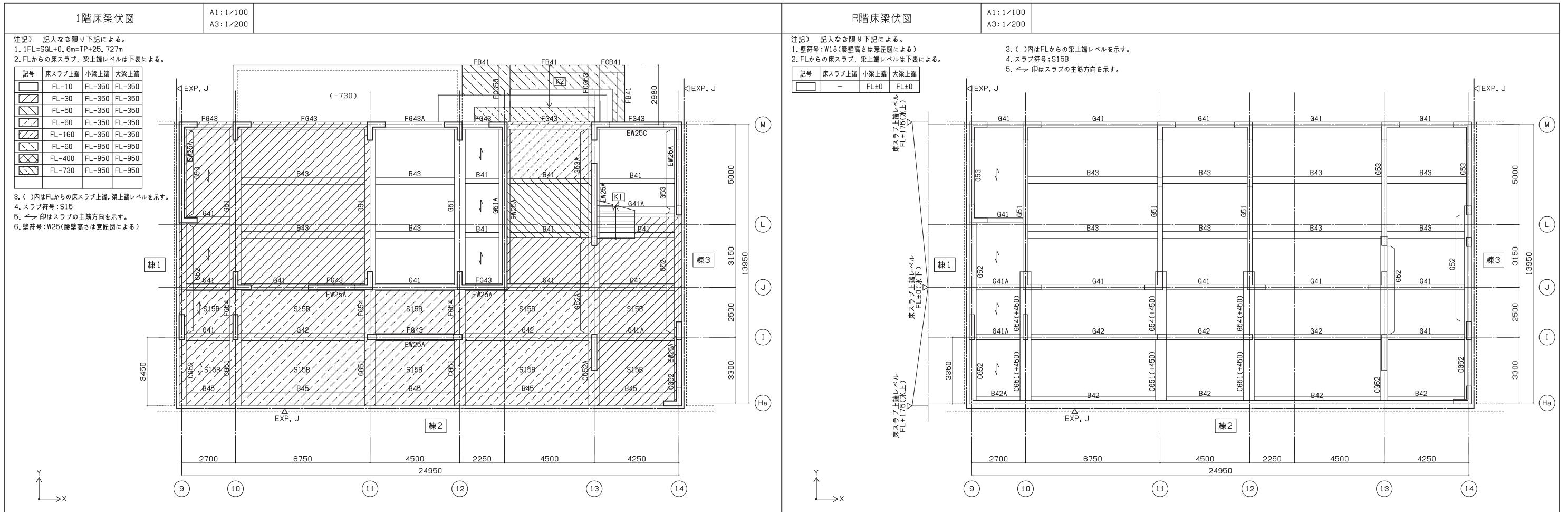
(通し番号 000)
構 3 - 13

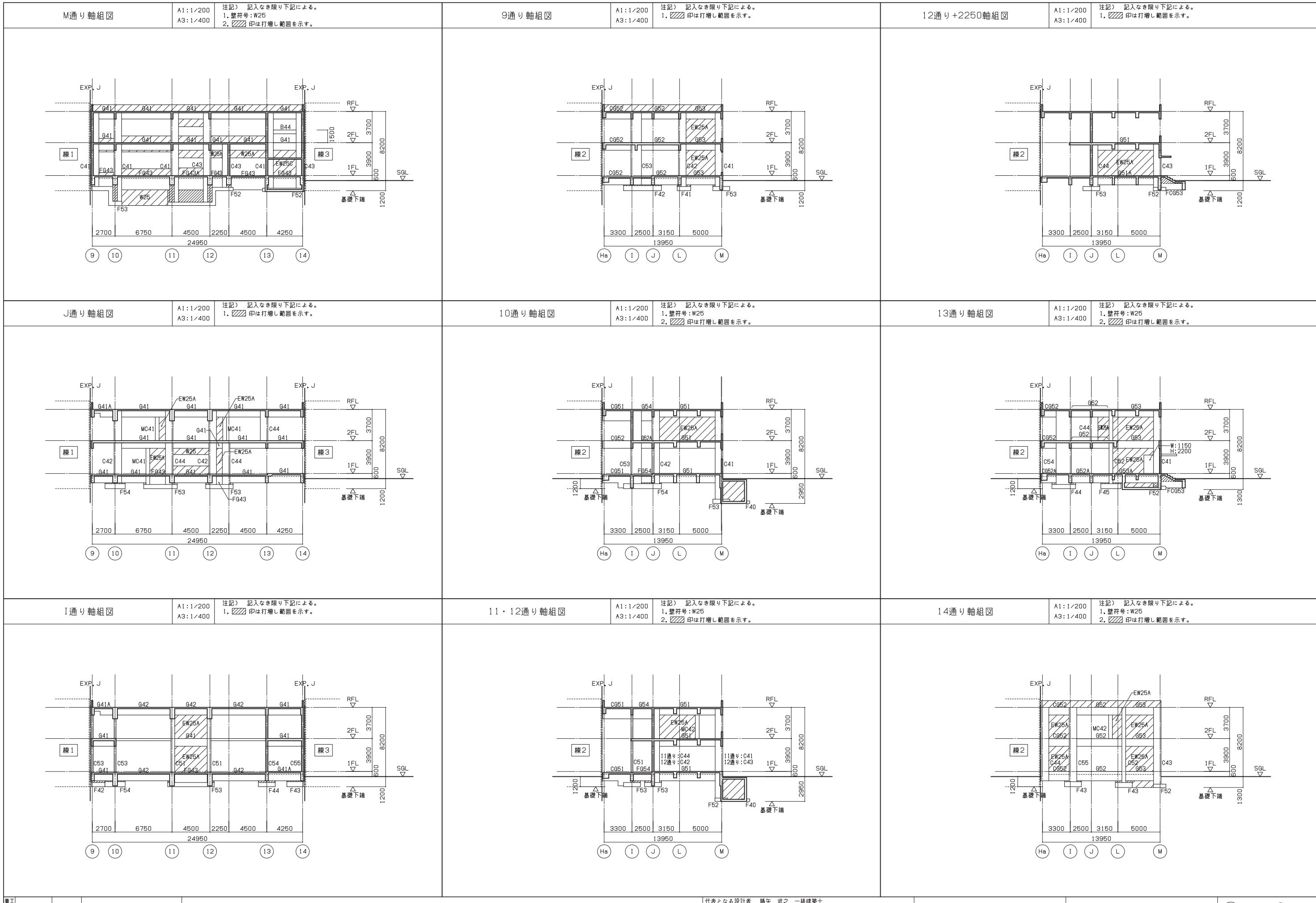
大梁断面表			A1:1/50 A3:1/100	注記) 記入なき限り下記による。 1.巾止め筋 D1001000																					
符号	G21(G21a)			G22(G22a)			G23		G24		G25		G26		G27		G28		G29		G29A		G30		
位置	1通り端	中央	2通り端	端部	中央	全断面	全断面	全断面	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面								
R階																									
上端筋	2-D19	4-D19	4-D19	6-D22	4-D22	4-D19	4-D22	4-D19	6-D19	4-D19	4-D19	6-D19	4-D19	2-D19	4-D22	2-D19	4-D19								
下端筋	2-D19	4-D19	4-D19	4-D22	6-D22	4-D19	4-D22	4-D19	4-D19	6-D19	2-D19	4-D19	2-D19	4-D19	4-D22	2-D19	4-D19								
あら筋	□-D10 0100	□-D10 0200	□-D10 0100	□-D10 0100	□-D10 0200	□-D10 0100	□-D10 0200																		
腹筋	8-D10	4-D10	10-D10	10-D10	10-D10	10-D10	10-D10	10-D10	10-D10	10-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	10-D10	4-D10									
備考	()内はG21aを示す。			G22aは()内の値とする。																					
位置	1通り端	中央	2通り端	端部	中央	端部	中央	全断面	全断面	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面									
2階																									
上端筋	2-D19	2-D19	4-D19	6-D19	4-D19	4-D19	2-D19	4-D19																	
下端筋	2-D19	4-D19	2-D19	4-D19	6-D19	4-D19	2-D19	4-D19																	
あら筋	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	
腹筋	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	
備考	スパン3000mm以下の場合、全断面端部断面とする。																								
位置	1通り端	中央	他端	H通り端	中央・G通り端	全断面	全断面																		
R階																									
2階				<img alt="Cross-section diagram G34 showing a U-shaped steel beam with top flange height 900, bottom flange height 900, and web thickness 250. It has two vertical stiffeners of 250 each. Top flange has 3 horizontal bars labeled 900,																					

片持ち梁断面表		A1:1/50 A3:1/100	注記) 記入なき限り下記による。 1. 巾止め筋 D1001000											
符号	CG21	CG23	CG25	CG26, CG27	CG29	CG33	CG35	CG37	CG38	CB30	CB22			
位置	全断面	全断面	元端 (元端) 先端	元端 (元端) 先端	全断面	全断面	全断面	元端 (元端) 先端	全断面	全断面	元端 (元端) 先端			
断面														
上端筋	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	5-D22	3-D22	4-D19	4-D19	6-D19	4-D19	4-D19	5-D19	3-D19	
下端筋	2-D19	4-D19	4-D19	4-D19	3-D22	3-D22	2-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	3-D19	
あばら筋	□-D10 0200	□-D10 0100	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0100	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	
腹筋	4-D10	10-D10	2-D10	2-D10	4-D10	10-D10	8-D10	10-D10	4-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	
備考	片持ち長さL=1400mm以下	片持ち長さL=2350mm以下	片持ち長さL=2350mm以下	片持ち長さL=2350mm以下	片持ち長さL=2350mm以下	片持ち長さL=2350mm以下	片持ち長さL=2350mm以下	片持ち長さL=2350mm以下	片持ち長さL=3850mm以下	片持ち長さL=3850mm以下	片持ち長さL=3850mm以下	片持ち長さL=3850mm以下	片持ち長さL=2350mm以下	

小梁断面表		A1:1/50 A3:1/100	注記) 記入なき限り下記による。 1. 巾止め筋 D1001000											
符号	B21	B22	B23	B24	B25	B26	B27	B28	B29	B30				
位置	連梁端 中央 他端	連続端 中央 他端	端部 中央	連梁端 中央 他端	全断面	全断面	全断面	連梁端 中央 他端	全断面	全断面				
断面														
上端筋	4-D19 2-D19 2-D19	5-D19 3-D19 3-D19	3-D19 3-D19	6-D19 3-D19 3-D19	6-D19	2-D19	4-D19	4-D19 2-D19 2-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	
下端筋	2-D19 4-D19 2-D19	3-D19 5-D19 3-D19	3-D19 5-D19	3-D19 6-D19 3-D19	3-D19	2-D19	4-D19	2-D19 4-D19 2-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	
あばら筋	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0100	□-D10 0200	□-D10 0100	□-D10 0200	□-D10 0100	□-D10 0200	□-D10 0200	
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	10-D10	4-D10	8-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	
備考														
符号														
位置														
断面														
上端筋														
下端筋														
あばら筋														
腹筋														
備考														

Q-1G 中標判 施工部材斷面圖 大圖 1/1 24/87/22





着工
竣工
監理
施工

代表となる設計者 藤矢 武之 一級建築士
その他の設計者 久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認)
宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士
若松 宏輔
中村 優人
大和 純子

日建設計

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事

(通し番号)
4-2
A1=1/200
A3=1/400
No. J-221730-C

柱位置図

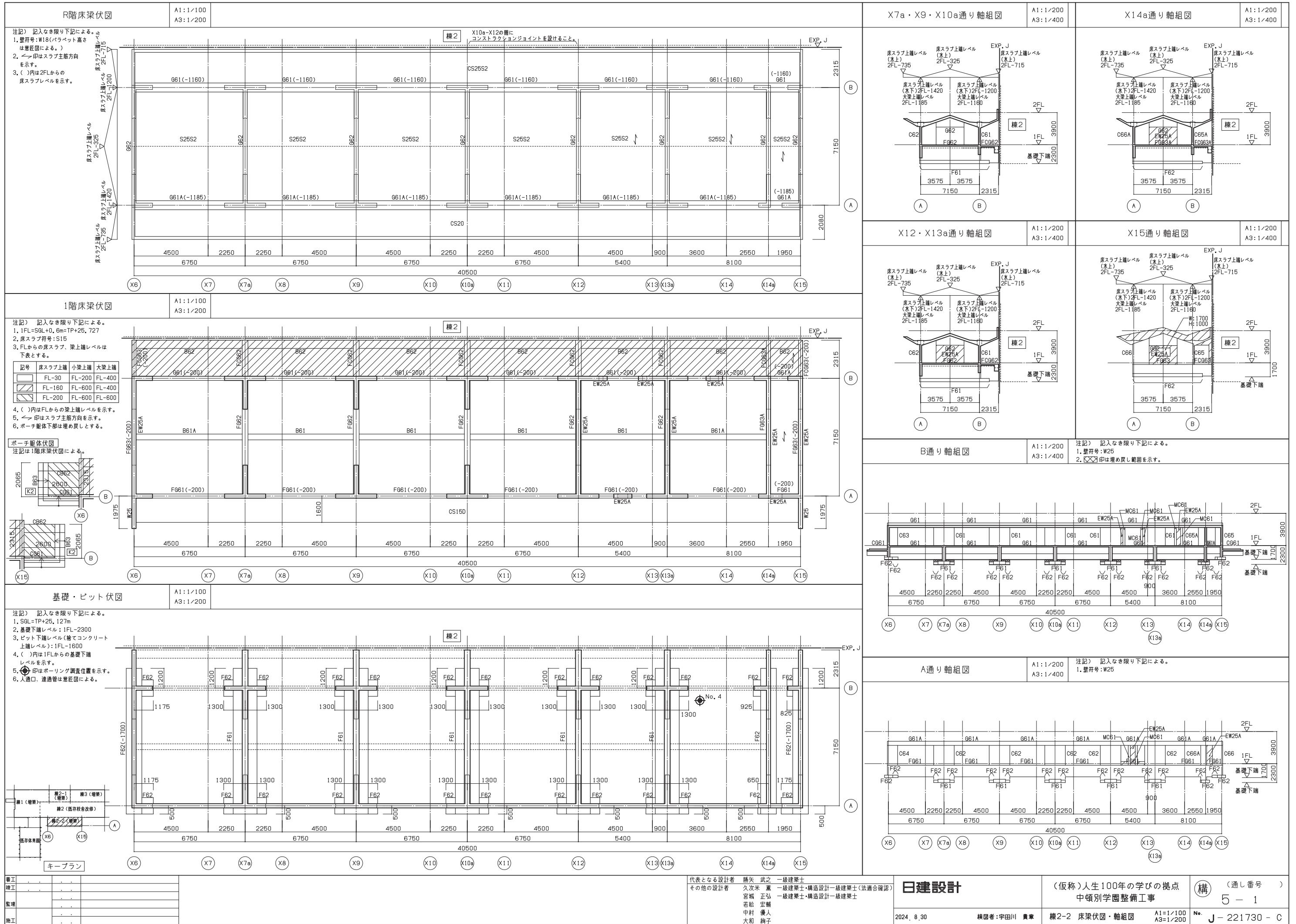
A1:1/100
A3:1/200

注記) 記入なき限り下記による。
1. 寸法なき柱芯は通り芯割り振りとする。
2. 記入なき柱は1F~2Fまでの柱とする。

3. ()内は柱のレベルを示す。

柱断面表		A1:1/50 A3:1/100	注記) 記入なき限り下記による。		
符号	C41	C42	C43	C44	
2 S 1 階					
主筋	12-D19+8-D13	12-D19+8-D13	12-D19+8-D13	12-D19+8-D13	
带筋	Φ-D10 0100	Φ-D10 0100	Φ-D10 0100	Φ-D10 0100	
補助筋					
備考					
符号	C51	C52	C53	C54	C55
2 S 1 階					
主筋	4-D19	4-D19	8-019+6-D13	8-019+12-D13	8-019+4-D13
带筋	□-D10 0100	□-D10 0100	□-D10 0100	□-D10 0100	□-D10 0100
補助筋					
備考					
符号	MC41	MC42			
2 S 1 階					
主筋	4-D19	4-D19			
带筋	□-D10 0100	□-D10 0100			
補助筋					
備考					
施工	.	.			
竣工	.	.			
監理	.	.			
施工	.	.			

大梁断面表		A1:1/50 A3:1/100	注記) 記入なき限り下記による。											
符 号	G41	G41A		G42	G51		G52(G52A)							
位 置	全断面	9通り端	中央・他端	11・12通り端	中央・他端	J通り端	中央	他端	I通り端・中央	他端				
R 階														
上 端 筋	2-D22	2-D22	2-D22	4-D22	2-D22	4-D25	2-D25	2-D25	5-D25	3-D25				
下 端 筋	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D25	4-D25	2-D25	3-D25	3-D25				
あ ば ら 筋	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200				
腹 筋	4-D10	-	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10				
備 考	9通り端の範囲は柱・梁面から700mmとする。													
位 置	全断面					端部	中央	I通り端・中央(全断面)		他端				
2 階														
上 端 筋	2-D22					2-D22	2-D22	4-D22	2-D22	2-D22				
下 端 筋	2-D22					2-D22	4-D22	2-D22	2-D22	2-D22				
あ ば ら 筋	□-D10 0200					□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200				
腹 筋	4-D10					4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	4-D10				
備 考	()内はG52A断面を示す。													
符 号	G53	G54		CG51		CG52								
位 置	全断面	全断面		全断面		全断面								
R 階														
上 端 筋	2-D25	8-D25		8-D25		5-D25								
下 端 筋	2-D25	5-D25		5-D25		3-D25								
あ ば ら 筋	□-D10 0200	□-D13 0200		□-D13 0200		□-D10 0200								
腹 筋	4-D10	6-D10		6-D10		4-D10								
備 考	片持梁とする。													
位 置	全断面					全断面								
2 階														
上 端 筋	2-D22					4-D22								
下 端 筋	2-D22					2-D22								
あ ば ら 筋	□-D10 0200					□-D10 0200								
腹 筋	4-D10					4-D10								
備 考	片持梁とする。													
小梁断面表			A1:1/50 A3:1/100	注記) 記入なき限り下記による。										
符 号	B41(B41A)	B42		B42A		B43	B44		B45					
位 置	全断面	連続端	中央	14通り端	全断面		連続端	中央	10・14通り端	全断面	全断面			
断 面														
上 端 筋	2-D22	4-D22	2-D22	2-D22	4-D22	5-D22	3-D22	2-D19	6-D22					
下 端 筋	2-D22	2-D22	4-D22	2-D22	2-D22	3-D22	3-D22	2-D19	6-D22					
あ ば ら 筋	□-D10 0200	□-D10 0200		□-D10 0200		□-D10 0200		□-D10 0200		□-D13 0200				
腹 筋	2-D10	2-D10		2-D10		2-D10		-		-				
備 考	()内はB41Aを示す。													
筋配筋要領	代表となる設計者	勝矢 武之	一級建築士	日建設		(仮称)人生100年の学びの拠点 中頃別学園整備工事					(構) (通し番号) 4 - 4			
	その他の設計者	久次米 薫	一級建築士・構造設計士・一級建築士(法適合確認)											
	宮城 正弘	一級建築士・構造設計士・一級建築士												
	若松 宏輔													
	中村 優人													
	大和 駿子													
	2024. 8.30		検査者:宇田川 貴章		棟2-1 柱位置図、柱断面表 A1=1/50, 1/100 A3=1/100, 1/200									
	No. J - 221730 - C													



1階床梁伏図

A1:1/100
A3:1/200

注記) 記入なき限り下記による。

1. 1FL=SGL+600

2. 床スラブ符号: S15

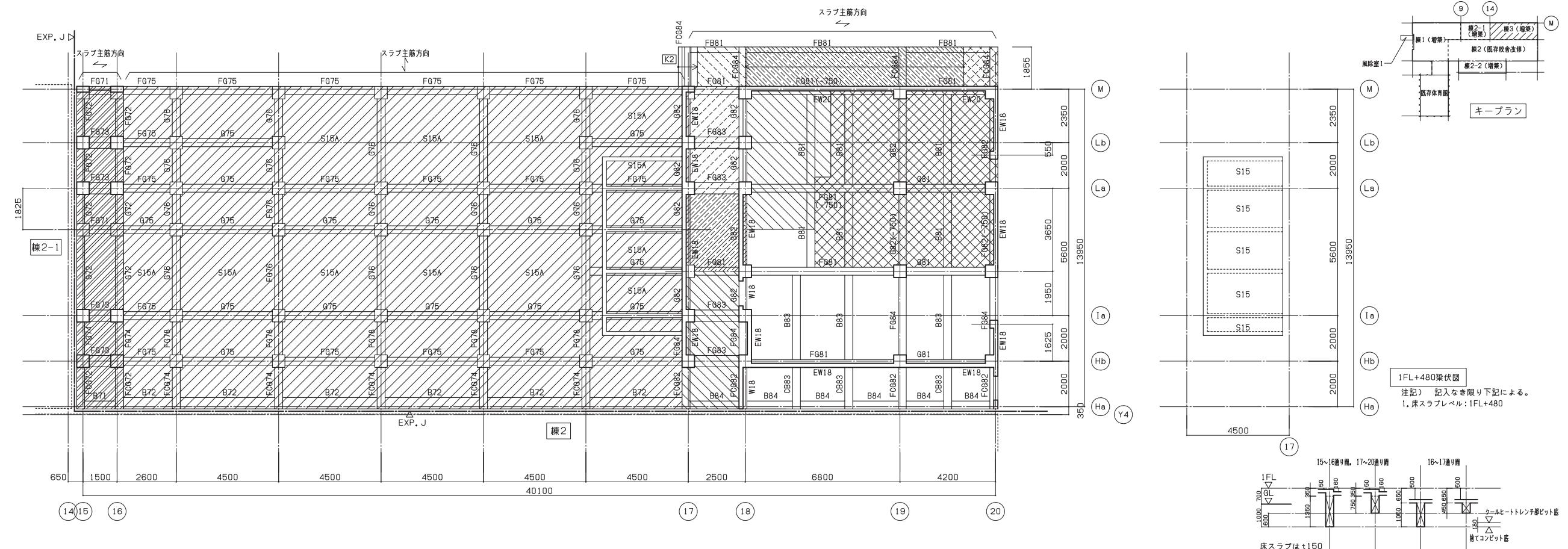
3. 壁符号: W18

4. FLからの床スラブ、梁上端レベルは
下表とする。

記号	床スラブ上端	小梁上端	大梁上端
FL- 10	FL-350	FL-350	
FL- 30	FL-350	FL-350	
FL- 50	FL-350	FL-350	
FL-200	FL-350	FL-350	
FL-500	FL-650	FL-650	
FL-600	FL-750	FL-750	
FL-70	FL-350	FL-350	
FL-750	FL-750	FL-750	
FL-70~750	FL-750	FL-750	

5. ()内はFLからの梁上端レベルを示す。

6. ↗印はスラブ主筋方向を示す。



基礎・ピット伏図

A1:1/100
A3:1/200

注記) 記入なき限り下記による。

1. SGL=TP+25, 127m

2. 基礎・耐圧版下端レベル: 1FL-1800

3. □印は段違い基礎の基礎下端レベル(1FL-1700)の範囲を示す。

4. 東棟はW18とする。

5. ピットは捨てコンクリートピットとする。

レベルは下表による。

記号	捨てコンクリート上端
1FL-1700	
1FL-2100	

6. □印は土槽コンクリート(SD18)の範囲を示す。

土槽コンクリート上端レベル: 1FL-1520

7. ()内は1FLからの基礎下端

レベルを示す。

8. ●印はボーリング調査位置を示す。

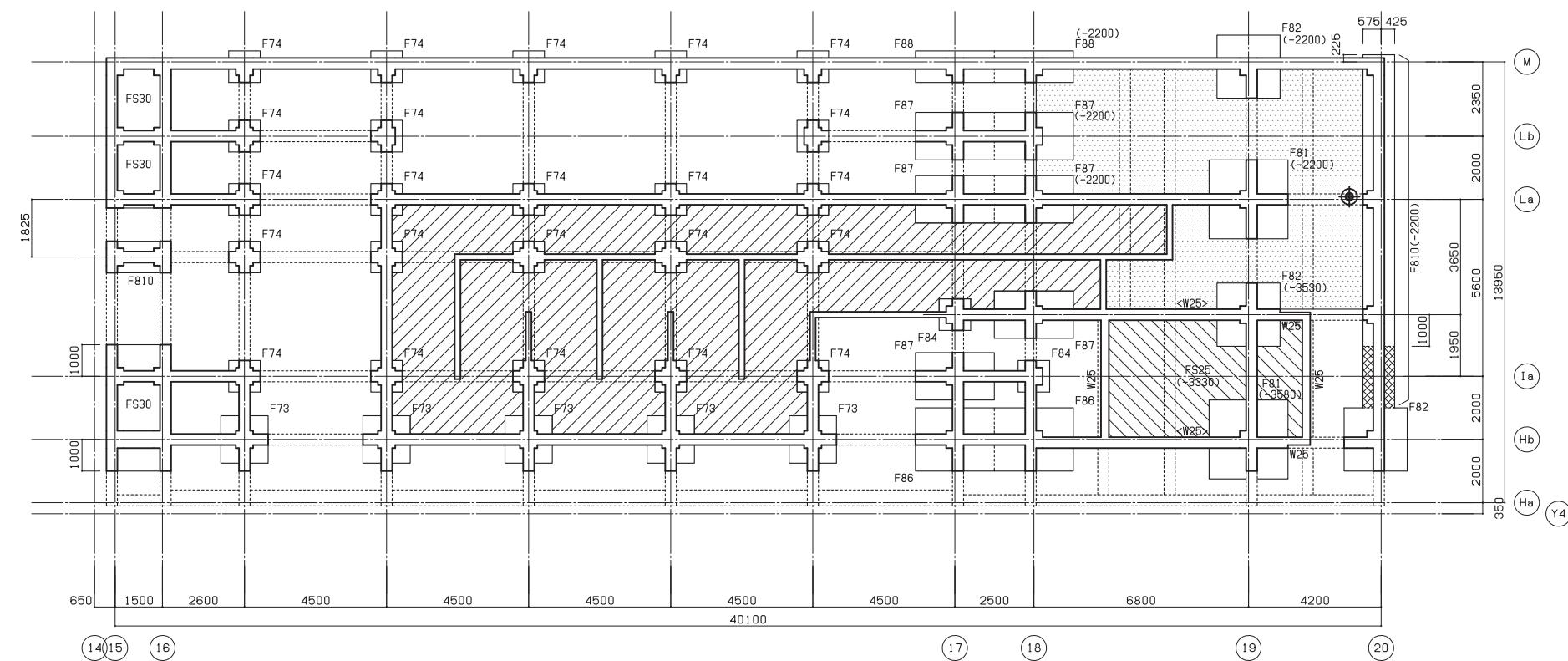
9. 人通り、連通管は差し図による。

10. □印の範囲は基礎スラブ下の砂利置換

範囲を示す。

11. < >内は基礎梁下端に設ける壁を示す。

壁下端レベルは基礎スラブまでとする。



着工
竣工	...	
監理	...	
施工	...	

代表となる設計者 勝矢 武之 一級建築士
その他の設計者 久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認)
宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士
若松 宏輔
中村 優人
大和 梅子

日建設計

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頃別学園整備工事(構) (通し番号)
6 - 1

2024. 8. 30

検図者: 宇田川 貴章

棟3 床梁伏図(1)

A1=1/100
A3=1/200

No. J - 221730 - C

R階床梁伏図

A1:1/100
A3:1/200

注記) 記入なき限り下記による。

1. 床スラブ符号:S15、壁符号:W18(バラベット高さは意匠図による。)

2. ↗印はスラブ主筋方向を示す。

3. FLからの床スラブ、梁上端レベルは下表とする。

記号	床スラブ上端	小梁上端	大梁上端
床スラブ:FL±0~水勾配	FL±0	FL±0	FL±0
ティッキプレート:FL±0~水勾配	FL-125	FL-125	FL-24
構造用合板:t24:FL±0	FL-24	FL-24	

4. ()内はFLからの梁上端レベルを示す。

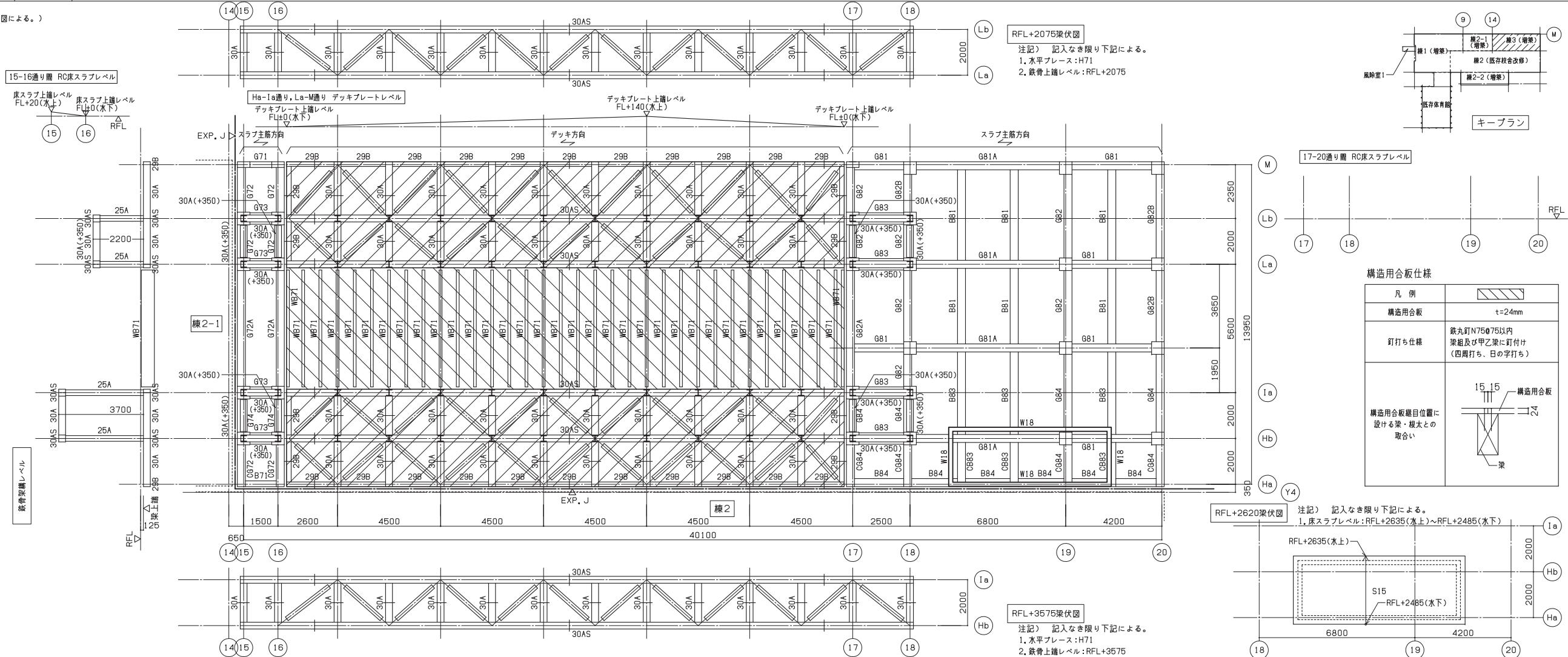
5. 水平フレース:H71

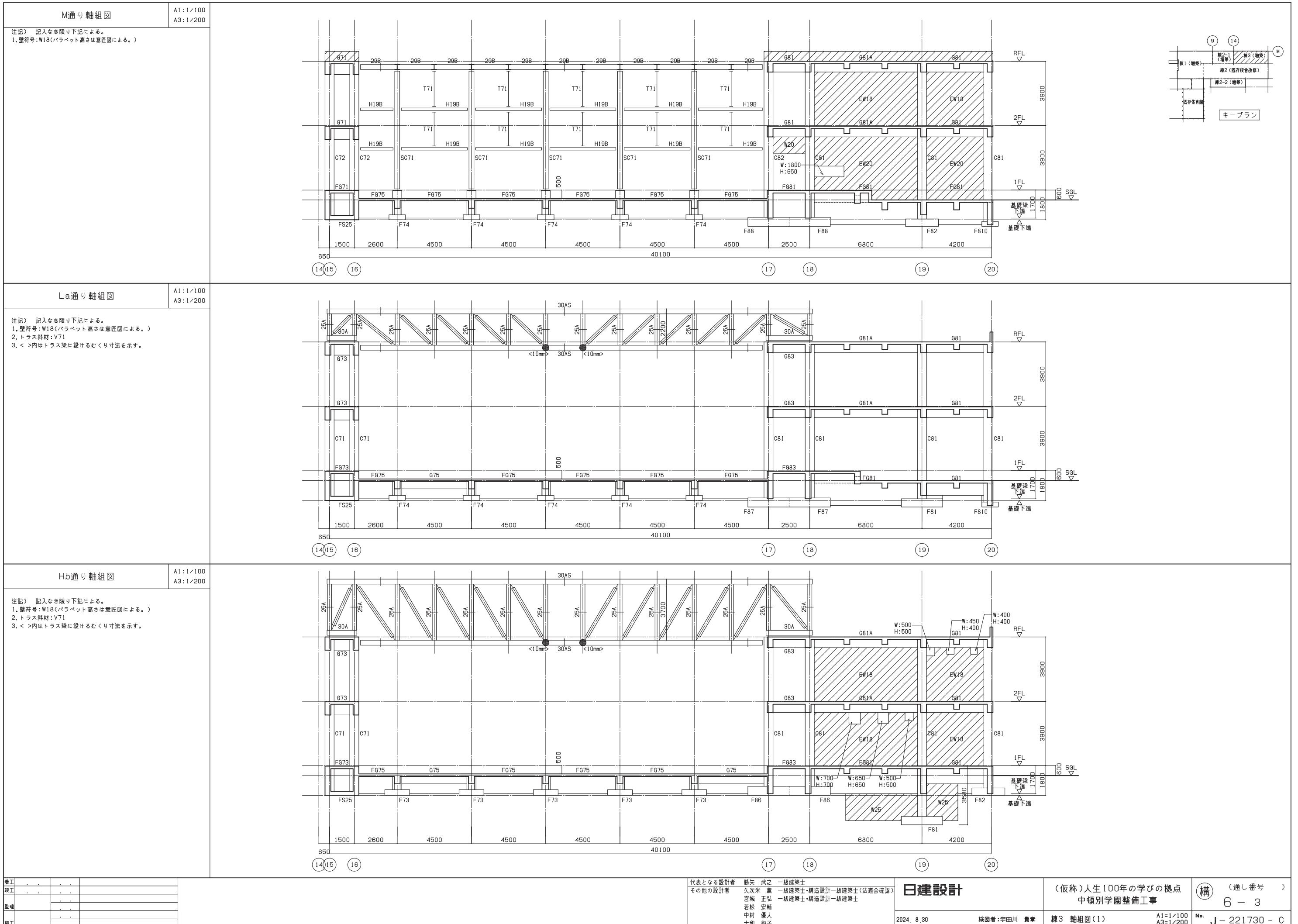
6. 鉄骨接合部は剛接合とする。

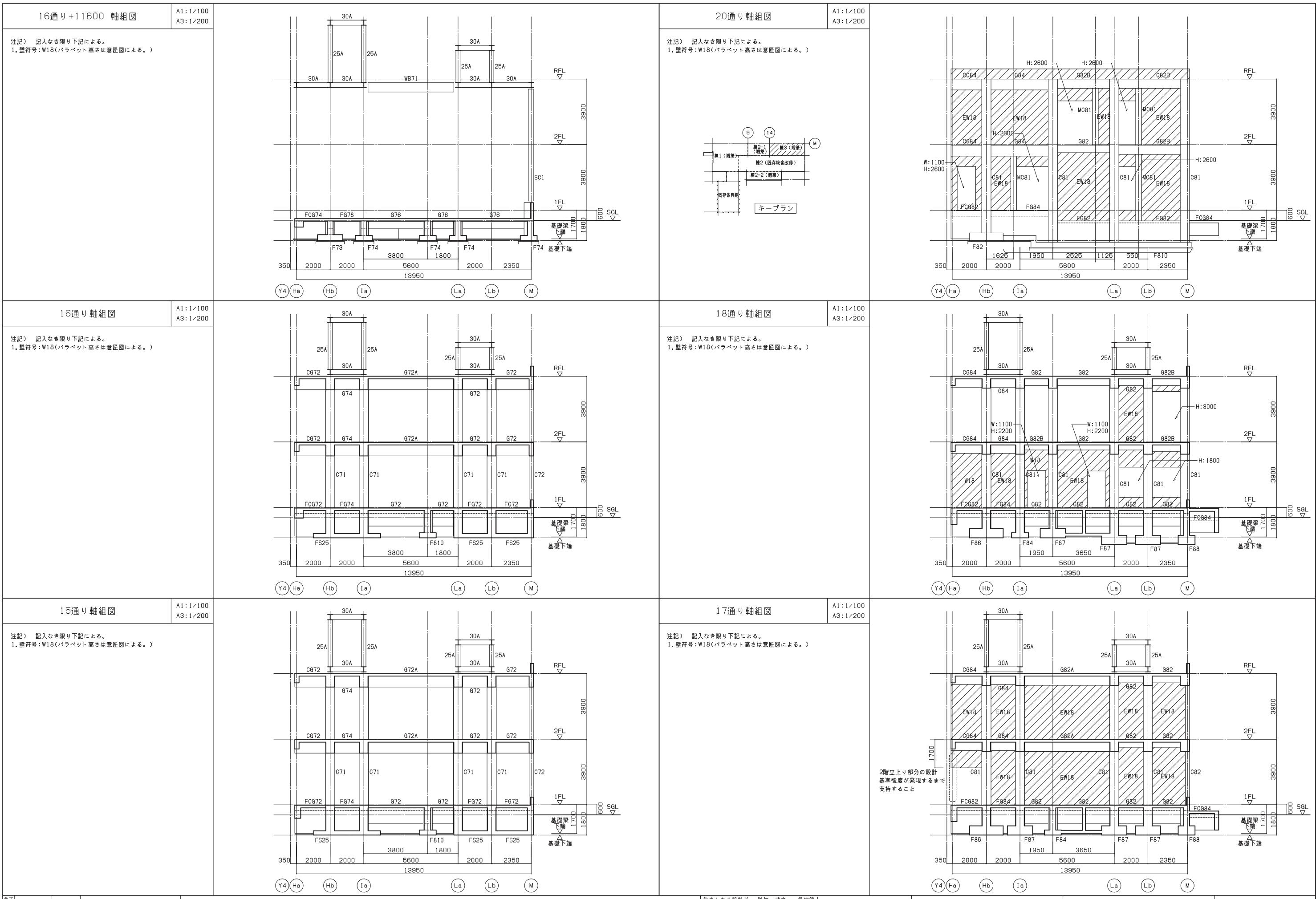
フレースはピン接合とする。

7. ↗印は鉄骨接合部の締手位置を示す。
(締手長さは鉄骨詳細図による。)

8. 周柱:25A







着工	.	.	代表となる設計者	勝矢 武之 一級建築士	日建設計	(仮称)人生100年の学びの拠点	構 (通し番号)
竣工	.	.	その他の設計者	久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法務合確認) 宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士 若松 宏輔 中村 優人 大和 梅子		中頓別学園整備工事	6 - 4
監理	.	.			2024. 8.30	検査者:宇田川 貴章	A1=1/100 A3=1/200
施工	.	.				棟3 軸組図(2)	No. J - 221730 - C

基礎断面表				A1:1/50 A3:1/100	注記) 記入なき限り下記による。 1. 独立基礎同士が接する場合はD13Ø200の鉄筋を配筋すること。				基礎梁・1階大梁断面表				A1:1/50 A3:1/100	注記) 記入なき限り下記による。 1. 巾止め筋 D10Ø1000					
独立基礎								符号	FG71, FG72		FG73		FG74		FG75, FG76				
								位置	全断面		全断面		Hb通り端・中央 Ia通り端		全断面				
								断面											
								X方向	配筋		Y方向		備考						
								F73	1600	1500	350	上端筋 7-D13 下端筋 9-D16		上端筋 7-D13 下端筋 5-D16		IFL 350 1350			
								F74	1000	1000	300	上端筋 5-D13 下端筋 5-D16		上端筋 5-D13 下端筋 11-D13		IFL 350 1350			
								F81	2500	2500	500	上端筋 11-D13 下端筋 13-D19		上端筋 11-D13 下端筋 13-D16		IFL 350 1350			
								F82	2000	2000	450	上端筋 9-D13 下端筋 11-D19		上端筋 11-D19 下端筋 11-D19		IFL 350 1350			
								F84	1000	1000	300	上端筋 5-D13 下端筋 5-D16		上端筋 5-D13 下端筋 5-D16		IFL 350 1350			
								F86	2000	2500	550	上端筋 9-D13 下端筋 11-D19		上端筋 11-D19 下端筋 13-D16		IFL 350 1350			
								F87	1500	2500	550	上端筋 7-D13 下端筋 9-D19		上端筋 9-D19 下端筋 13-D16		IFL 350 1350			
								F88	1000	2500	550	上端筋 5-D13 下端筋 5-D19		上端筋 11-D13 下端筋 13-D16		IFL 350 1350			
												上端筋 上端筋 下端筋 下端筋		上端筋 上端筋 下端筋 下端筋		IFL 350 1350			
独立基礎												上端筋 3-D22 下端筋 3-D22 <td data-kind="ghost"></td> <td data-cs="2" data-kind="parent">上端筋 5-D22 下端筋 5-D22</td> <td data-kind="ghost"></td> <td data-cs="2" data-kind="parent">上端筋 5-D22 下端筋 3-D22</td> <td data-kind="ghost"></td> <td data-cs="2" data-kind="parent">上端筋 5-D22 下端筋 3-D22</td> <td data-kind="ghost"></td>		上端筋 5-D22 下端筋 5-D22		上端筋 5-D22 下端筋 3-D22		上端筋 5-D22 下端筋 3-D22	
									あら筋 □-D10 Ø200		あら筋 □-D10 Ø200		あら筋 □-D10 Ø200		あら筋 □-D10 Ø200		あら筋 □-D10 Ø200		
									腹筋 6-D10		腹筋 6-D10		腹筋 6-D10		腹筋 6-D10		腹筋 4-D10		
									符号 G72		符号 G75, G76		符号 G72		符号 G75, G76		符号 G72		
F810									位置 全断面		位置 全断面		位置 全断面		位置 全断面		位置 全断面		
									上端筋 3-D22 下端筋 3-D22		上端筋 3-D22 下端筋 3-D22		上端筋 3-D22 下端筋 3-D22		上端筋 3-D22 下端筋 3-D22		上端筋 3-D22 下端筋 3-D22		
									あら筋 □-D10 Ø200		あら筋 □-D10 Ø200		あら筋 □-D10 Ø200		あら筋 □-D10 Ø200		あら筋 □-D10 Ø200		
									腹筋 2-D10		腹筋 2-D10		腹筋 2-D10		腹筋 2-D10		腹筋 2-D10		
片持ち基礎梁断面表									符号 FCG72		符号 FCG74		符号 FCG81, FCG82		符号 FCG83		符号 FCG84		
									位置 元端		位置 中央		位置 全断面		位置 全断面		位置 全断面		
									断面		断面		断面		断面		断面		
									上端筋 5-D22 下端筋 3-D22		上端筋 5-D22 下端筋 3-D22		上端筋 5-D22 下端筋 3-D22		上端筋 5-D22 下端筋 3-D22		上端筋 5-D22 下端筋 3-D22		
									あら筋 □-D10 Ø200		あら筋 □-D10 Ø200		あら筋 □-D10 Ø200		あら筋 □-D10 Ø200		あら筋 □-D10 Ø200		
									腹筋 6-D10 備考 2-D10		腹筋 6-D10 備考 2-D10		腹筋 6-D10 備考 2-D10		腹筋 6-D10 備考 2-D10		腹筋 6-D10 備考 2-D10		

柱位置図

A1:1/100 A3:1/200	注記) 記入なき限り下記による。 1.寸法なき柱芯は通り芯割り振りとする。 2.< >内は覆柱符号を示す。
----------------------	---

3. ()内は柱のレベルを示す。

Y
X

125
1825
2000
13950
5600
3550
1125
1625
100
100
125

1500 2600 4500 4500 4500 4500 2500 6800 4200

40100

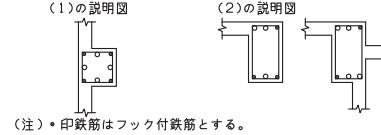
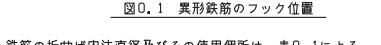
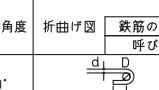
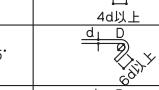
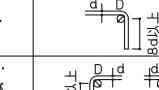
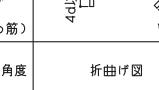
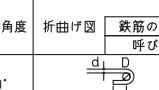
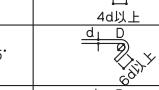
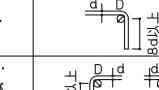
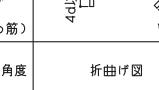
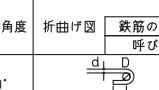
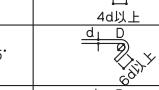
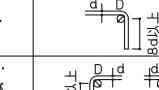
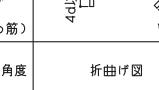
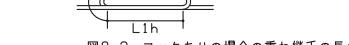
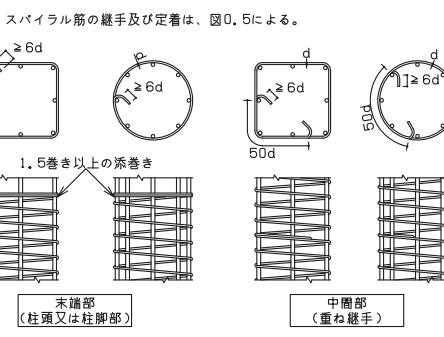
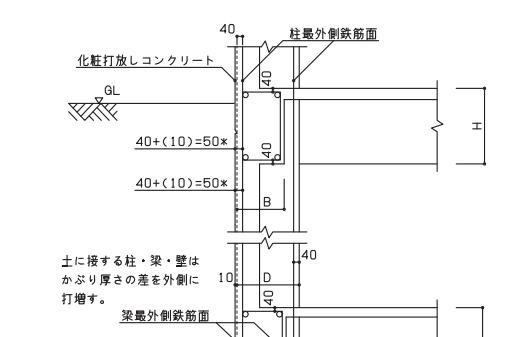
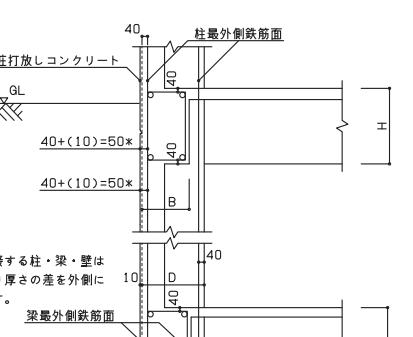
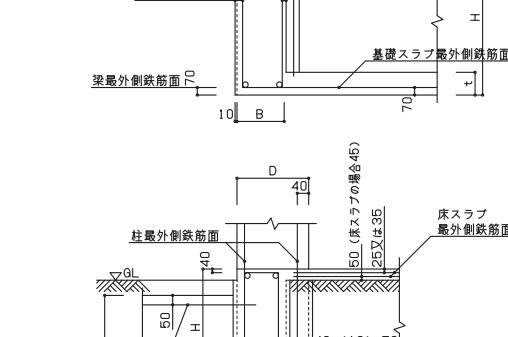
(14)(15) (16) (17) (18) (19) (20)

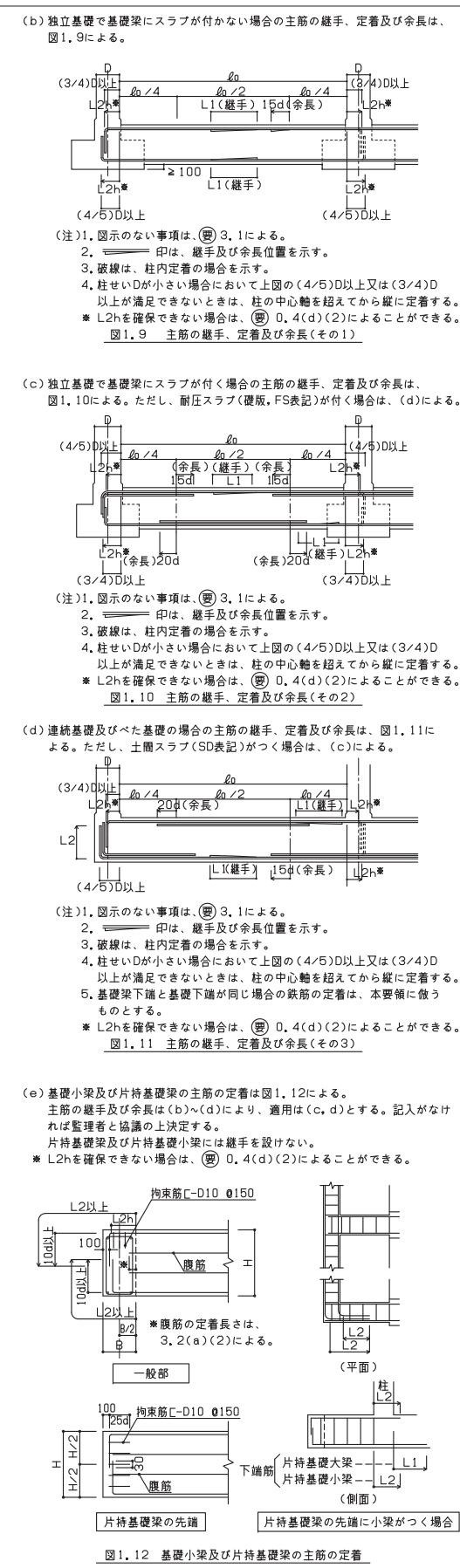
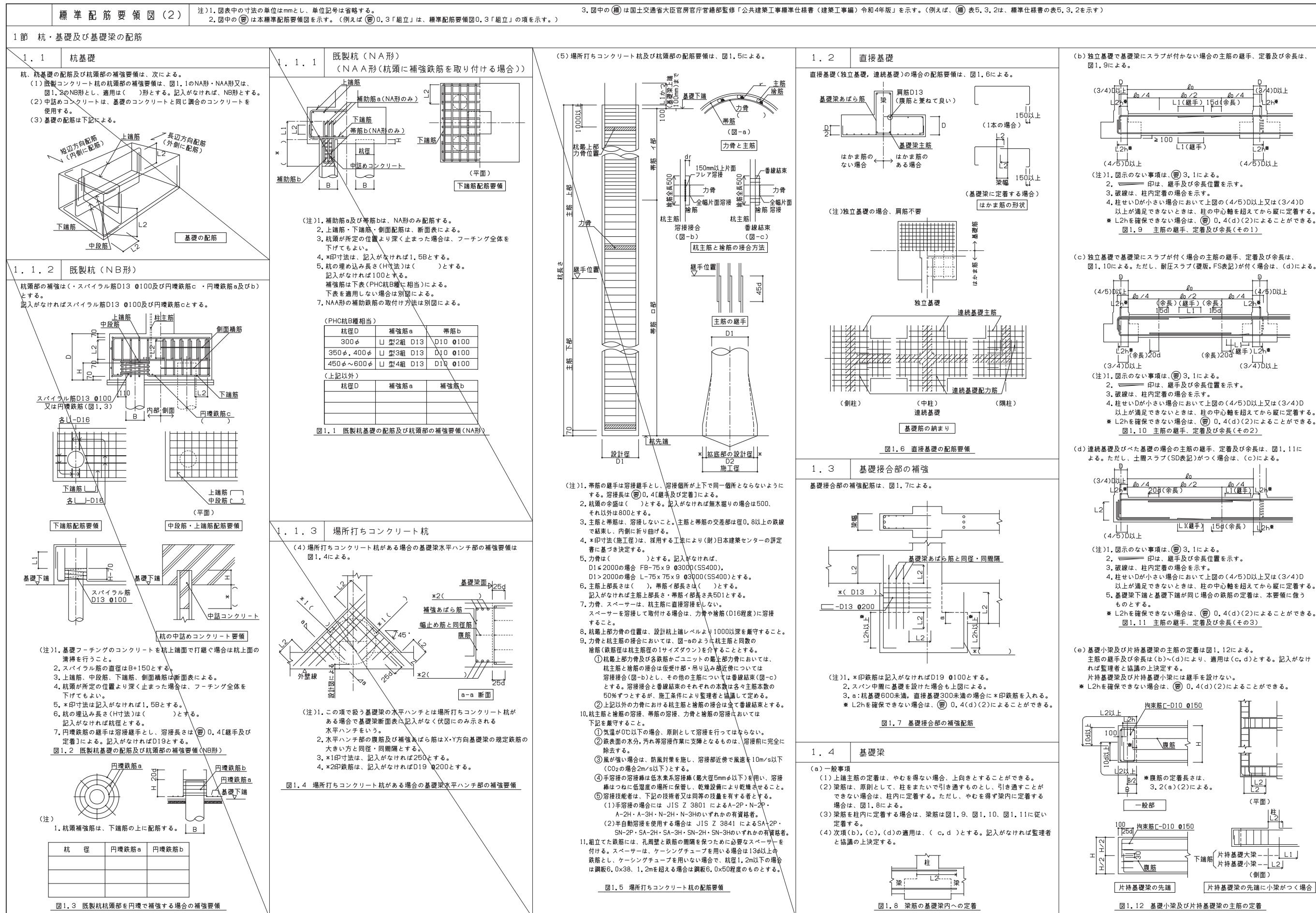
M
Lb
La
Ia
Hb
Ha

RC柱断面表		A1:1/50 A3:1/100	注記) 記入なき限り下記による。	
符号	C71	C72	C81	C82
2 ↓ 1 階				
主筋	12-D19	8-D19	12-D19	8-D19
帯筋	□-D10 0100	□-D10 0100	□-D10 0100	□-D10 0100
補助筋				
備考				
符号	MC81			
2 ↓ 1 階				
主筋	4-D19			
帯筋	□-D10 0100			
補助筋				
備考				
符号	FC71, FC81			
断面				
主筋	12-D19			
帯筋	□-D10 0100			
補助筋				
備考				
着工	.	.		
竣工	.	.		
監理	.	.		
施工	.	.		

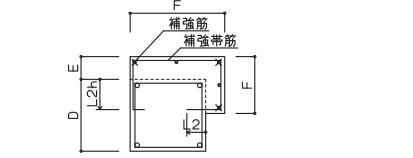
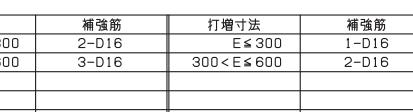
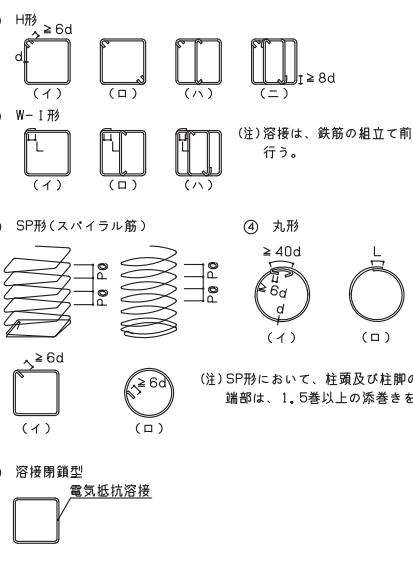
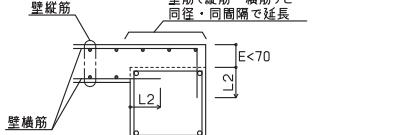
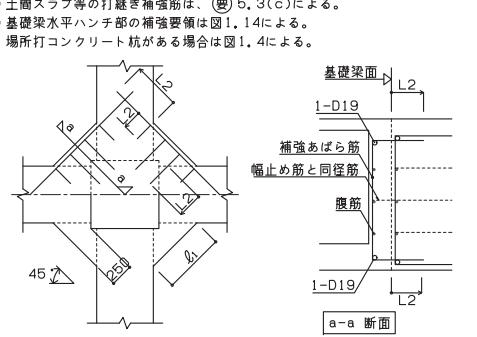
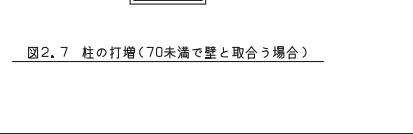
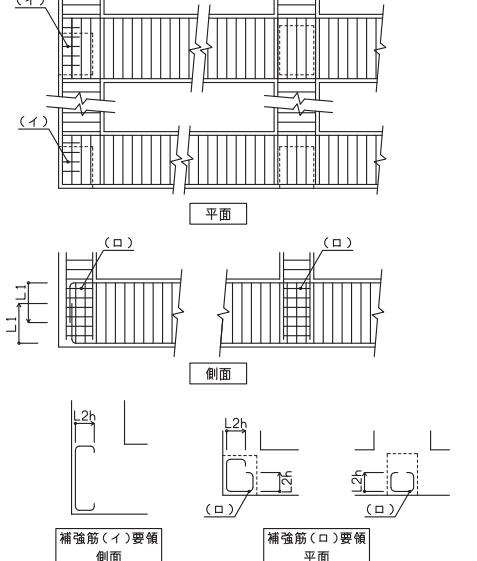
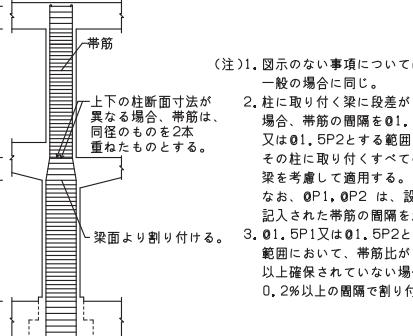
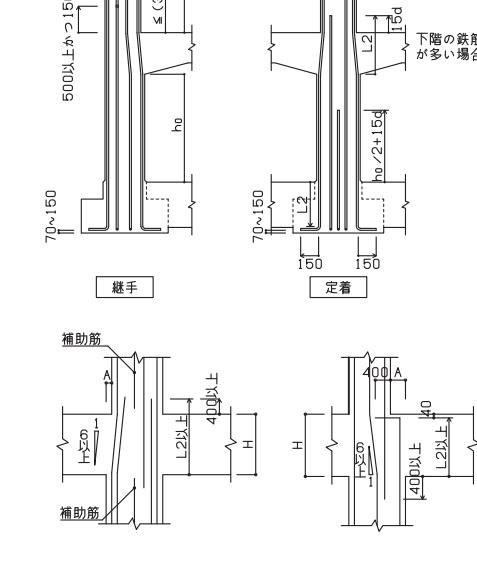
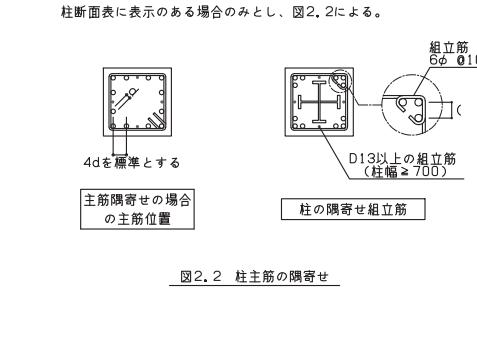
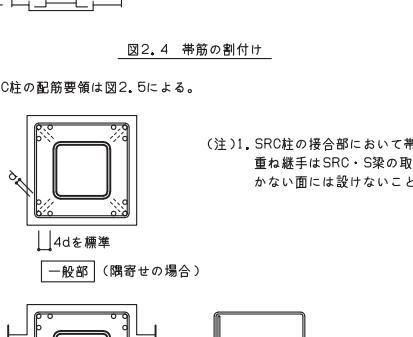
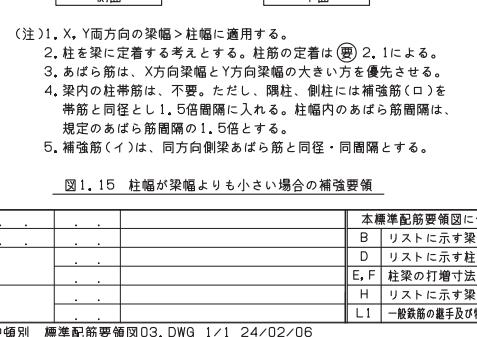
大梁断面表		A1:1/50 A3:1/100	注記) 記入なき限り下記による。																			
符号	G71	G72	G72A		G73		G74		CG72		CG73		CG74		CG75		CG76		CG77		CG78	
位置	全断面	全断面	端部	中央	全断面	Hb通り端	中央・他端		元端	先端												
R端																						
上 端 筋	2-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	3-D22	5-D22	3-D22	5-D22	3-D22	5-D22	3-D22									
下 端 筋	2-D22	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	3-D22																
あばら筋	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200									
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10									
備考														片持梁とする。								
位置	全断面	全断面	端部	中央	全断面	Hb通り端	中央・他端		元端	先端												
2端																						
上 端 筋	2-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	3-D22	5-D22	3-D22	5-D22	3-D22	5-D22	3-D22									
下 端 筋	2-D22	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	3-D22																
あばら筋	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200									
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10									
備考														片持梁とする。								
位置	17,20通り端	他端・中央	端部	中央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	Hb通り端	他端・中央								元端	先端	
R端																						
上 端 筋	3-D22	5-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	5-D22	3-D22	5-D22	3-D22									
下 端 筋	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22									
あばら筋	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0100	□-D10 0200													
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10									
備考														片持梁とする。								
位置	17,20通り端	他端・中央	端部	中央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	Hb通り端	他端・中央								元端	先端	
2端																						
上 端 筋	3-D22	5-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	5-D22	3-D22	5-D22	3-D22									
下 端 筋	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22									
あばら筋	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D10 0100	□-D10 0200													
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10									
備考														片持梁とする。								
小梁断面表		A1:1/50 A3:1/100	注記) 記入なき限り下記による。																			
符号	B71	B72	B72A		B81	B82	B83	B84	CB83		FB81											
位置	全断面	全断面	全断面		全断面	Hb通り端・中央	他端	全断面	元端	先端												
断面																						
上 端 筋	2-D19	4-D19	3-D22		5-D22	3-D22	2-D19	5-D22	3-D22	3-D22	2-D19	5-D22	3-D22									
下 端 筋	2-D19	4-D19	3-D22		3-D22	3-D22	2-D19	3-D22	3-D22	3-D22	2-D19	3-D22	3-D22									
あばら筋	□-D10 0200	□-D10 0200	□-D13 0200		□-D10 0200		□-D10 0200															
腹 筋	-	-	-		2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10											
備考																						

床スラブ断面表			注記) 記入なき限り下記による。				壁配筋表			注記) 記入なき限り下記による。					
符 号	厚 さ	位 置	短 边 方 向 配 筋 (主筋)		長 边 方 向 配 筋 (配筋)		備 考	符 号	壁 配 筋			開 口 捕 强 筋		備 考	
			端 部		中 央				厚 さ	た て 筋	よ こ 筋	開 口 長 边 < 1000	開 口 長 边 > 1000		
S15	150	上端筋	D10, D13 Ø200		D10, D13 Ø200	D10 Ø200	D10 Ø200	W12	120	D10 Ø200 シングル	D10 Ø200 シングル	2-D13	-	2-D13	-
		下端筋	D10, D13 Ø200	D10, D13 Ø200	D10 Ø200	D10 Ø200			160	D10 Ø200 ダブルチドリ	D10 Ø200 ダブルチドリ	2-D13	-	2-D13	-
S15A	150	上端筋	D10, D13 Ø200	D10, D13 Ø200	D10, D13 Ø200	D10, D13 Ø200		W16	180	D10 Ø200 ダブル	D10 Ø200 ダブル	2-D13	-	2-D13	-
		下端筋	D10, D13 Ø200	D10, D13 Ø200	D10, D13 Ø200	D10, D13 Ø200			200	D10, D13 Ø200 ダブル	D10, D13 Ø200 ダブル	2-D13	-	2-D13	-
S15B	150	上端筋	D13 Ø200	D13 Ø200	D10, D13 Ø200	D10, D13 Ø200		W25	250	D13 Ø200 ダブル	D10 Ø100 ダブル	2-D13	-	2-D13	-
		下端筋	D13 Ø200	D13 Ø200	D10, D13 Ø200	D10, D13 Ø200			250	D13 Ø100 ダブル	D10 Ø100 ダブル	2-D13	-	2-D13	-
S15C	150	上端筋	D13 Ø200	D13 Ø200	D13 Ø200	D13 Ø200		W25A	250	D13 Ø100 ダブル	D10 Ø100 ダブル	2-D13	-	2-D13	-
		下端筋	D13 Ø200	D13 Ø200	D13 Ø200	D13 Ø200			250	D13 Ø100 ダブル	D10 Ø100 ダブル	2-D13	-	2-D13	-
S15D	150	上端筋	D10, D13 Ø100	D13 Ø200	D10, D13 Ø200	D10, D13 Ø200		EW18	180	D10, D13 Ø200 ダブル	D10, D13 Ø200 ダブル	2-D13	-	2-D13	-
		下端筋	D13 Ø200	D10, D13 Ø100	D10, D13 Ø200	D10, D13 Ø200			250	D13, D16 Ø100 ダブル	D10, D13 Ø200 ダブル	2-D13	-	2-D13	-
S15E	150	上端筋	D10, D13 Ø100	D13 Ø200	D10, D13 Ø100	D13 Ø200		W25B	250	D16 Ø200 ダブル	D16 Ø200 ダブル	-	-	-	-
		下端筋	D13 Ø200	D10, D13 Ø100	D10, D13 Ø100	D10, D13 Ø100			250	D16 Ø100 ダブル	D16 Ø100 ダブル	-	-	-	-
S18	180	上端筋	D13 Ø200	D13 Ø200	D10, D13 Ø200	D10, D13 Ø200		W25C	250	D10 Ø100 ダブル	D10 Ø100 ダブル	-	-	-	-
		下端筋	D13 Ø200	D13 Ø200	D10, D13 Ø200	D10, D13 Ø200			250	D13 Ø100 ダブル	D13 Ø100 ダブル	4-D13	-	4-D13	-
S18A	180	上端筋	D13 Ø200	D13 Ø200	D13 Ø200	D13 Ø200		W25D	250	D16 Ø100 ダブル	D16 Ø100 ダブル	-	-	-	-
		下端筋	D13 Ø200	D13 Ø200	D13 Ø200	D13 Ø200			250	D16 Ø200 ダブル	D16 Ø200 ダブル	-	-	-	-
S18B	180	上端筋	D10, D13 Ø100	D13 Ø200	D10, D13 Ø200	D10, D13 Ø200		W25柱	250	D16 Ø200 ダブル	D16 Ø200 ダブル	-	-	-	-
		下端筋	D13 Ø200	D10, D13 Ø100	D10, D13 Ø100	D10, D13 Ø100			250	D16 Ø200 ダブル	D16 Ø200 ダブル	-	-	-	-
S18C	180	上端筋	D10, D13 Ø100	D13 Ø200	D10, D13 Ø100	D13 Ø200		片持ちスラブ配筋表			注記) 記入なき限り下記による。				
		下端筋	D13 Ø200	D10, D13 Ø100	D10, D13 Ø100	D10, D13 Ø100		250	D16 Ø100 ダブル	D16 Ø100 ダブル	-	-	-	-	
S18D	180	上端筋	D13 Ø100	D10, D13 Ø100	D10, D13 Ø200	D10, D13 Ø200		片持ちスラブ配筋表			注記) 記入なき限り下記による。				
		下端筋	D10, D13 Ø100	D13 Ø100	D10, D13 Ø100	D10, D13 Ø100		250	D16 Ø200 ダブル	D16 Ø200 ダブル	-	-	-	-	
S18E	180	上端筋	D10, D13 Ø100	D13 Ø100	D10, D13 Ø100	D13 Ø100		片持ちスラブ配筋表			注記) 記入なき限り下記による。				
		下端筋	D13 Ø100	D10, D13 Ø100	D10, D13 Ø100	D10, D13 Ø100		250	D16 Ø100 ダブル	D16 Ø100 ダブル	-	-	-	-	
S25	250	上端筋	D13, D16 Ø200	D13, D16 Ø200	D13 Ø200	D13 Ø200		片持ちスラブ配筋表			注記) 記入なき限り下記による。				
		下端筋	D13, D16 Ø200	D13, D16 Ø200	D13 Ø200	D13 Ø200		250	D16 Ø200 ダブル	D16 Ø200 ダブル	-	-	-	-	
S25A	250	上端筋	D13, D16 Ø200	D13, D16 Ø200	D13 Ø200	D13 Ø200		片持ちスラブ配筋表			注記) 記入なき限り下記による。				
		下端筋	D13, D16 Ø200	D13, D16 Ø200	D13 Ø200	D13 Ø200		250	D16 Ø200 ダブル	D16 Ø200 ダブル	-	-	-	-	
S25B	250	上端筋	D16 Ø200	D16 Ø200	D13, D16 Ø200	D13, D16 Ø200		片持ちスラブ配筋表			注記) 記入なき限り下記による。				
		下端筋	D16 Ø200	D16 Ø200	D13, D16 Ø200	D13, D16 Ø200		250	D16 Ø200 ダブル	D16 Ø200 ダブル	-	-	-	-	
S25C	250	上端筋	D16 Ø200	D16 Ø200	D16 Ø200	D16 Ø200		片持ちスラブ配筋表			注記) 記入なき限り下記による。				
		下端筋	D16 Ø200	D16 Ø200	D16 Ø200	D16 Ø200		250	D16 Ø200 ダブル	D16 Ø200 ダブル	-	-	-	-	
S25D	250	上端筋	D13, D16 Ø100	D16 Ø200	D13, D16 Ø200	D13, D16 Ø200		片持ちスラブ配筋表			注記) 記入なき限り下記による。				
		下端筋	D16 Ø200	D13, D16 Ø100	D16 Ø200	D16 Ø200		250	D16 Ø200 ダブル	D16 Ø200 ダブル	-	-	-	-	
S25E	250	上端筋	D13, D16 Ø100	D16 Ø200	D16 Ø200	D16 Ø200		片持ちスラブ配筋表			注記) 記入なき限り下記による。				
		下端筋	D16 Ø200	D13, D16 Ø100	D16 Ø200	D16 Ø200		250	D16 Ø200 ダブル	D16 Ø200 ダブル	-	-	-	-	
S25F	250	上端筋	D16 Ø100	D16 Ø100	D16 Ø200	D16 Ø200		片持ちスラブ配筋表			注記) 記入なき限り下記による。				
		下端筋	D16 Ø100	D16 Ø100	D16 Ø200	D16 Ø200		250	D16 Ø200 ダブル	D16 Ø200 ダブル	-	-	-	-	
S25G	250	上端筋	D16 Ø100	D16 Ø100	D16 Ø200	D16 Ø200		片持ちスラブ配筋表							

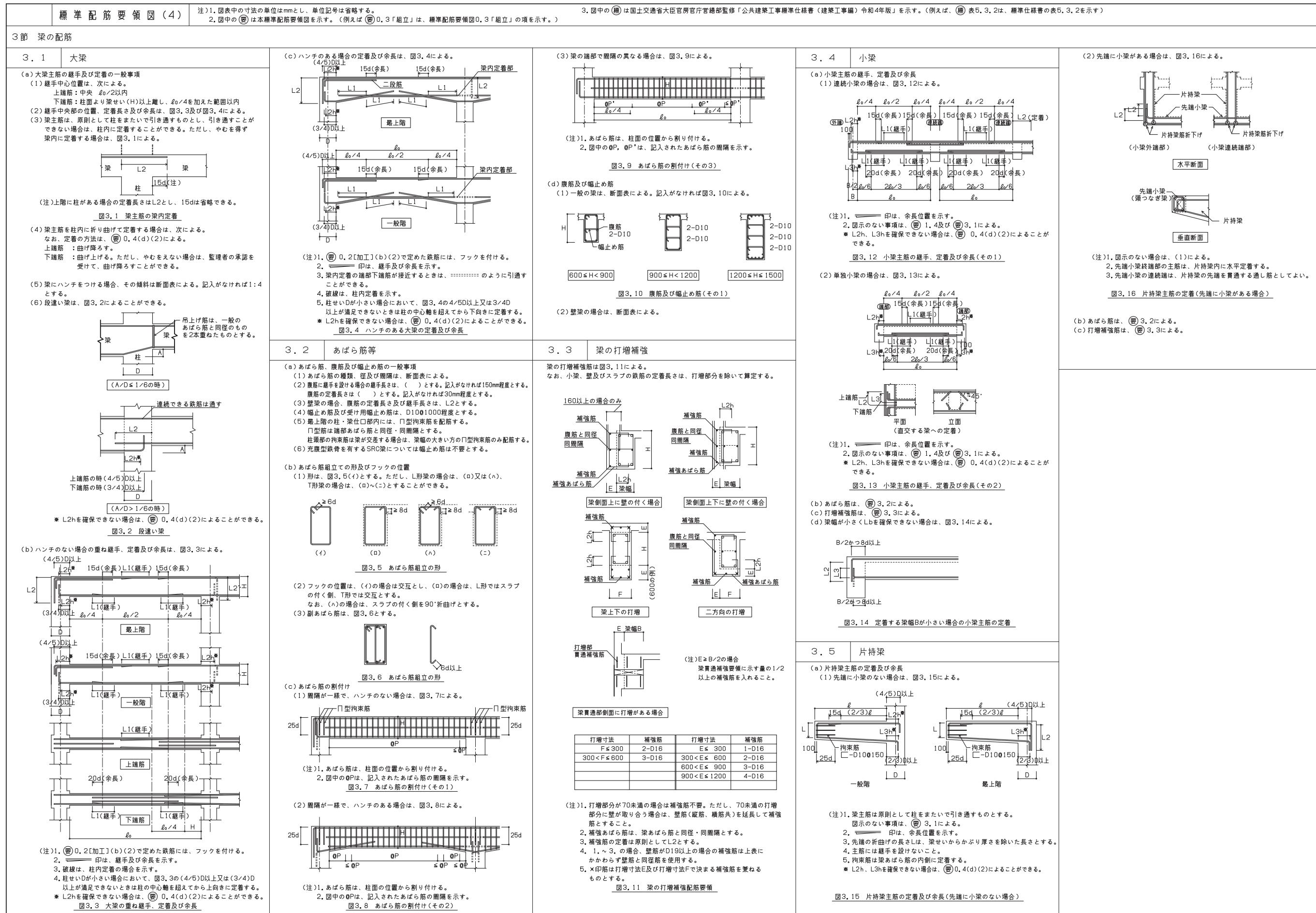
標準配筋要領図(1)		注)1. 図表中の寸法の単位はmmとし、単位記号は省略する。 2. 図中の()は本標準配筋要領図を示す。(例えば()0.3「組立」は、標準配筋要領図0.3「組立」の項を示す。)																																																					
0節 鉄筋の加工および組立																																																							
0. 1 一般事項		<p>・組立に関する注意事項 1)コンクリート打込み後の差し筋は行わない。 2)鉄筋の台直しは原則として行わない。やむを得ず台直しを行う場合は、鉄筋周囲のコンクリートをはつり取り、勾配が1/6以下ができるだけ長い距離で修正する。 3)溶接構造の上に直接設置する仮設物には、防錆処置を施すと共に、当該仮設物の下には止水処理を施す。</p>																																																					
0. 2 加工		<p>(a) 鉄筋の切断は、シャーカッター又はのこぎによって行う。 ただし、現場でやむを得ない場合は、ガス切断することができます。 (b) 異形鉄筋の末端部には、次の場合にフックを付ける。(下図参照) (1)柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合。 (2)梁主筋の重ね継手が、梁の出端及び下端の両端にある場合。 ただし、基礎部を除く。 (3)建物の鉄筋(壁の一部となる場合を含む。) (4)杭基礎のベース筋。 (5)帯筋、あら筋及び幅止め筋。 (6)その他の要領図に示す個所。</p>																																																					
		<p>(1)の説明図 (2)の説明図 (注)印筋はフック付鉄筋とする。 </p>																																																					
(c) 鉄筋の折曲げ内法直径及びその使用個所は、表0.1による。 表0.1 鉄筋の折曲げ形状及び寸法 ()表5.3.1)		<p>表0.1 鉄筋の折曲げ内法直径(D) 折曲げ内法直径(D) 鉄筋の種類 SD295, SD345, SD390 呼び名 D16以下 D19~D38 D19~D38</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>折曲げ角度</th> <th>折曲げ図</th> <th>折曲げ内法直径(D)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>180°</td> <td></td> <td>4d以上</td> </tr> <tr> <td>135°</td> <td></td> <td>6d以上</td> </tr> <tr> <td>90°</td> <td></td> <td>8d以上</td> </tr> <tr> <td>135°及び90°(幅止め筋)</td> <td></td> <td>5d以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 主筋とは、柱、梁の主筋を示す。 2. L1, L1h: 重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ 3. フックありの場合のL1hは、図0.2に示すようにフック部分ℓを含まない。 4. 軽量コンクリートの場合は、SD490以外の鉄筋を対象として、表の値に5dを加えた継手の長さとする。 なお、鉄筋の下に30mm以上の軽量コンクリートを打ち込む部材の上端部の重ね継手はフック付きとする。</p>		折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径(D)	180°		4d以上	135°		6d以上	90°		8d以上	135°及び90°(幅止め筋)		5d以上																																					
折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径(D)																																																					
180°		4d以上																																																					
135°		6d以上																																																					
90°		8d以上																																																					
135°及び90°(幅止め筋)		5d以上																																																					
		<p>表0.2 フックありの場合の重ね継手の長さ ()表5.3.1)</p>																																																					
(注)1. 片持スラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。 2. SD390を用いる場合、90°以下の折曲げの内法直径は()内を適用する。		<p>表0.3 組立</p> <p>(a) 鉄筋の組立は、鉄筋継手部分及び交差部の要所を径0.8mm以上の鉄線で結束し、適切な位置にバーサポート・スペーサー・吊金具等を使用して行う。 なお、バーサポート・スペーサーは、転倒及び作業荷重等に耐えられるものとする。 材質は設計図により、コンクリートに有害な影響を与えないものとする。 表0.2 バーサポート・スペーサーの標準配筋要領</p>																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>スラブ</th> <th>梁・基礎梁</th> <th>柱</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類</td> <td>鋼製</td> <td>鋼製・コンクリート製</td> <td>鋼製・コンクリート製</td> </tr> <tr> <td>配置</td> <td>上端筋の下側及び下端筋の下側の全数を支え のように120以内 端部は150以内</td> <td>隔離は1500程度 中間の間隔は150以内 柱端D≤1000 2倍以上 柱幅D>1000 3倍以上</td> <td>上端は第一段目の帶筋の位置 柱端は150以内</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考</p> <p>連続バーサポート 上又は下と側面に設置</p> <p>部位 基礎・基礎スラブ 厚さ300以上の床スラブ 種類 鋼製・コンクリート製 配置 上端筋、下端筋それぞれに1.5倍/m²以内。 スラブ厚300以上は上下下端筋 (スラブ筋と同様、D16以上の時はD16) を1ヶ所/m²にされる。</p> <p>備考 上下筋を連結筋で結束している場合は上端筋のサポート不要</p> <p>注記 1. バーサポート・スペーサーは打込まれるコンクリートと同等以上の剛性、強度、耐久性を有すること。 2. 柱、基礎梁の各側面及び壁、地下外壁のスペーサーはプラスチック製でも可。 3. 鋼製のバーサポート・スペーサーはかぶり厚範囲に防錆処理を施したものとする。 4. 上記数量・間隔は表0.7のかぶりを確保するための標準を示すものである。</p>		部位	スラブ	梁・基礎梁	柱	種類	鋼製	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製	配置	上端筋の下側及び下端筋の下側の全数を支え のように120以内 端部は150以内	隔離は1500程度 中間の間隔は150以内 柱端D≤1000 2倍以上 柱幅D>1000 3倍以上	上端は第一段目の帶筋の位置 柱端は150以内	<p>本標準配筋要領図に使用される記号</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>B</th> <th>リストに示す梁幅</th> <th>L2</th> <th>一般鉄筋の定着長さ</th> <th>W</th> <th>履板・床スラブの裏口(長辺方向)の大きさ</th> <th>ℓ</th> <th>梁のスパン、片持スラブのスパン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D</td> <td>リストに示す柱幅・柱せい</td> <td>L3</td> <td>小梁、スラブの下端筋の定着長さ</td> <td>d</td> <td>鉄筋の呼び名に用いた数値</td> <td>ℓ0</td> <td>梁の内法スパン</td> </tr> <tr> <td>E,F</td> <td>柱梁の打増寸法</td> <td>L1h,L3h</td> <td>フックあり定着の長さ</td> <td>h</td> <td>階高</td> <td>Ex,Ey</td> <td>長方形スラブの短辺有効スパン</td> </tr> <tr> <td>H</td> <td>リストに示す梁せい</td> <td>L2h,L3h</td> <td>フックあり定着の長さ</td> <td>ho</td> <td>柱の内法高さ</td> <td>t</td> <td>リストに示すスラブ又は壁厚さ</td> </tr> <tr> <td>L1</td> <td>一般鉄筋の継手及び特殊な場合の定着の長さ</td> <td>P</td> <td>壁開口(円孔)の大きさ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		B	リストに示す梁幅	L2	一般鉄筋の定着長さ	W	履板・床スラブの裏口(長辺方向)の大きさ	ℓ	梁のスパン、片持スラブのスパン	D	リストに示す柱幅・柱せい	L3	小梁、スラブの下端筋の定着長さ	d	鉄筋の呼び名に用いた数値	ℓ0	梁の内法スパン	E,F	柱梁の打増寸法	L1h,L3h	フックあり定着の長さ	h	階高	Ex,Ey	長方形スラブの短辺有効スパン	H	リストに示す梁せい	L2h,L3h	フックあり定着の長さ	ho	柱の内法高さ	t	リストに示すスラブ又は壁厚さ	L1	一般鉄筋の継手及び特殊な場合の定着の長さ	P	壁開口(円孔)の大きさ				
部位	スラブ	梁・基礎梁	柱																																																				
種類	鋼製	鋼製・コンクリート製	鋼製・コンクリート製																																																				
配置	上端筋の下側及び下端筋の下側の全数を支え のように120以内 端部は150以内	隔離は1500程度 中間の間隔は150以内 柱端D≤1000 2倍以上 柱幅D>1000 3倍以上	上端は第一段目の帶筋の位置 柱端は150以内																																																				
B	リストに示す梁幅	L2	一般鉄筋の定着長さ	W	履板・床スラブの裏口(長辺方向)の大きさ	ℓ	梁のスパン、片持スラブのスパン																																																
D	リストに示す柱幅・柱せい	L3	小梁、スラブの下端筋の定着長さ	d	鉄筋の呼び名に用いた数値	ℓ0	梁の内法スパン																																																
E,F	柱梁の打増寸法	L1h,L3h	フックあり定着の長さ	h	階高	Ex,Ey	長方形スラブの短辺有効スパン																																																
H	リストに示す梁せい	L2h,L3h	フックあり定着の長さ	ho	柱の内法高さ	t	リストに示すスラブ又は壁厚さ																																																
L1	一般鉄筋の継手及び特殊な場合の定着の長さ	P	壁開口(円孔)の大きさ																																																				
0. 4 継手及び定着		<p>(d) 鉄筋の定着は、次による。</p> <p>(1) 鉄筋の定着の長さは、表0.5による。</p> <p>表0.5 鉄筋の定着の長さ ()表5.3.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">鉄筋の種類</th> <th rowspan="2">コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)</th> <th colspan="3">直線定着の長さ</th> <th colspan="3">フックありの定着の長さ</th> </tr> <tr> <th>L1</th> <th>L2</th> <th>L3 小梁 スラブ</th> <th>L1h</th> <th>L2h</th> <th>L3h 小梁 スラブ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SD295</td> <td>18 45d 40d 21 40d 35d 24, 27 35d 30d 30, 33, 36 35d 30d</td> <td>35d 30d 30d 25d 25d 20d 25d 20d</td> <td>—</td> <td>10d かつ 20d <25d></td> <td>35d 30d 30d 25d 25d 20d 35d 30d</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>SD345</td> <td>18 50d 40d 21 45d 35d 24, 27 40d 35d 30, 33, 36 35d 30d</td> <td>—</td> <td>10d かつ 20d <25d></td> <td>150mm 以上</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>SD390</td> <td>21 50d 40d 24, 27 45d 40d 30, 33, 36 40d 35d</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>25d 20d <25d></td> <td>35d 30d</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>SD490</td> <td>24, 27 55d 45d 30, 33, 36 50d 40d</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>40d 35d 35d 30d</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. La: 梁主筋の柱内曲げ定着の投影定着長さ (基礎梁、片持梁及び片持スラブを含む。) 2. Lb: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折げ定着の投影定着長さ (片持小梁及び片持スラブを除く。) 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。 4. ()内に記入なき場合は、()の値による。 (e) その他の鉄筋の継手及び定着は、次による。</p> <p>(1) 溶接金網の継手及び定着は、図0.5による。なお、L1は表0.3に、L2及びL3は表0.5の(注)による。</p>		鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	直線定着の長さ			フックありの定着の長さ			L1	L2	L3 小梁 スラブ	L1h	L2h	L3h 小梁 スラブ	SD295	18 45d 40d 21 40d 35d 24, 27 35d 30d 30, 33, 36 35d 30d	35d 30d 30d 25d 25d 20d 25d 20d	—	10d かつ 20d <25d>	35d 30d 30d 25d 25d 20d 35d 30d	—	SD345	18 50d 40d 21 45d 35d 24, 27 40d 35d 30, 33, 36 35d 30d	—	10d かつ 20d <25d>	150mm 以上	—	—	SD390	21 50d 40d 24, 27 45d 40d 30, 33, 36 40d 35d	—	—	25d 20d <25d>	35d 30d	—	SD490	24, 27 55d 45d 30, 33, 36 50d 40d	—	—	—	40d 35d 35d 30d	—										
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²)	直線定着の長さ				フックありの定着の長さ																																																	
		L1	L2	L3 小梁 スラブ	L1h	L2h	L3h 小梁 スラブ																																																
SD295	18 45d 40d 21 40d 35d 24, 27 35d 30d 30, 33, 36 35d 30d	35d 30d 30d 25d 25d 20d 25d 20d	—	10d かつ 20d <25d>	35d 30d 30d 25d 25d 20d 35d 30d	—																																																	
SD345	18 50d 40d 21 45d 35d 24, 27 40d 35d 30, 33, 36 35d 30d	—	10d かつ 20d <25d>	150mm 以上	—	—																																																	
SD390	21 50d 40d 24, 27 45d 40d 30, 33, 36 40d 35d	—	—	25d 20d <25d>	35d 30d	—																																																	
SD490	24, 27 55d 45d 30, 33, 36 50d 40d	—	—	—	40d 35d 35d 30d	—																																																	
		<p>図0.6 スパイラル筋の継手及び定着 ()表5.3.5)</p>																																																					
0. 5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔		<p>(a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ及び設計用かぶり厚さは、表0.7による。 ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上として最小かぶり厚さを定め、設計用かぶり厚さは最小かぶり厚さに10mm加えた値とする。</p>																																																					
		<p>表0.7 鉄筋の最小かぶり厚さ及び設計用かぶり厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造部分の種別</th> <th colspan="2">最小かぶり厚さ</th> <th rowspan="2">設計用かぶり厚さ</th> </tr> <tr> <th>スラブ</th> <th>柱</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土に接しない部分</td> <td>仕上げあり 20 25 仕上げなし 30 35</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>柱</td> <td>屋内 仕上げあり 30 40 仕上げなし 30 40</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>梁</td> <td>屋外 仕上げあり 30 40 仕上げなし 40 50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁</td> <td>構壁、耐压スラブ 40 50 柱、梁、スラブ、壁 *40 50(45)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土に接する部分</td> <td>壁、構壁、耐压スラブ *60 70</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>柱</td> <td>柱最外側鉄筋面 40(10)=50*</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>梁</td> <td>梁最外側鉄筋面 40(10)=50*</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁</td> <td>壁最外側鉄筋面 40(10)=50*</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床スラブ</td> <td>床スラブ最外側鉄筋面 40(10)=50*</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 上のうち、()内はスラブの場合とする。 2. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、10mmを加えた数値とし、打増により確保する。 3. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ(仕上塗装、吹付け又は塗装等)のものを除く。 4. スラブ、梁、基礎及び構壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。 5. 桁基礎の場合はかぶり厚さは、杭上端からとする。 6. 塗装を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記仕様書による。 7. ひび割れ誘発目地等については最小かぶり厚さを満足させる。 8. スラブ直上仕上げの場合は図0.7による。</p>		構造部分の種別	最小かぶり厚さ		設計用かぶり厚さ	スラブ	柱	土に接しない部分	仕上げあり 20 25 仕上げなし 30 35			柱	屋内 仕上げあり 30 40 仕上げなし 30 40			梁	屋外 仕上げあり 30 40 仕上げなし 40 50			壁	構壁、耐压スラブ 40 50 柱、梁、スラブ、壁 *40 50(45)			土に接する部分	壁、構壁、耐压スラブ *60 70			柱	柱最外側鉄筋面 40(10)=50*			梁	梁最外側鉄筋面 40(10)=50*			壁	壁最外側鉄筋面 40(10)=50*			床スラブ	床スラブ最外側鉄筋面 40(10)=50*												
構造部分の種別	最小かぶり厚さ		設計用かぶり厚さ																																																				
	スラブ	柱																																																					
土に接しない部分	仕上げあり 20 25 仕上げなし 30 35																																																						
柱	屋内 仕上げあり 30 40 仕上げなし 30 40																																																						
梁	屋外 仕上げあり 30 40 仕上げなし 40 50																																																						
壁	構壁、耐压スラブ 40 50 柱、梁、スラブ、壁 *40 50(45)																																																						
土に接する部分	壁、構壁、耐压スラブ *60 70																																																						
柱	柱最外側鉄筋面 40(10)=50*																																																						
梁	梁最外側鉄筋面 40(10)=50*																																																						
壁	壁最外側鉄筋面 40(10)=50*																																																						
床スラブ	床スラブ最外側鉄筋面 40(10)=50*																																																						
0. 6 鉄筋の保護		<p>(a) 鉄筋の組立後、スラブ、梁等には、歩み板を置き渡し、直接鉄筋の上を歩かないようにする。 (b) コンクリート打込みによる鉄筋の乱れは、なるべく少なくする。特に、かぶり厚さ、上端筋の位置及び間隔の保持に努める。</p>																																																					
0. 7 鉄筋の加工		<p>(a) 鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、設計用かぶり厚さによる。 (c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。</p>																																																					
0. 8 鉄筋の最小間隔		<p>(d) 鉄筋相互のあきは、図0.8により、次の値のうち最大のもの以上とする。 ただし、特殊な鉄筋組合せの場合のあきは、設計図による。(図0.8参照) (1) 直骨材の最大寸法の1.25倍。 (2) 25mm (3) 隣り合う鉄筋の平均径の1.5倍。</p>																																																					
		<p>図0.8 鉄筋の最小間隔</p>																																																					
0. 9 標準的な設計用かぶり厚さ																																																							
0. 10 鉄筋の保護		<p>(a) 鉄筋の組立後、スラブ、梁等には、歩み板を置き渡し、直接鉄筋の上を歩かないようにする。 (b) コンクリート打込みによる鉄筋の乱れは、なるべく少なくする。特に、かぶり厚さ、上端筋の位置及び間隔の保持に努める。</p>																																																					
0. 11 鉄筋の加工		<p>(a) 鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、設計用かぶり厚さによる。 (c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。</p>																																																					
0. 12 鉄筋の組立		<p>(a) 鉄筋の組立は、溶接金網の継手及び定着は、図0.5による。</p>																																																					
0. 13 鉄筋の加工		<p>(a) 鉄筋の加工は、溶接金網の継手及び定着は、図0.5による。</p>																																																					
0. 14 鉄筋の組立		<p>(a) 鉄筋の組立は、溶接金網の継手及び定着は、図0.5による。</p>																																																					
0. 15 鉄筋の加工		<p>(a) 鉄筋の加工は、溶接金網の継手及び定着は、図0.5による。</p>																																																					
0. 16 鉄筋の組立		<p>(a) 鉄筋の組立は、溶接金網の継手及び定着は、図0.5による。</p>																																																					
0. 17 鉄筋の加工		<p>(a) 鉄筋の加工は、溶接金網の継手及び定着は、図0.5による。</p>																																																					
0. 18 鉄筋の組立		<p>(a) 鉄筋の組立は、溶接金網の継手及び定着は、図0.5による。</p>																																																					
0. 19 鉄筋の加工		<p>(a) 鉄筋の加工は、溶接金網の継手及び定着は、図0.5による。</p>																																																					
0. 20 鉄筋の組立		<p>(a) 鉄筋の組立は、溶接金網の継手及び定着は、図0.5による。</p>																																																					
0. 21 鉄筋の加工		<p>(a) 鉄筋の加工は、溶接金網の継手及び定着は、図0.5による。</p>																																																					
0. 22 鉄筋の組立		<p>(a) 鉄筋の組立は、溶接金網の継手及び定着は、図0.5による。</p>																																																					
0. 23 鉄筋の加工		<p>(a) 鉄筋の加工は、溶接金網の継手及び定着は、図0.5による。</p>																																																					
0. 24 鉄筋の組立		<p>(a) 鉄筋の組立は、溶接金網の継手及び定着は、図0.5による。</p>																																																					
0. 25 鉄筋の加工																																																							



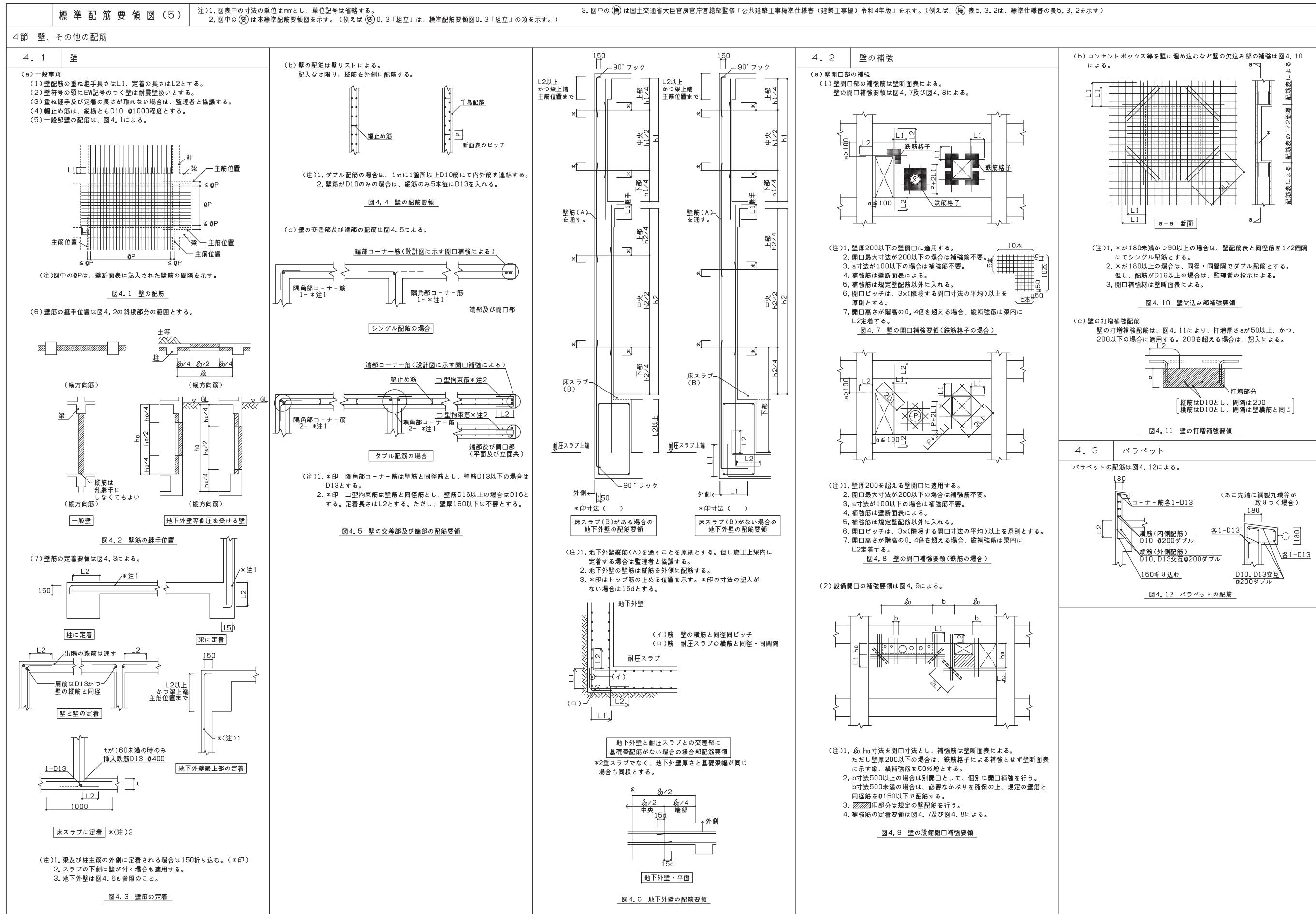
着工	竣工	監理	施工	本標準配筋要領図に使用される記号	代表となる設計者	日建設計	(仮称)人生100年の学びの拠点	(構)
				B リストに示す梁幅 D リストに示す柱幅・柱せい E,F 柱の打増寸法 H リストに示す梁せい L1 一般鉄筋の継手及び特殊な定着の定着の大きさ	勝矢 武之 一級建築士 久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認) 宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士 若松 宏輔 中村 優人 大和 錠子		中頃別学園整備工事	(通し番号 ***)
				L2 一般鉄筋の定着長さ L3 小柱、スラブの下端筋の定着長さ L1h 並列りより継手及び定着の長さ L2h,L3h フックあり定着の長さ P 壁開口(円孔)の大きさ	W 壁幅・床スラブの裏口(長辺方向)の大きさ d 鉄筋の呼び名に用いた数値 ho 柱の内法高さ t リストに示すスラブ又は壁厚さ		2024. 8.30	株式会社宇田川 貴章
					l 製筋のスパン、片持スラブのスパン dx,dy 長方形スラブの短辺又は有効スパン		標準配筋要領図 (2)	No. J - 221730 - C
								23. 07. 01 RC・PC研究会 作成

標準配筋要領図(3)		注)1. 図表中の寸法の単位はmmとし、単位記号は省略する。 2. 図中の(●)は国土交通省大臣官房官庁常務監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」を示す。(例えば(●)表5.3.2は、標準仕様書の表5.3.2を示す。)					
1節 杣・基礎及び基礎梁の配筋		2節 柱の配筋					
1. 5	基礎梁のあら筋等	2. 1	柱	2. 2	帯筋	2. 3	柱の打増補強
(a) あら筋 (1) あら筋の径及び間隔は、断面表による。 (2) あら筋組立の形及びフックの位置は、(●)3.2による。ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合図1.13によることができる。	柱主筋の継手及び定着は次による。 (1) 継手及び圧接中心位置は、梁上端から500mm以上、1500mm以下、かつ(3/4)h0(h0は柱の内法高さ)以下とする。 (2) 重ね継手長さはL1とし、定着及び余長は図2.1による。なお、柱頭定着長さはL2以上かつ柱頭かぶり厚までとする。柱頭定着長さL2が確保できない場合は柱内に折り曲げL2を確保する。	柱の打増強筋は、図2.6による。 なお、梁、壁及びスラブの鉄筋の定着長さは、打増部分を除いて算定する。					
(b) 腹筋及び幅止め筋は、(●)3.2(a)(2)から(4)及び(●)3.2(d)による。 (c) あら筋の割付けは、(●)3.2(c)による。	 	(a) 帯筋の種類及び間隔は、断面表による。 (b) 帯筋組立の形は図2.3により、適用は設計図による。記入なければ、次による。 (1) H形とする。 (2) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。 (3) 溶接する場合の溶接長さは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合10d以上とする。 (4) 帯筋のフック及び電気抵抗溶接の継手の位置は上下同一箇所に集中しないこと。 (5) 135°フックの余長は6d以上とする。フックは先曲げとする。					
1. 6 基礎梁の補強		(注)1. この項で扱う基礎梁の水平ハンチとは基礎梁断面表に特記がなく伏図のみに示される水平ハンチをいう。 2. 水平ハンチ部の腹筋及び補強あら筋はX-Y方向基礎梁の規定鉄筋の大きい方と同様・同間隔とする。 3. L1が200以下の場合は補強筋不要。	(注)1. 打増部分が70未満の場合は補強筋不要。ただし、70未満の打増部分に壁が取り合う場合は図2.7によるものとし、 壁筋(縦筋、横筋共)を延長して補強筋とすること。 2. 補強筋は、柱筋筋と同径・同間隔とする。 3. 補強筋の定着は原則としてL2とする。 4. 1.~3.の場合、壁筋がD19以上の場合は補強筋は上表にかかわらず壁筋と同間隔を使用する。 5. ×印筋は打増寸法E及び打増寸法Fで決まる補強筋を兼ねるものとする。				
(a) 打増し補強筋は、(●)3.3による。 (b) 土層スラブ等の打継ぎ補強筋は、(●)5.3(c)による。 (c) 基礎梁水平ハンチ部の補強要領は図1.14による。 場所打コンクリート杭がある場合は図1.4による。		(注)1. 0.1.2[加工](b)(1)で定めた鉄筋には、フックをつける。 2. 墓り合う継手の位置は、(●)0.5[隣り合う継手の位置]による。 3. 継手、定着は、すべての筋に適用できる。 4. 柱主筋の継手長さは150とする。	(注)1. 図示のない事項については、一般的の場合に同じ。 2. 柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を0.1.5P1又は0.1.5P2とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。 なお、0P1、0P2は、設計図に記入された帯筋の間隔を示す。 3. 0.1.5P1又は0.1.5P2とする範囲において、帯筋比が0.2%以上確保されていない場合は、0.2%以上の間隔で割り付ける。				
(d) 柱幅が梁幅よりも小さい場合の補強要領は図1.15による。		(3) 柱主筋は原則として等間隔に配筋する。ただし、主筋の隅寄せは柱断面表に表示のある場合のみとし、図2.2による。 	(注)1. SRC柱の接合部において帯筋の重ね継手はSRC-S梁の取り付かない面には設けないこと。 				
(注)1. X、Y両方向の梁幅>柱幅に適用する。 2. 柱に定着する考え方とする。柱筋の定着は(●)2.1による。 3. あら筋は、X方向梁幅とY方向梁幅の大きい方を優先させる。 4. 梁内の柱帶筋は、不要。ただし、隅柱、側柱には補強筋(口)を帯筋と同径として1.5倍間隔に入れる。柱幅内のあら筋間隔は、規定のあら筋間隔の1.5倍とする。 5. 補強筋(イ)は、同方向側梁あら筋と同径・同間隔とする。		(注)1. X、Y両方向の梁幅>柱幅に適用する。 2. 柱に定着する考え方とする。柱筋の定着は(●)2.1による。 3. あら筋は、X方向梁幅とY方向梁幅の大きい方を優先させる。 4. 梁内の柱帶筋は、不要。ただし、隅柱、側柱には補強筋(口)を帯筋と同径として1.5倍間隔に入れる。柱幅内のあら筋間隔は、規定のあら筋間隔の1.5倍とする。 5. 補強筋(イ)は、同方向側梁あら筋と同径・同間隔とする。	(注)1. X、Y両方向の梁幅>柱幅に適用する。 2. 柱に定着する考え方とする。柱筋の定着は(●)2.1による。 3. あら筋は、X方向梁幅とY方向梁幅の大きい方を優先させる。 4. 梁内の柱帶筋は、不要。ただし、隅柱、側柱には補強筋(口)を帯筋と同径として1.5倍間隔に入れる。柱幅内のあら筋間隔は、規定のあら筋間隔の1.5倍とする。 5. 補強筋(イ)は、同方向側梁あら筋と同径・同間隔とする。				

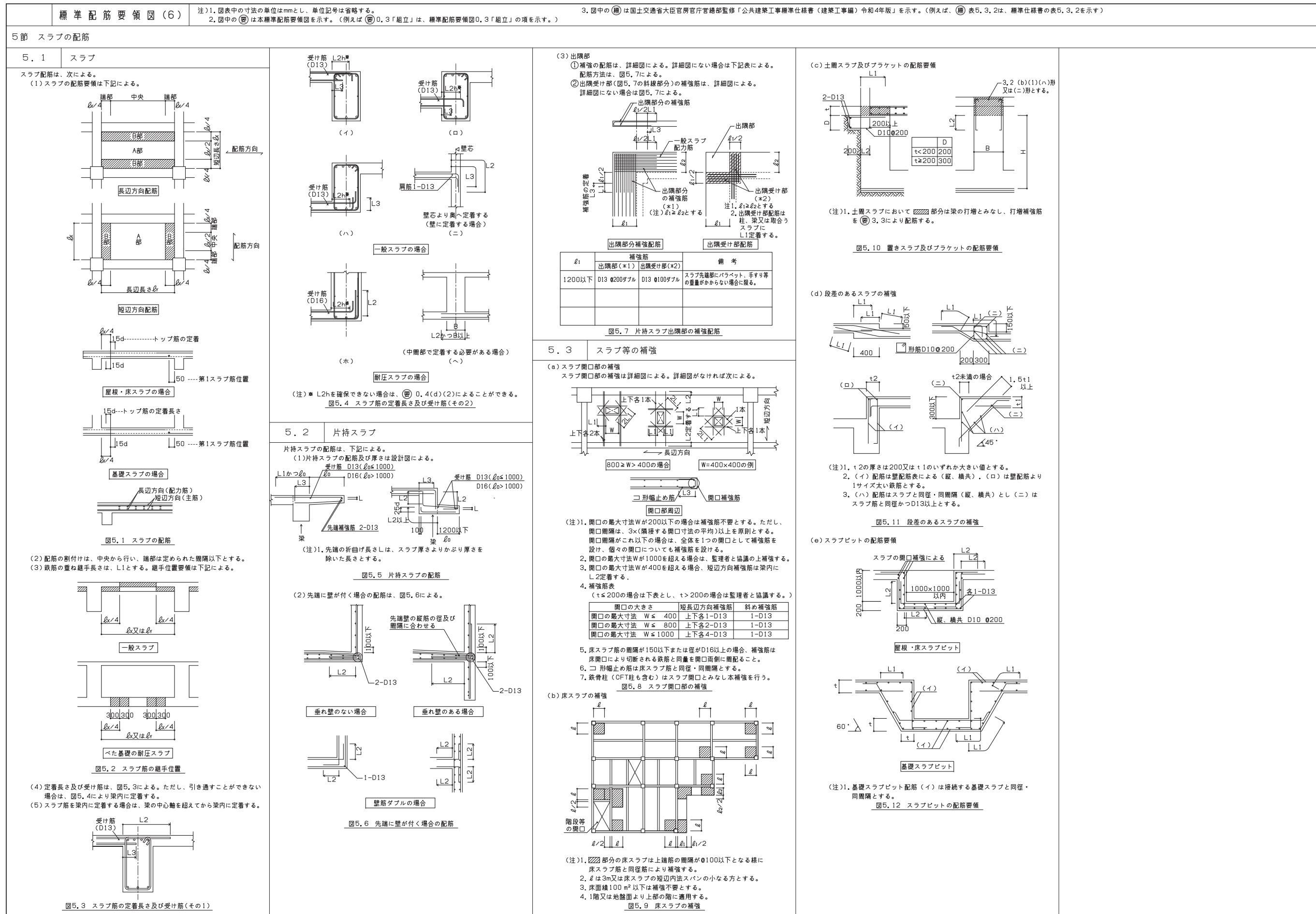
着工	施工	監理	施工	本標準配筋要領図に使用される記号	B リストに示す梁幅	L2 一般鉄筋の定着長さ	W 断面-底スラブの裏口(長辺方向)の大きさ	l 梁のスパン、片持スラブのスパン	代表となる設計者	日建設計	(仮称)人生100年の学びの拠点	(構)
竣工				D リストに示す柱幅・柱せい	L3 小束、スラブの下端筋の定着長さ	d 鉄筋の呼び名に用いた数値	l0 梁の内法スパン	久米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認)			中頃別学園整備工事	通し番号 ***
				E, F 柱梁の打増寸法	L1h フックあり継手及び定着の長さ	h 高さ	Ex, Ey 長方形スラブの短辺又は効果スパン	宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士				8 - 3
				H リストに示す梁せい	L2h, L3h フックあり定着の長さ	ho 柱の内法高さ	t リストに示すスラブ又は壁厚さ	若松 宏輔 一級建築士				
				L1 一般鉄筋の継手及び特殊な定着の長さ	P 壁開口(円孔)の大きさ			中村 優人 大和 錠子				No. J - 221730 - C



着工	.	.	本標準配筋要領図に使用される記号	代表となる設計者	勝矢 武之	一级建築士
竣工	.	.	B リストに示す梁幅	他の設計者	久次米 薫	一级建築士・構造設計一級建築士(法適合確認)
監理	.	.	D リストに示す柱幅・柱せい		宮城 正弘	一級建築士・構造設計一級建築士
施工	.	.	E, F 柱梁の打増寸法		若松 宏輔	
			H リストに示す梁せい		中村 優人	
			L2, L3h フックあり定着の長さ		大和 純子	
			P 壁開口(円孔)の大きさ			

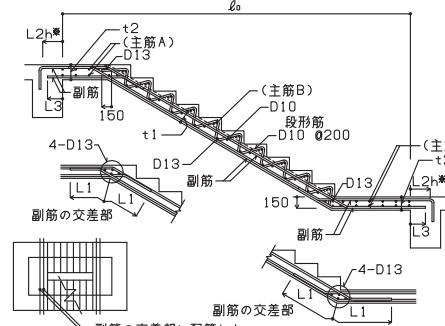
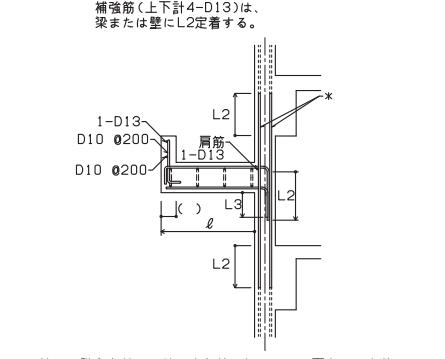
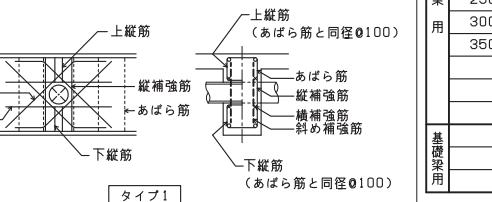


着工	竣工	監理	施工	本標準配筋要領図に使用される記号	代表となる設計者	日建設計	(仮称)人生100年の学びの拠点 中頃別学園整備工事	(構) (通し番号 ***) 8 - 5
.	.	.	.	B リストに示す梁幅 L2 一般鉄筋の定着長さ L3 小束、スラブの下端筋の定着長さ E,F 柱梁の打増寸法 H リストに示す梁せい L2,L3 フックあり定着の長さ L1 一般鉄筋の継手及び特殊な定着の定着の長さ P 壁開口(円孔)の大きさ	勝矢 武之 久米 薫 宮城 正弘 若松 宏輔 中村 優人 大和 純子	一級建築士 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認) 一級建築士・構造設計一級建築士		
.	.	.	.	W 基礎-床スラブの裏口(長辺方向)の大きさ d 鉄筋の呼び名に用いた数値 l 梁のスパン、片持スラブのスパン L1h フックあり継手及び定着の長さ h 階高 Ex,Ey 長方形スラブの短辺有効スパン t リストに示すスラブ又は壁厚さ	その他設計者			
.	.	.	.	ØP				
					2024.8.30	検査者:宇田川 貴章	標準配筋要領図(5)	No. J-221730-C

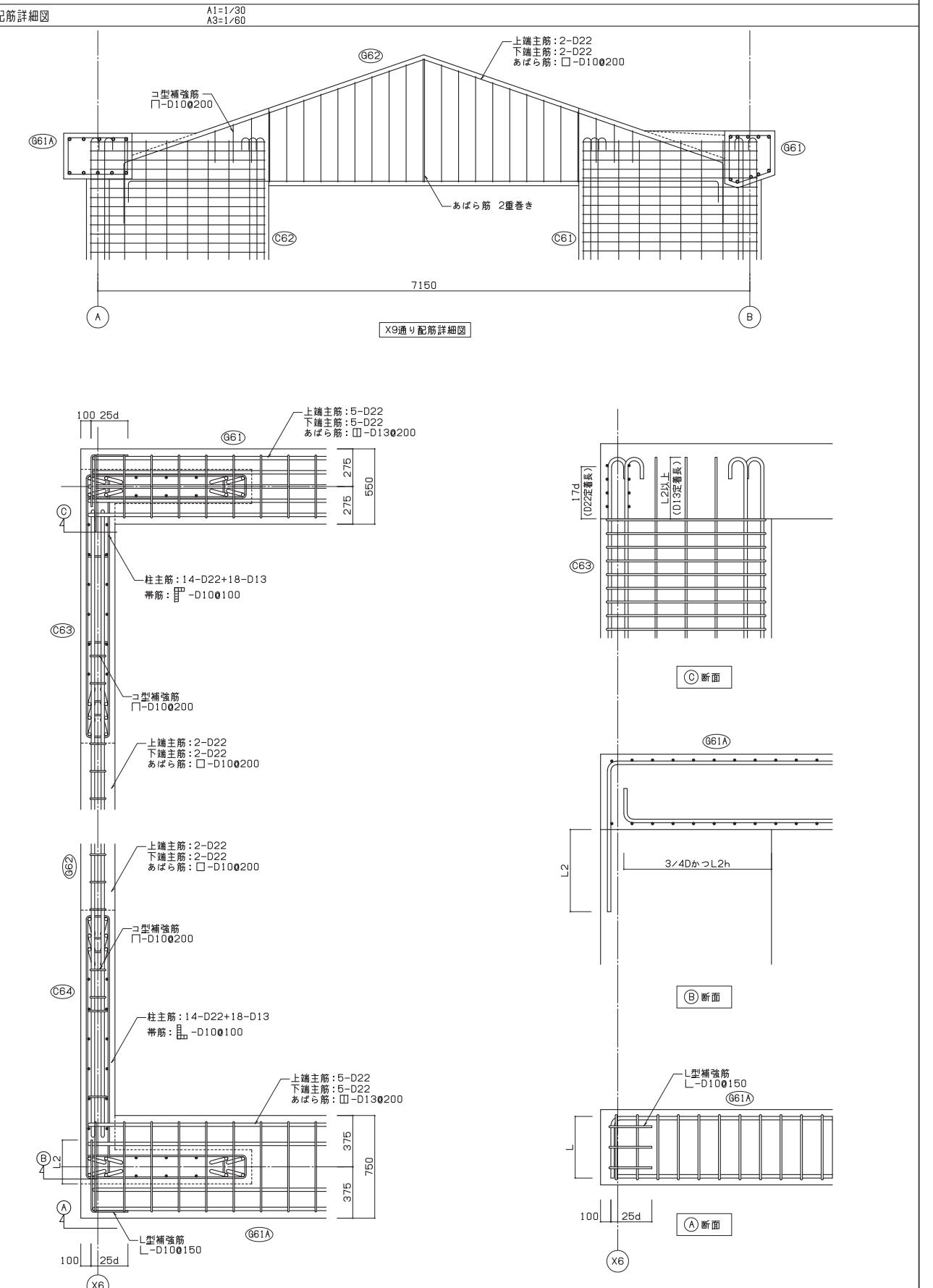
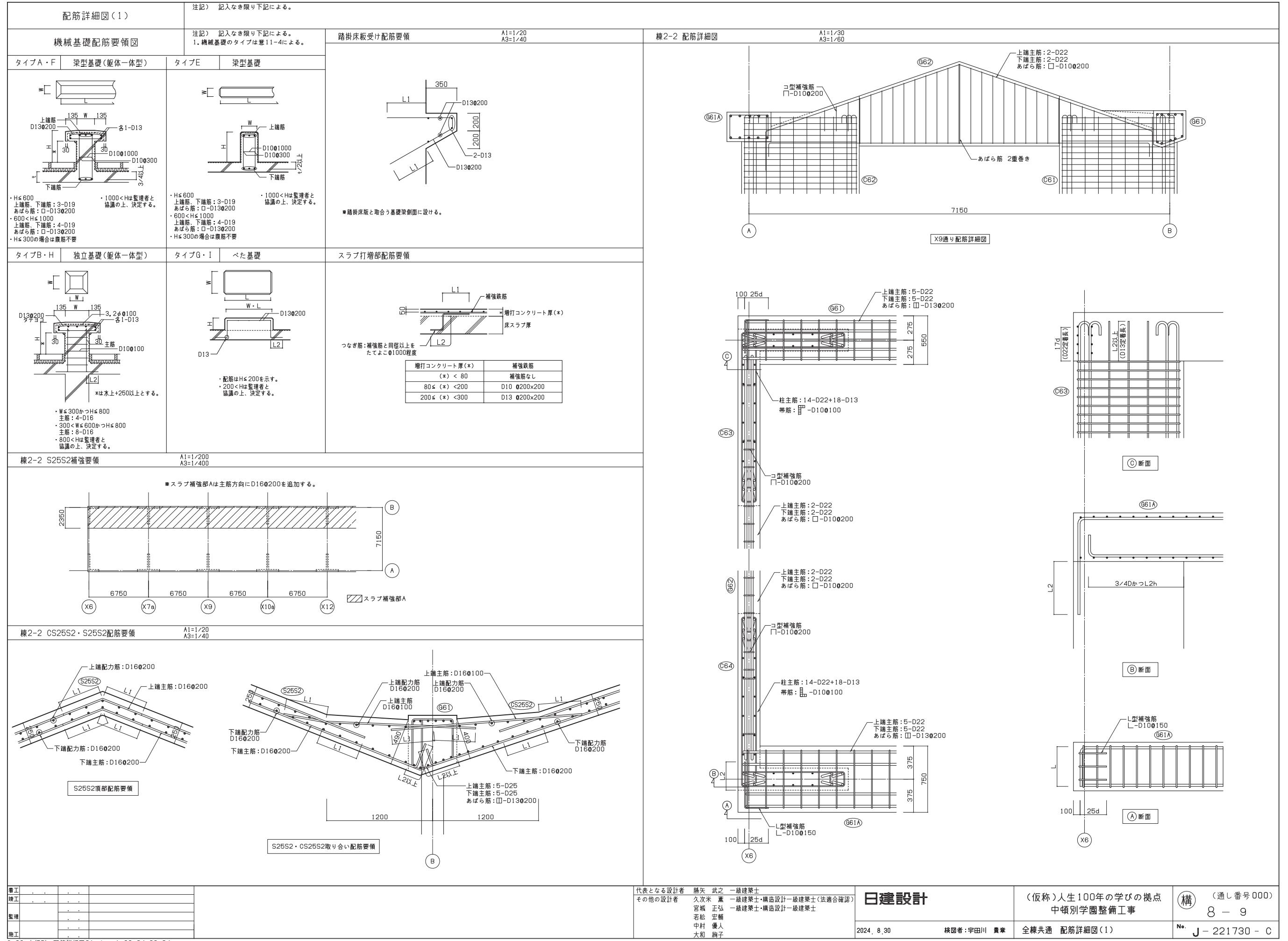


着工	施工	監理	本標準配筋要領図に使用される記号	代表となる設計者	(仮称)人生100年の学びの拠点 中頃別学園整備工事	(構)	
竣工	施工	監理	B リストに示す梁幅 L2 一般鉄筋の定着長さ W 壁間・床スラブの開口(長辺方向)の大きさ ℓ 梁のスパン、片持スラブのスパン D リストに示す柱幅・柱せい L3 小束、スラブの下端筋の定着長さ d 鉄筋の呼び名に用いた数値 E,F 柱梁の打増寸法 L1h フックあり継手及び定着の長さ h 隅高 F リストに示す梁せい L2h,L3h フックあり定着の長さ ho 柱の内法高さ H リストに示す梁せい P 壁開口(円孔)の大きさ L1 一般鉄筋の継手及び特殊な場合の定着の長さ	勝矢 武之 一級建築士 久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認) 宮城 弘正 一級建築士・構造設計一級建築士 若松 宏輔 中村 優人 大和 純子	2024. 8.30 案図者:宇田川 貴章	標準配筋要領図(6)	8 - 6
						No. J - 221730 - C	

標準配筋要領図(7)	注)1. 図表中の寸法の単位はmmとし、単位記号は省略する。 2. 図中の(■)は本標準配筋要領図を示す。(例えば(■)0.3「組立」は、標準配筋要領図0.3「組立」の項を示す。)	
------------	---	--

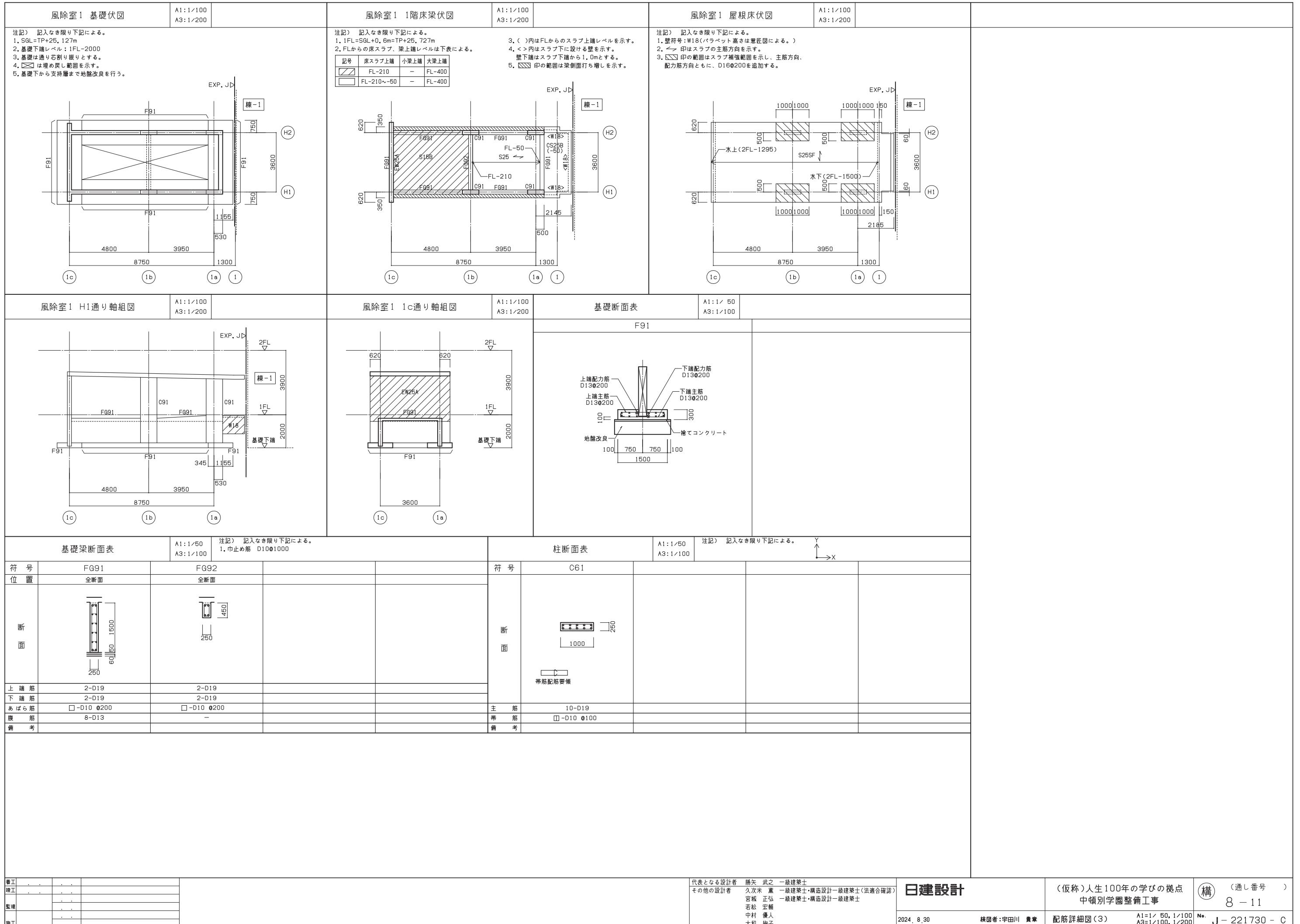
6節 階段の配筋			7節 梁貫通孔その他の配筋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
6.1 片持スラブ形階段(KA型)			7.1 梁貫通孔																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
片持スラブ形階段の基準配筋は図6.1により、寸法及び配筋種別は記入による。 			(a) 梁貫通孔は、次による。 (1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図7.1による。 (2) 孔の径及び間隔は、以下による。孔が円形でない場合はこれの外接円とする。 1. 貫通孔径は、 (RCの場合) 大梁φD/5 小梁φD/4 (SRCの場合) φ D/3かつ鉄骨せい Hs/2 とし、設計図に示されない個所については監理者の指示に従う。 2. 貫通孔の中心間隔は、 (RCの場合) 4x(隣接する貫通孔径の平均) かつ 500以上 (SRCの場合) 3x(隣接する貫通孔径の平均) かつ 500以上を原則とする。 (3) 孔の上下方向の位置の限度は、 (RCの場合) Ho ≥ 250 (SRCの場合) Ho ≥ 250 かつ H1, H2 ≥ 100を満たすこと。 (4) 孔の中心位置の限度は、柱及び直交する梁(小梁)の面から、原則として1.2D(Dは梁せい)以上離す。 (5) 斜筋及び上下縦筋は、あら筋の形に配筋する。(0100) (6) 補強筋は主筋の内側とする。やむを得ない場合は、監理者の承認を受けて外側とすることができる。また、鉄筋の定着長さは、図7.3による。 (7) 孔の径が100mm以下のものは、補強を省略することができる。 (8) 鉄骨梁貫通孔補強要領とその数量は(*鉄骨標準要領図)による。 (9) SRC梁の貫通孔補強要領については(*本図)による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			 表7.1 梁貫通孔の補強																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">貫通孔径 (呼び径 D(mm))</th> <th colspan="3">タイプ1</th> <th rowspan="2">SRC(STK400) 貫通スリーブ(mm)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>縦補強筋</th> <th>横補強筋</th> <th>斜め補強筋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100mm以下</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>125φ</td> <td>1巻-D13</td> <td>各2-D13</td> <td>各2-D13</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>150φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D13</td> <td>各2-D16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>175φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>190.7φ×5.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>200φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D19</td> <td>216.3φ×5.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>250φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D19</td> <td>267.4φ×6.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>300φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>318.5φ×7.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>350φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>355.6φ×7.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>400φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>400.7φ×8.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>450φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>450.7φ×9.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>500φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>500.7φ×10.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>600φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>600.7φ×12.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>750φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>750.7φ×14.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>850φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>850.7φ×16.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>950φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>950.7φ×18.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1050φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>1050.7φ×20.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1250φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>1250.7φ×22.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1500φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>1500.7φ×24.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1750φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>1750.7φ×26.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>2000.7φ×28.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2500φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>2500.7φ×30.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>3000.7φ×32.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3500φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>3500.7φ×34.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>4000.7φ×36.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4500φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>4500.7φ×38.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>5000.7φ×40.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>6000.7φ×42.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7500φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>7500.7φ×44.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8500φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>8500.7φ×46.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9500φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>9500.7φ×48.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10500φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>10500.7φ×50.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12500φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>12500.7φ×52.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>15000.7φ×54.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>17500φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>17500.7φ×56.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>20000.7φ×58.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>25000.7φ×60.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>30000.7φ×62.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>35000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>35000.7φ×64.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>40000.7φ×66.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>45000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>45000.7φ×68.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>50000.7φ×70.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>60000.7φ×72.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>75000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>75000.7φ×74.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>85000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>85000.7φ×76.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>95000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>95000.7φ×78.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>105000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>105000.7φ×80.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>125000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>125000.7φ×82.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>150000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>150000.7φ×84.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>175000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>175000.7φ×86.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>200000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>200000.7φ×88.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>250000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>250000.7φ×90.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>300000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>300000.7φ×92.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>350000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>350000.7φ×94.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>400000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>400000.7φ×96.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>450000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>450000.7φ×98.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>500000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>500000.7φ×100.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>600000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>600000.7φ×102.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>750000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>750000.7φ×104.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>850000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>850000.7φ×106.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>950000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>950000.7φ×108.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1050000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>1050000.7φ×110.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1250000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>1250000.7φ×112.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1500000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>1500000.7φ×114.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1750000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>1750000.7φ×116.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2000000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>2000000.7φ×118.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2500000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>2500000.7φ×120.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3000000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>3000000.7φ×122.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3500000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>3500000.7φ×124.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4000000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>4000000.7φ×126.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4500000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>4500000.7φ×128.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5000000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>5000000.7φ×130.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6000000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>6000000.7φ×132.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7500000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>7500000.7φ×134.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8500000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>8500000.7φ×136.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9500000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>9500000.7φ×138.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10500000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>10500000.7φ×140.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12500000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>12500000.7φ×142.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15000000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>15000000.7φ×144.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>17500000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>17500000.7φ×146.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20000000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>20000000.7φ×148.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25000000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>25000000.7φ×150.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30000000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>30000000.7φ×152.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>35000000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>35000000.7φ×154.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40000000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>40000000.7φ×156.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>45000000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>45000000.7φ×158.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50000000φ</td> <td>2巻-D13</td> <td>各2-D16</td> <td>各2-D25</td> <td>50000000.7φ×160.9</td> <td></td> </tr> <tr</tbody></table>	貫通孔径 (呼び径 D(mm))	タイプ1			SRC(STK400) 貫通スリーブ(mm)	備考	縦補強筋	横補強筋	斜め補強筋	100mm以下	—	—	—			125φ	1巻-D13	各2-D13	各2-D13			150φ	2巻-D13	各2-D13	各2-D16			175φ	2巻-D13	各2-D13	各2-D16	190.7φ×5.3		200φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D19	216.3φ×5.8		250φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D19	267.4φ×6.6		300φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	318.5φ×7.9		350φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	355.6φ×7.9		400φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	400.7φ×8.9		450φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	450.7φ×9.9		500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	500.7φ×10.9		600φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	600.7φ×12.9		750φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	750.7φ×14.9		850φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	850.7φ×16.9		950φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	950.7φ×18.9		1050φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1050.7φ×20.9		1250φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1250.7φ×22.9		1500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1500.7φ×24.9		1750φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1750.7φ×26.9		2000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	2000.7φ×28.9		2500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	2500.7φ×30.9		3000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	3000.7φ×32.9		3500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	3500.7φ×34.9		4000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	4000.7φ×36.9		4500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	4500.7φ×38.9		5000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	5000.7φ×40.9		6000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	6000.7φ×42.9		7500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	7500.7φ×44.9		8500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	8500.7φ×46.9		9500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	9500.7φ×48.9		10500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	10500.7φ×50.9		12500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	12500.7φ×52.9		15000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	15000.7φ×54.9		17500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	17500.7φ×56.9		20000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	20000.7φ×58.9		25000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	25000.7φ×60.9		30000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	30000.7φ×62.9		35000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	35000.7φ×64.9		40000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	40000.7φ×66.9		45000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	45000.7φ×68.9		50000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	50000.7φ×70.9		60000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	60000.7φ×72.9		75000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	75000.7φ×74.9		85000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	85000.7φ×76.9		95000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	95000.7φ×78.9		105000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	105000.7φ×80.9		125000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	125000.7φ×82.9		150000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	150000.7φ×84.9		175000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	175000.7φ×86.9		200000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	200000.7φ×88.9		250000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	250000.7φ×90.9		300000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	300000.7φ×92.9		350000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	350000.7φ×94.9		400000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	400000.7φ×96.9		450000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	450000.7φ×98.9		500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	500000.7φ×100.9		600000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	600000.7φ×102.9		750000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	750000.7φ×104.9		850000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	850000.7φ×106.9		950000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	950000.7φ×108.9		1050000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1050000.7φ×110.9		1250000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1250000.7φ×112.9		1500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1500000.7φ×114.9		1750000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1750000.7φ×116.9		2000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	2000000.7φ×118.9		2500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	2500000.7φ×120.9		3000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	3000000.7φ×122.9		3500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	3500000.7φ×124.9		4000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	4000000.7φ×126.9		4500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	4500000.7φ×128.9		5000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	5000000.7φ×130.9		6000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	6000000.7φ×132.9		7500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	7500000.7φ×134.9		8500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	8500000.7φ×136.9		9500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	9500000.7φ×138.9		10500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	10500000.7φ×140.9		12500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	12500000.7φ×142.9		15000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	15000000.7φ×144.9		17500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	17500000.7φ×146.9		20000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	20000000.7φ×148.9		25000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	25000000.7φ×150.9		30000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	30000000.7φ×152.9		35000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	35000000.7φ×154.9		40000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	40000000.7φ×156.9		45000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	45000000.7φ×158.9		50000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	50000000.7φ×160.9	
貫通孔径 (呼び径 D(mm))	タイプ1				SRC(STK400) 貫通スリーブ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	縦補強筋	横補強筋	斜め補強筋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
100mm以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
125φ	1巻-D13	各2-D13	各2-D13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
150φ	2巻-D13	各2-D13	各2-D16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
175φ	2巻-D13	各2-D13	各2-D16	190.7φ×5.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
200φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D19	216.3φ×5.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
250φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D19	267.4φ×6.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
300φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	318.5φ×7.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
350φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	355.6φ×7.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
400φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	400.7φ×8.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
450φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	450.7φ×9.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	500.7φ×10.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
600φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	600.7φ×12.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
750φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	750.7φ×14.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
850φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	850.7φ×16.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
950φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	950.7φ×18.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1050φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1050.7φ×20.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1250φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1250.7φ×22.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1500.7φ×24.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1750φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1750.7φ×26.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	2000.7φ×28.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	2500.7φ×30.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	3000.7φ×32.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	3500.7φ×34.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
4000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	4000.7φ×36.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
4500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	4500.7φ×38.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
5000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	5000.7φ×40.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
6000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	6000.7φ×42.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
7500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	7500.7φ×44.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
8500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	8500.7φ×46.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
9500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	9500.7φ×48.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	10500.7φ×50.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
12500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	12500.7φ×52.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
15000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	15000.7φ×54.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
17500φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	17500.7φ×56.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
20000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	20000.7φ×58.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
25000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	25000.7φ×60.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
30000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	30000.7φ×62.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
35000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	35000.7φ×64.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
40000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	40000.7φ×66.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
45000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	45000.7φ×68.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
50000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	50000.7φ×70.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
60000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	60000.7φ×72.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
75000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	75000.7φ×74.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
85000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	85000.7φ×76.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
95000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	95000.7φ×78.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
105000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	105000.7φ×80.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
125000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	125000.7φ×82.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
150000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	150000.7φ×84.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
175000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	175000.7φ×86.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
200000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	200000.7φ×88.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
250000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	250000.7φ×90.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
300000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	300000.7φ×92.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
350000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	350000.7φ×94.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
400000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	400000.7φ×96.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
450000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	450000.7φ×98.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	500000.7φ×100.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
600000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	600000.7φ×102.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
750000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	750000.7φ×104.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
850000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	850000.7φ×106.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
950000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	950000.7φ×108.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1050000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1050000.7φ×110.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1250000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1250000.7φ×112.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1500000.7φ×114.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1750000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	1750000.7φ×116.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	2000000.7φ×118.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	2500000.7φ×120.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	3000000.7φ×122.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	3500000.7φ×124.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
4000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	4000000.7φ×126.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
4500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	4500000.7φ×128.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
5000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	5000000.7φ×130.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
6000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	6000000.7φ×132.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
7500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	7500000.7φ×134.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
8500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	8500000.7φ×136.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
9500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	9500000.7φ×138.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
10500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	10500000.7φ×140.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
12500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	12500000.7φ×142.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
15000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	15000000.7φ×144.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
17500000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	17500000.7φ×146.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
20000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	20000000.7φ×148.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
25000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	25000000.7φ×150.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
30000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	30000000.7φ×152.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
35000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	35000000.7φ×154.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
40000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	40000000.7φ×156.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
45000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	45000000.7φ×158.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
50000000φ	2巻-D13	各2-D16	各2-D25	50000000.7φ×160.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

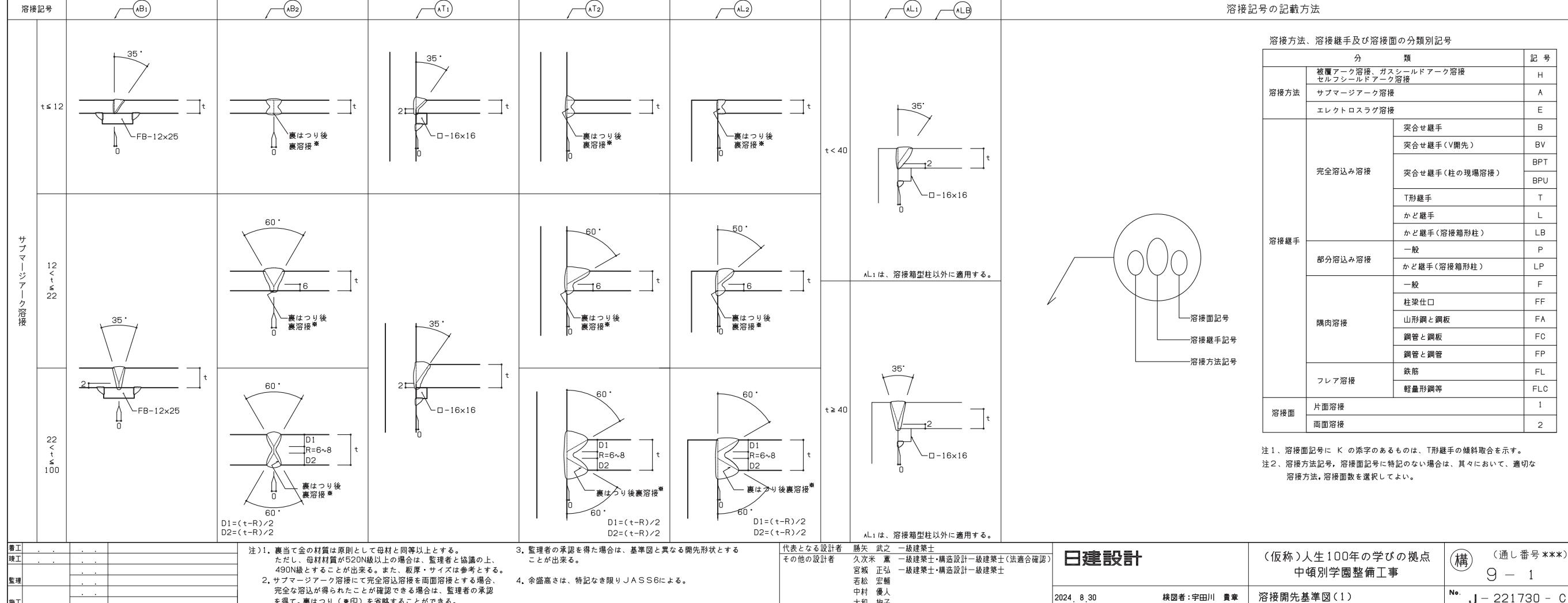
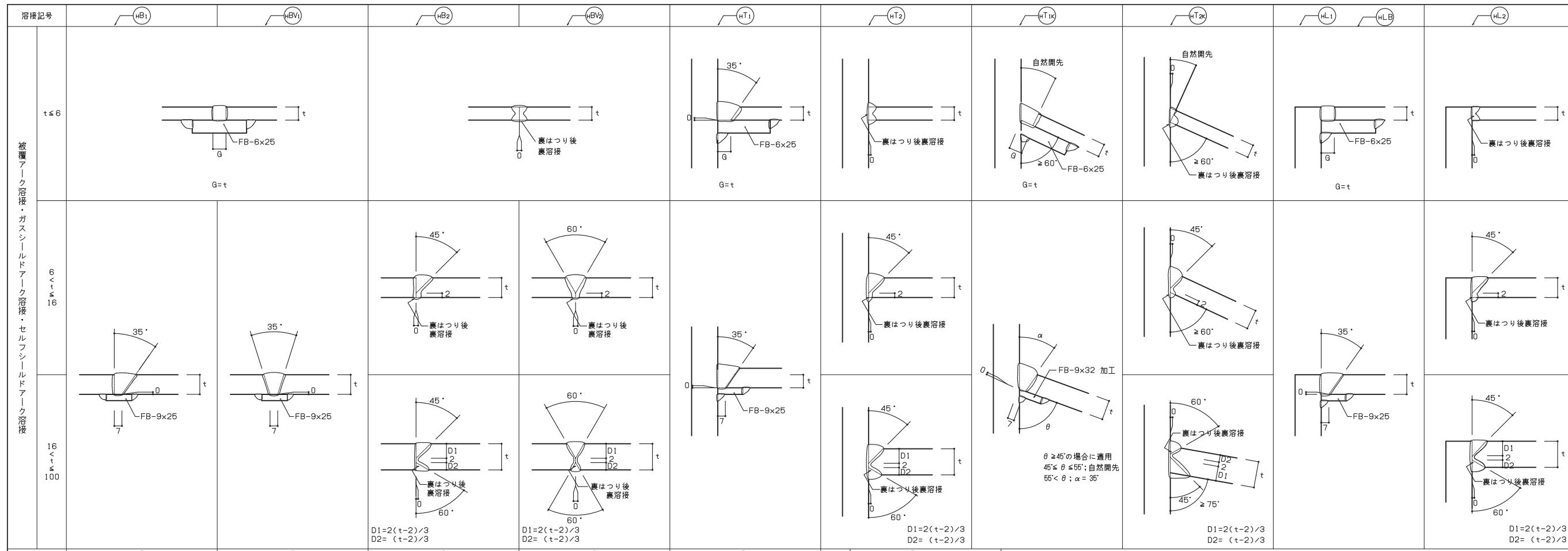
標準配筋要領図(8)	注)1. 図表中の寸法の単位はmmとし、単位記号は省略する。 2. 図中の(要)は本標準配筋要領図を示す。(例えば(要)0.3「組立」は、標準配筋要領図0.3「組立」の項を示す。) 3. 図中の(補)は国土交通省大臣官房官房基盤部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」を示す。 (例えば、(補)表5.3.2は、標準仕様書の表5.3.2を示す)	ひび割れ対策要領図	注)1. ○印の付いたものを適用する。この場合※印があってもそれは適用しない。ただし、○印のない場合は※印の付いたものを適用する。 2. ひび割れ補強
7節 梁貫通孔その他の配筋		1. 誘発目地	2. ひび割れ補強
7.3 機械吊上げ用フック	7.5 RC部材端部に設けられた鉄骨ベースプレート下部のかぶり剥落防止配筋要領	1.1 誘発目地位置	1.2 耐震壁(EW)誘発目地詳細
梁に設ける機械吊上げ用フックは、表7.3及び図7.6による。 表7.3 機械吊上げ用フック			
種別	A種 B種 C種	D: (かぶり厚さ+下部部材最大鉄筋径×2) かつ100以上	(a) 誘発目地位置の原則 壁の誘発目地の位置は原則以下による。
フック筋	φ25又はD25 φ22又はD22 φ19又はD19	かぶり厚さ(打増を含む)	水平打継目地
曲げ内法直径(mm)	100		
補強かんざし筋	2-D16		
補強腹筋(mm)	D16, l=900 D16, l=750 D16, l=600		
吊上げ荷重(kN)	70≥W>50 50≥W>40 40≥W		
7.4 後打ちコンクリート部の補強要領	7.6 リブ配筋要領	2. 外壁の場合の添え筋は(*エポキシ樹脂塗装鉄筋)とする。 3. 内壁の場合の添え筋は(*普通鉄筋)とする。 4. 鉄筋格子については誘発目地に沿って切断(*する・しない)。 5. 開口補強筋については誘発目地に沿って切断しない。 6. かぶり厚さは、目地部分でも最小かぶり厚さ以上を確保する。 7. 横筋と添え筋の位置を平面的にずらす場合は、横筋を縦筋の内外に変える、縦に捨て筋を流す等により対処する。	外壁に端部スパン補強筋(*設ける。○設けない。) 内壁に端部スパン補強筋(*設ける。○設けない。) 補強筋を設ける場合の範囲及び方法は以下とする。
・後打ちコンクリート: 打込み後4週以上のコンクリートに接続して打込まれるコンクリート(増築予定を含む)		(b) 壁厚(總厚) 250以上の場合 外壁の目地部には欠損材(*使用する。・使用しない。) 内壁の目地部には欠損材(・使用する。 *使用しない。)	
柱後打ちコンクリート部	柱後打ちコンクリート部	(c) 開口がある壁 開口がある壁の場合の誘発目地の位置は原則以下による。	
梁の後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(d) (開口箇所の最小寸法)が500mm以下は一つの開口として扱う。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。 2. 誘発目地は、開口部のコーナーを通るように配置する。開口長さがスパンの1/4以上の場合は原則面側に設ける。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。 2. 誘発目地は、開口部のコーナーを通るように配置する。開口長さがスパンの1/4以上の場合は原則面側に設ける。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部	壁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
柱後打ちコンクリート部	梁の後打ちコンクリート部	(注)1. 誘発目地間隔Lmaxは(a)による。	
スラブの後打ちコンクリート部			



注記) 記入なき限り下記による。

配筋詳細図(2)	A1=1/20 A3=1/40	棟1 2階H通+3200, 4通-5通間渡り廊下Exp. J配筋要領図	棟1 R階1通+1300, 鉄骨とRC柱頭部の取合い部配筋要領図	A1=1/20 A3=1/40	棟2-1・棟3 段差基礎配筋要領	A1=1/20 A3=1/40	棟2-1・棟2-2・棟3 片持ち段差梁配筋要領	A1=1/20 A3=1/40
着工	竣工	監理	施工	代表となる設計者 勝矢 武之 一級建築士 その他の設計者 久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認) 宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士 若松 宏輔 中村 優人 大和 梅子		日建設計	(仮称)人生100年の学びの拠点 中頓別学園整備工事	構 (通し番号 000) 8 - 10
						2024. 8.30	棟団者: 宇田川 貴章	No. J - 221730 - C





注1. 裏当て金の質は原則として母材と同等以上とする。
ただし、母材質がS20N級以上の場合は、監理者と協議の上、
490N級とすることが出来る。また、板厚・サイズは参考とする。
2. サブマージアーケ溶接にて完全溶込み溶接を両面溶接とする場合、
完全な溶込が得られたことが確認できる場合は、監理者の承認
を得て、裏はつり(*印)を省略することができる。

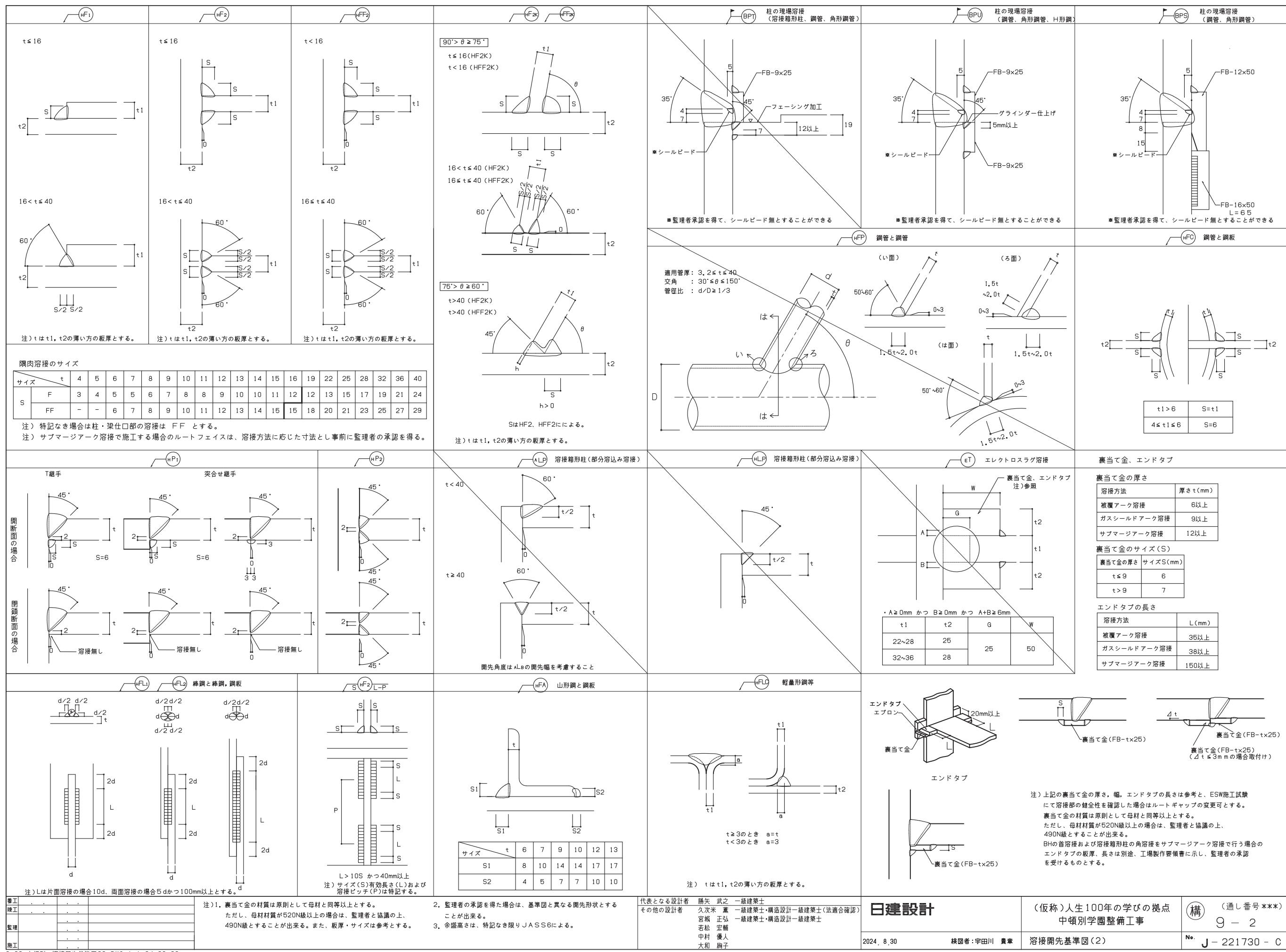
3. 監理者の承認を得た場合は、基準図と異なる開先形状とす
ることが出来る。
4. 余盛高さは、特記なき限りJASS6による。

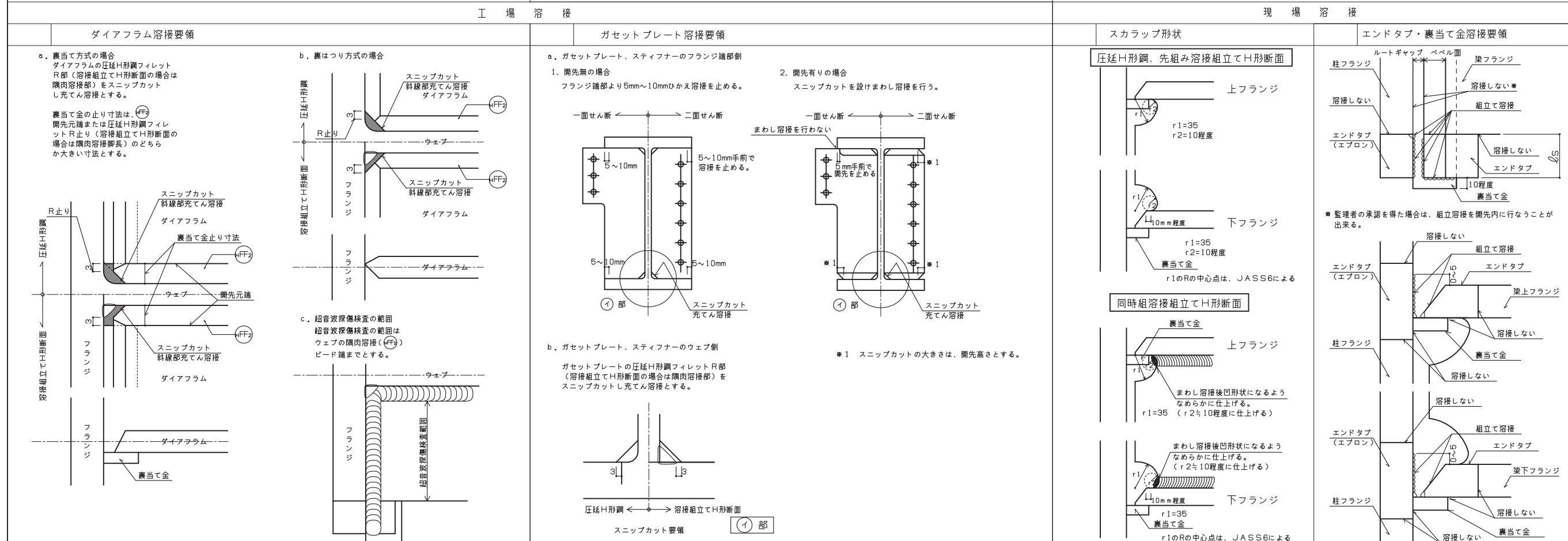
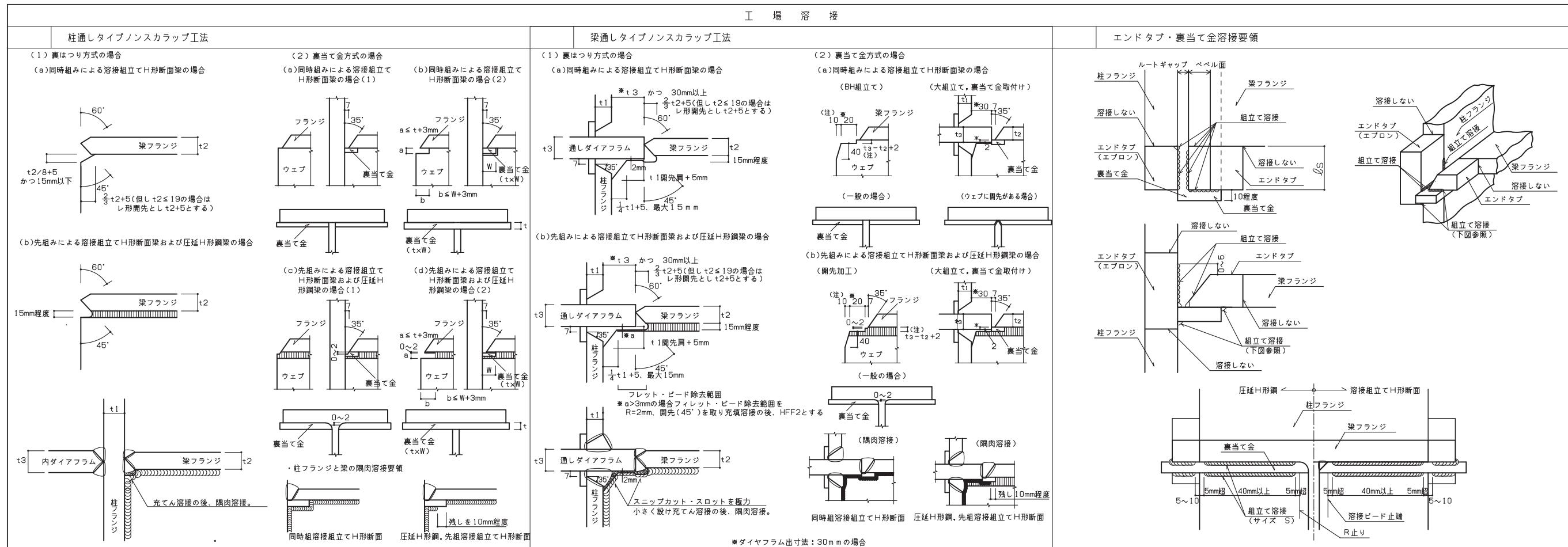
代表となる設計者 藤矢 武之 一級建築士
その他の設計者 久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認)
宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士
若松 宏輔 一級建築士
中村 優人 一級建築士
大和 錠子 一級建築士

日建設計

(仮称)人生100年の学びの拠点
中頸別学園整備工事

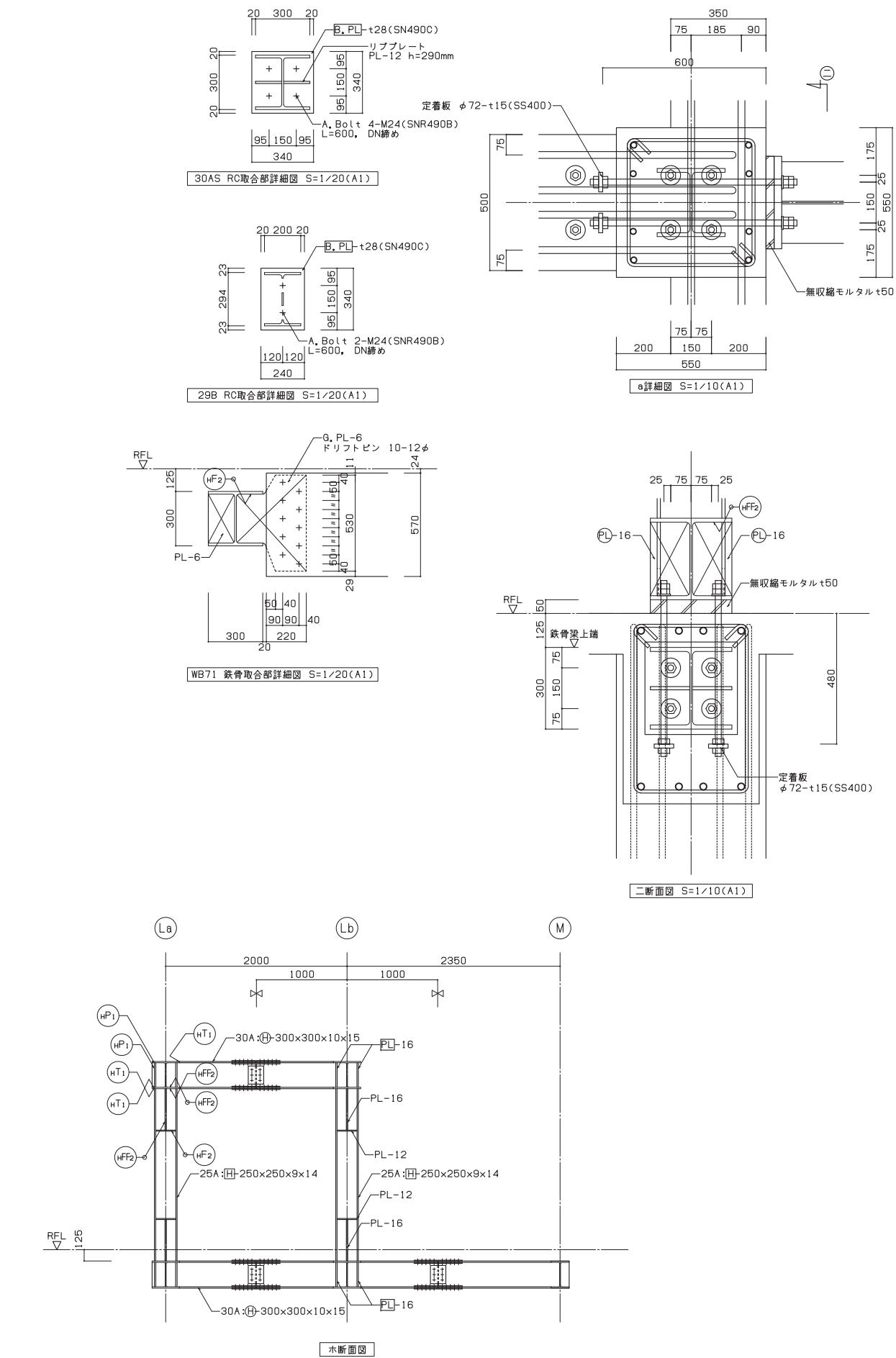
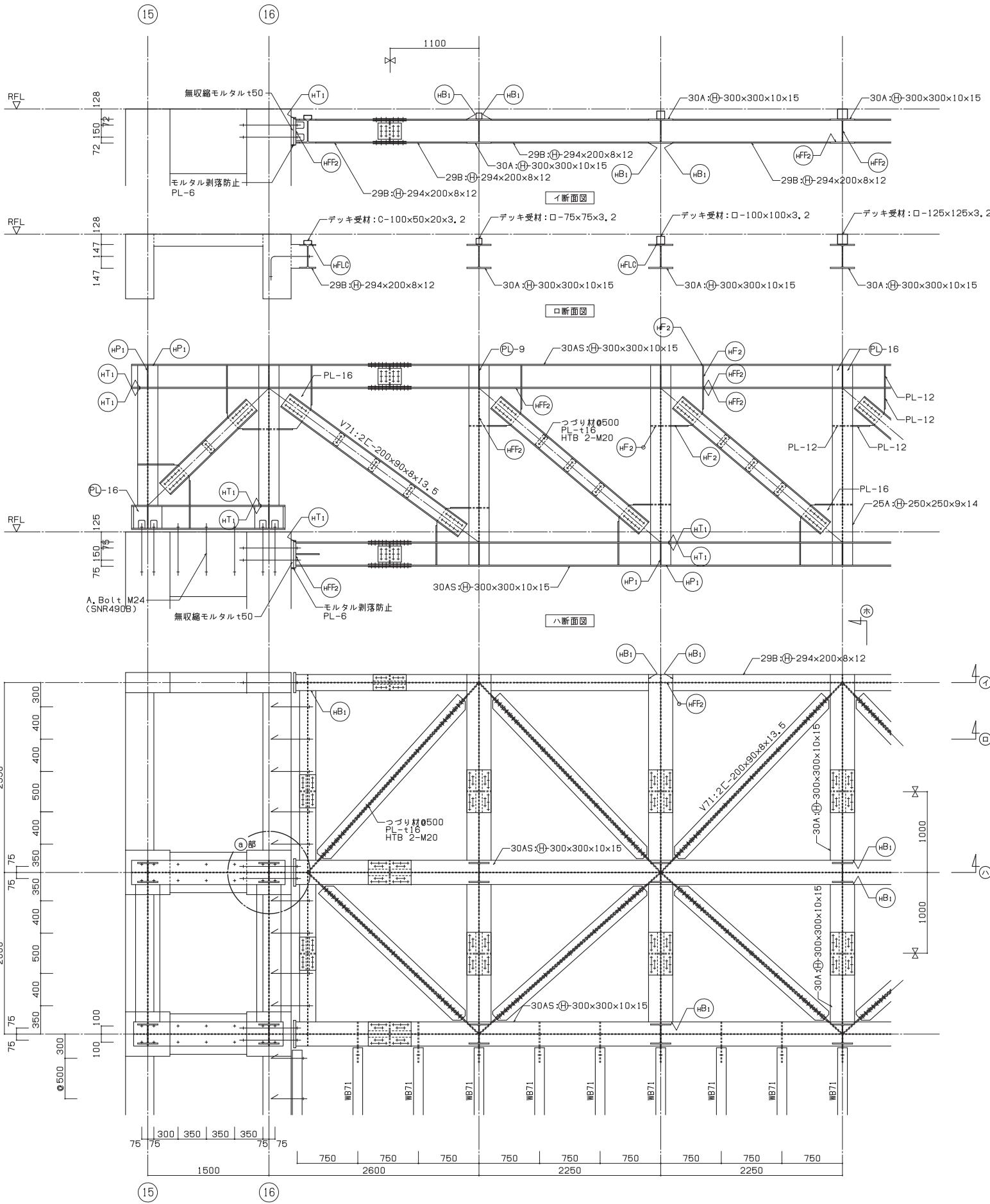
(構) 9 - 1
No. J - 221730 - C





基工 竣工 監理 施工	注1. この基準図は、記入なき限り被覆アーク溶接及びガスシールドアーク溶接による標準溶接継手の形状を示す。 2. 裏当て金の材質は原則として母材と同等以上とする。 ただし、母材材質がS20N級以上の場合は、監理者と協議の上、490N級とすることが出来る。	代表となる設計者 勝矢 武之 一級建築士 その他の設計者 久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認) 宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士 若松 宏輔 一級建築士 中村 優人 一級建築士 大和 純子 一級建築士	日建設計 (仮称)人生100年の学びの拠点 中頃別学園整備工事 2024. 8.30 案図者: 宇田川 貴章 溶接開先基準図(3)	(構) 9 - 3 (通し番号 ***) No. J - 221730 - C
----------------------	----------------------------------	---	--	---	--

C400 □ 印表示 : SN490B, C
○ 印表示 : SM490A



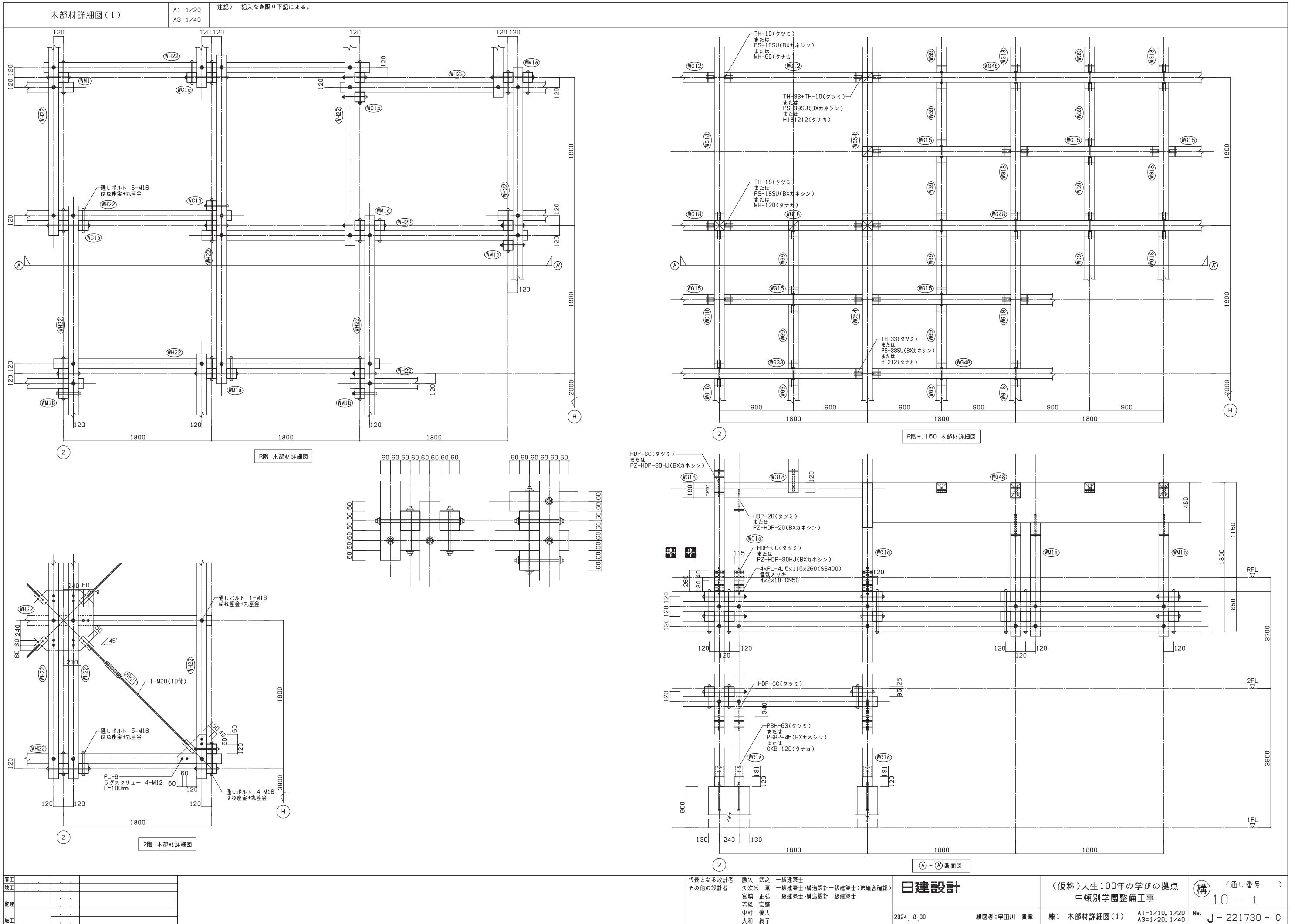
看工
竣工
監理			.	.
施工			.	.

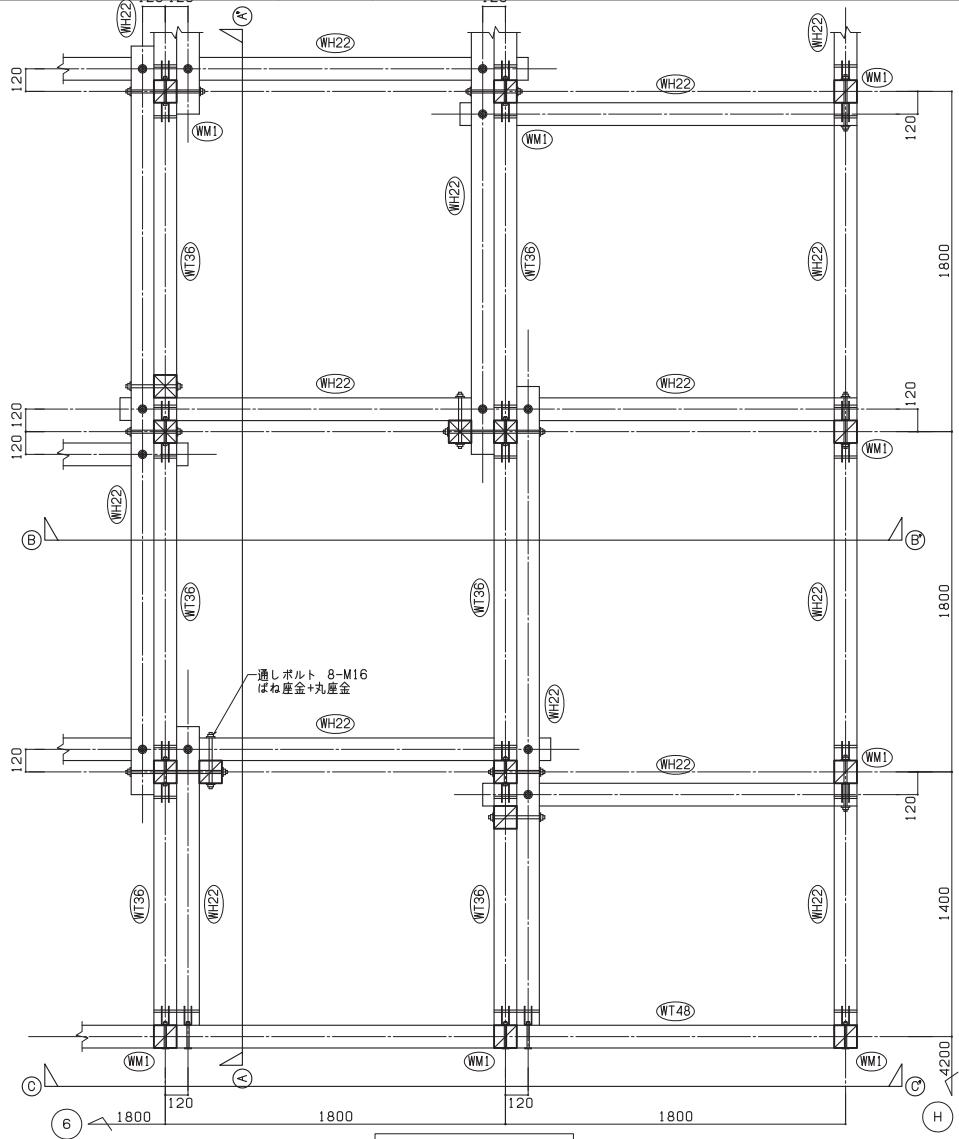
代表となる設計者	勝矢 武之	一級
その他の設計者	久次米 薫	一級
	宮城 正弘	一級
	若松 宏輔	
	中村 優人	
	大和 純二	

日建設計

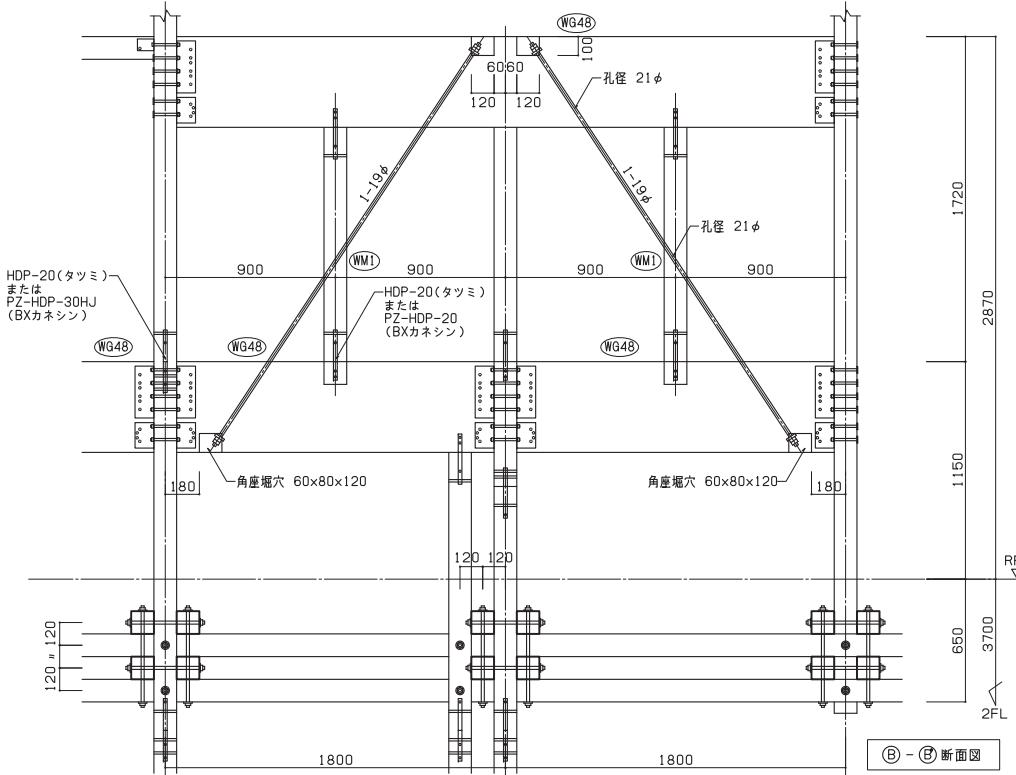
(仮称)人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

(通し番号)
構 9 - 4

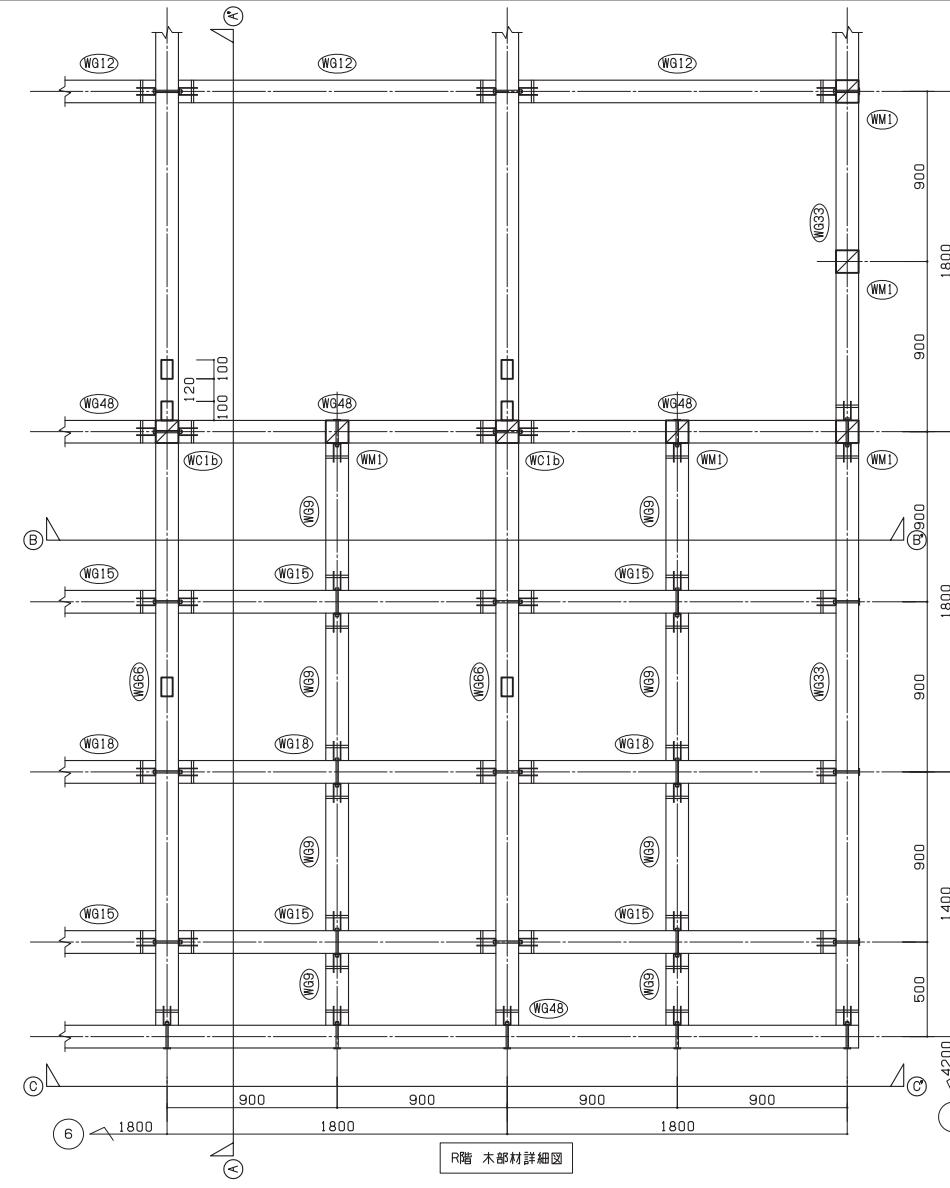




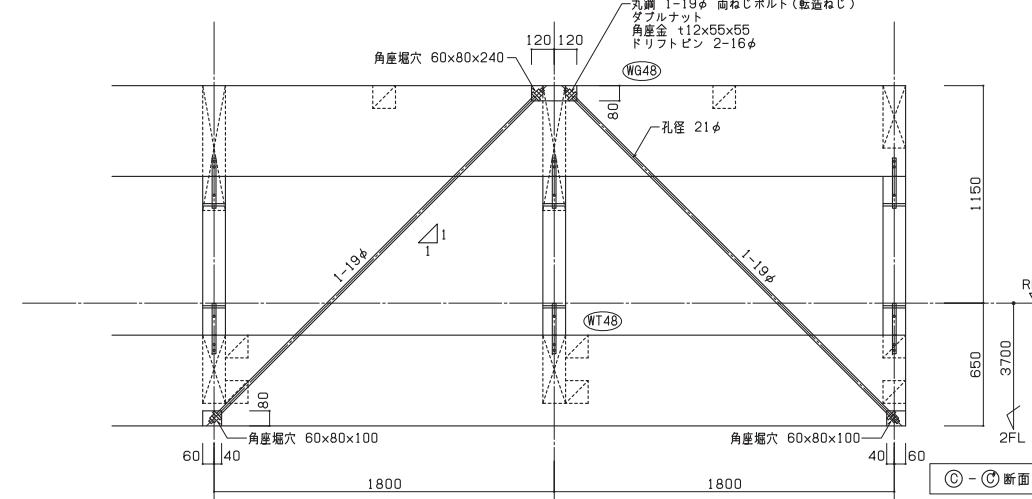
R階+1150mm 木部材詳細図



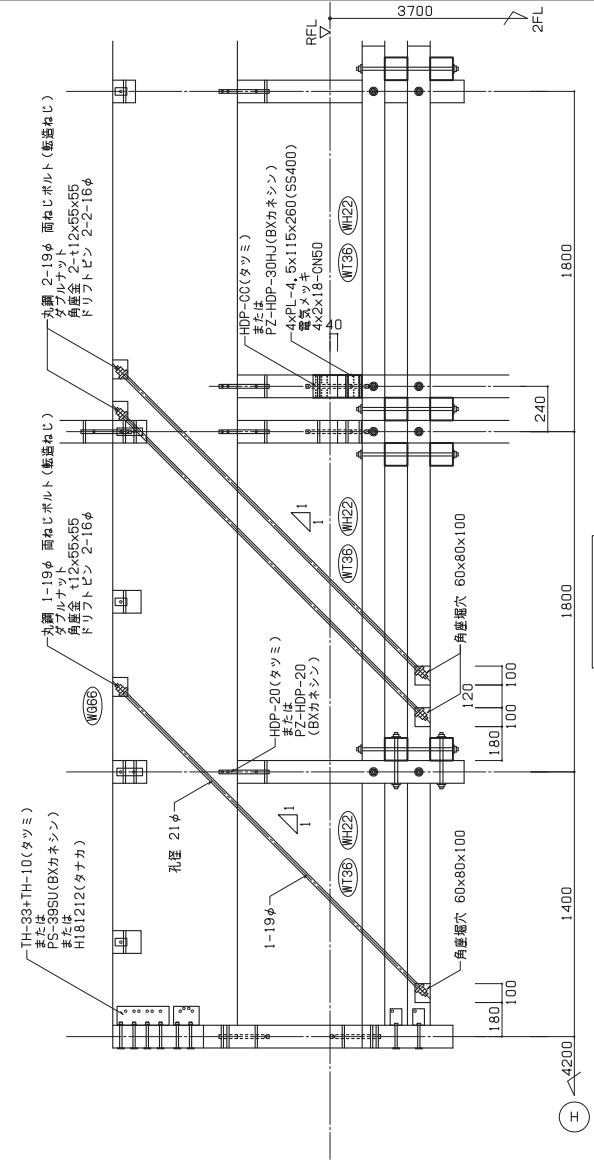
(B)-(E)断面図



R階 木部材詳細図



(C)-(D)断面図



(E)-(F)断面図

着工	...
竣工	...
監理	...
施工	...

代表となる設計者 藤矢 武之 一級建築士
その他の設計者 久次米 薫 一級建築士・構造設計士
宮城 正弘 一級建築士・構造設計士
若松 宏輔 一級建築士・構造設計士
中村 優人
大和 純子

日建設計

(仮称)人生100年の学びの拠点
中領別学園整備工事(通し番号)
構 10 - 2

2024.8.30

検図者:宇田川 貴章

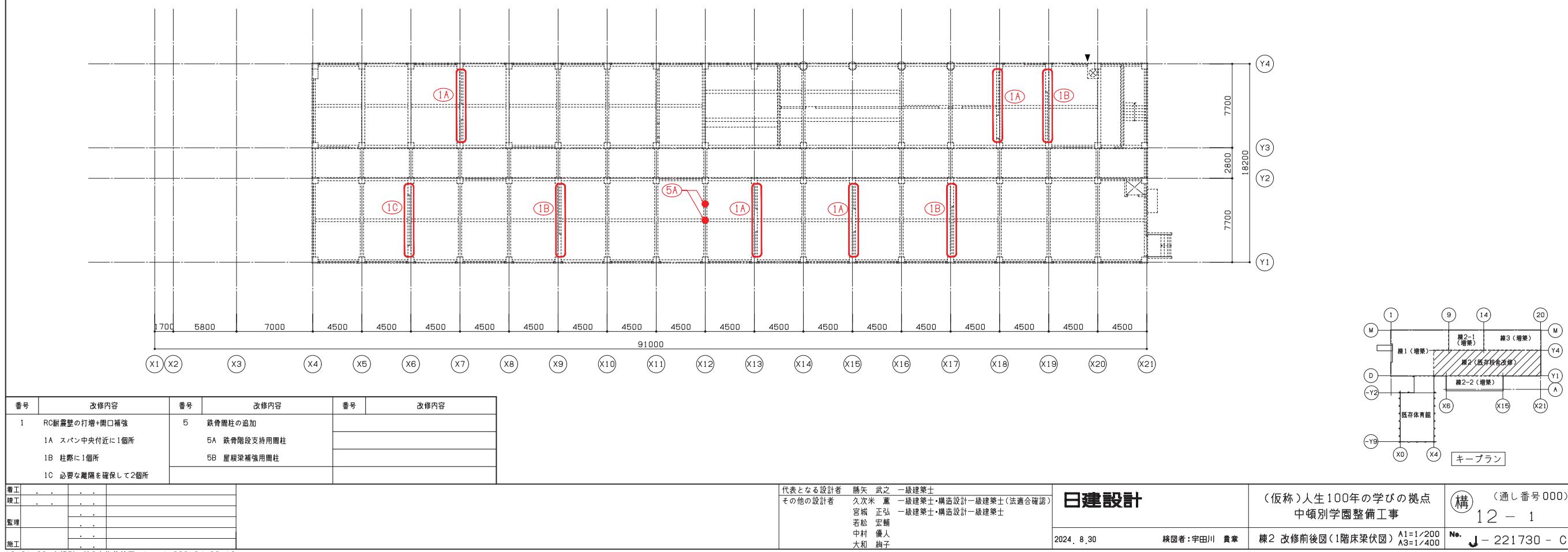
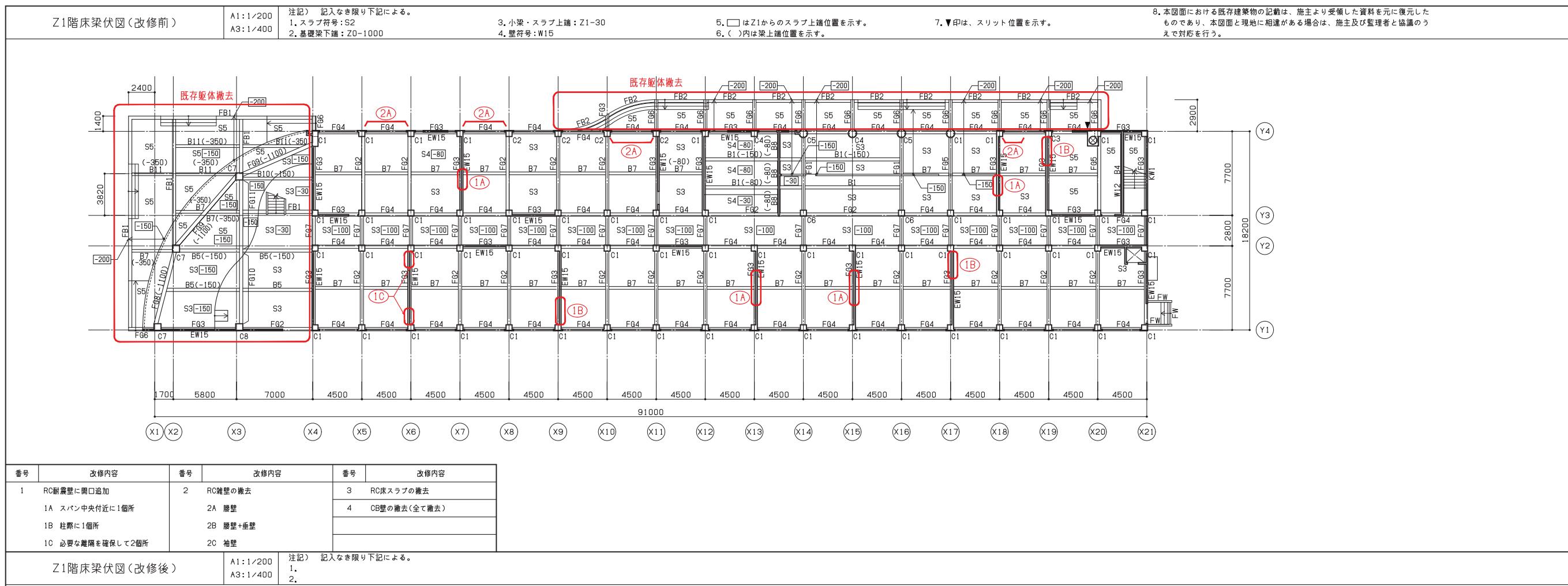
構1 木部材詳細図(2) A1=1/10, 1/20 A3=1/20, 1/40 No. J-221730-C

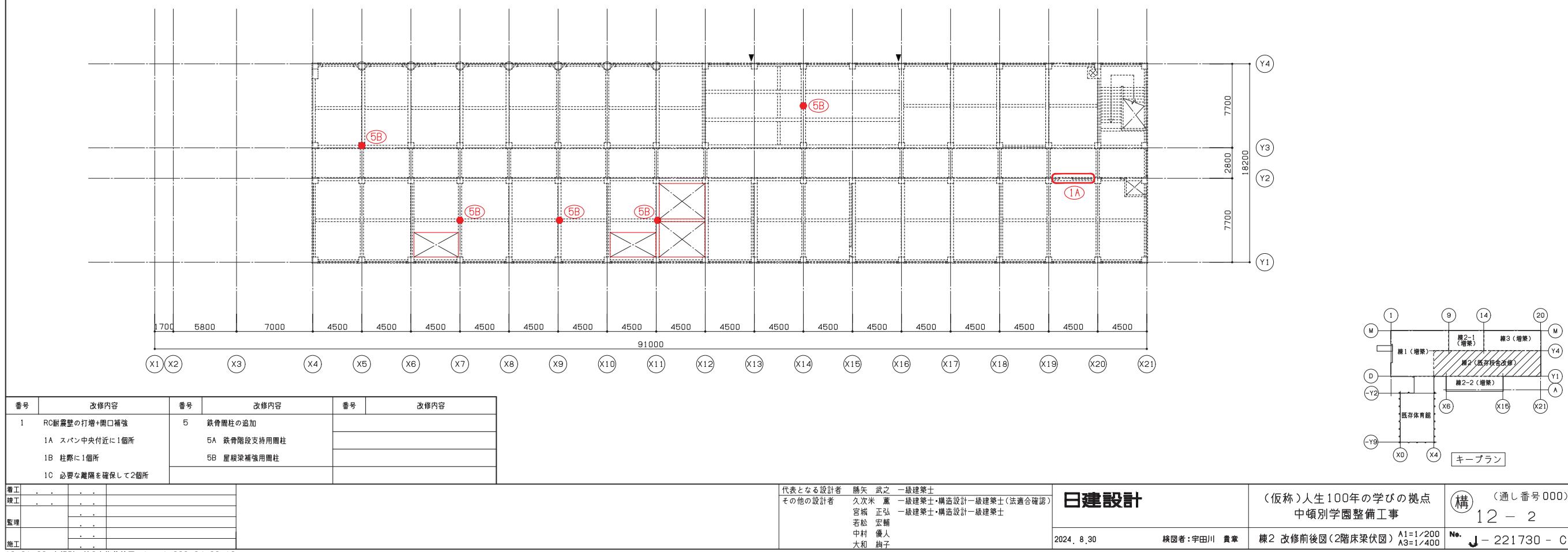
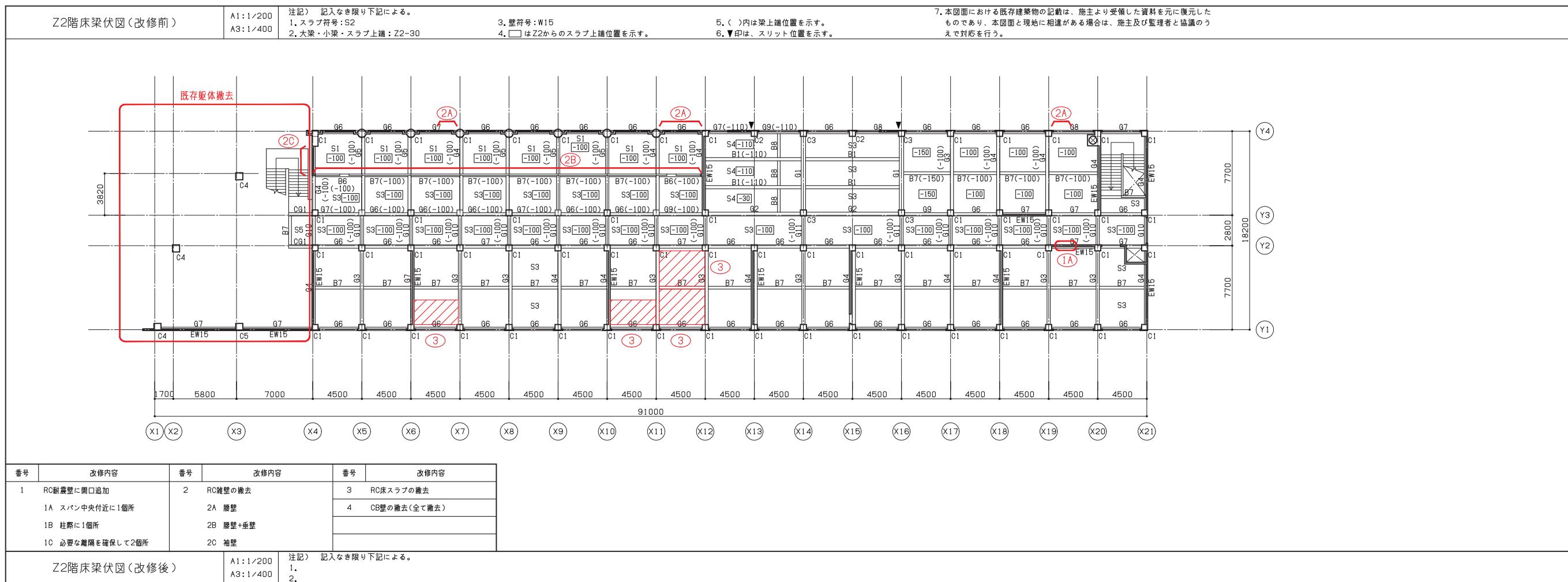
10-01_03_中頓別 棟1木部材詳細図.dwg_1/1_24/07/23

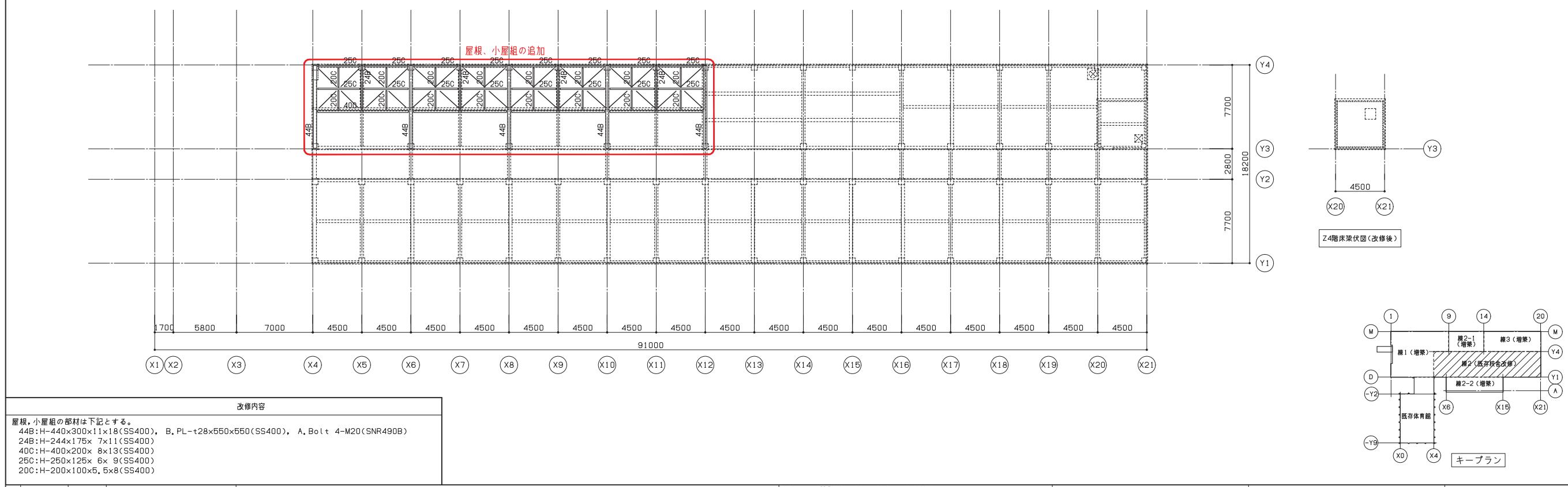
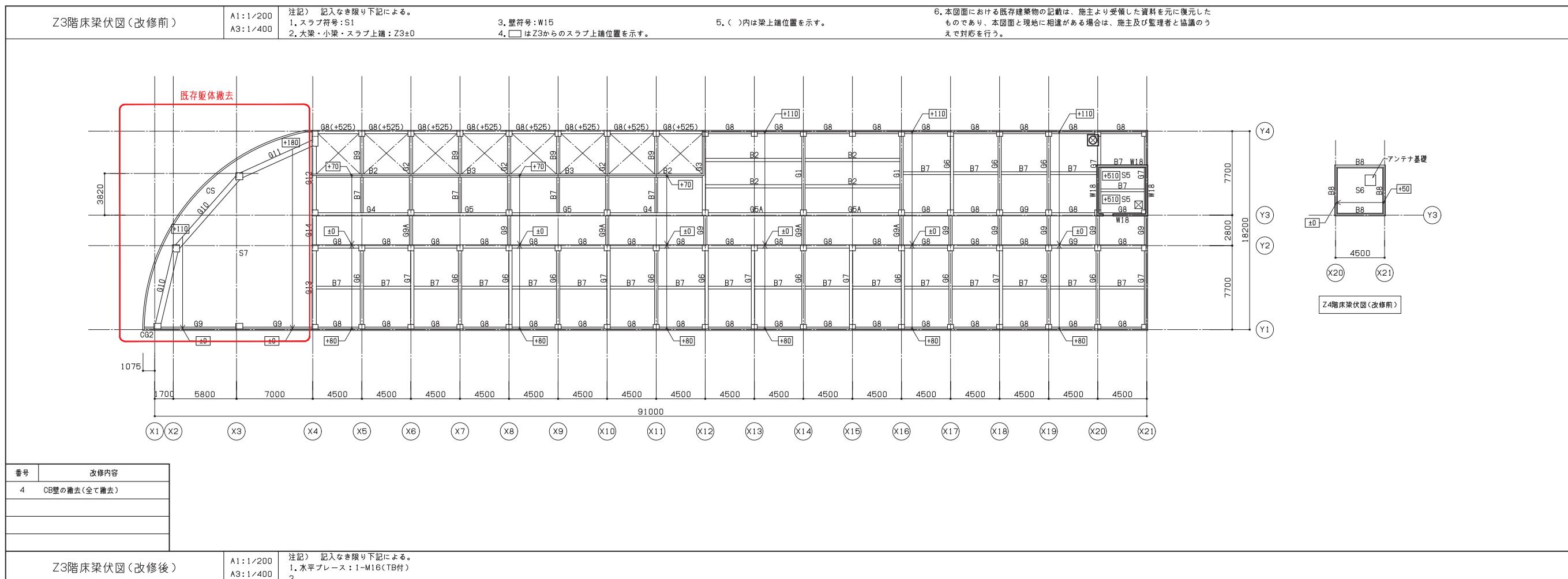
特記仕様書の適用	追補		8.1.5 鉄骨製作工場	a.鉄骨製作工場の加工能力等 ・機器、材料製造者、専門工事業者一覧表に示す鉄骨製作工場 ・建築基準法施行規則第1条の第3項の規定に適合する工場として国土交通大臣の認定を受けた鉄骨製作工場とし、次による。 性能評価基準 S・H以上 G以上 R以上 月産製作トン数()トン以上 その他の条件()	[4](c)付加] h.フライアッシュ、高炉スラグ微粉末、膨張材を用いる場合には、品質及び供給の安定性を確認し、コンクリートの品質に及ぼす影響を明らかにしたうえで、監理者の承認を受ける。 i.防錆剤は、原則として使用しない。	8.2.14 鋼材の材料試験等	a.鋼材の材料試験 *行わない ・行う(対象鋼材: 1)試験要領は、改修構造[8.2.14(1)]による。 b.板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 *行わない ・行う(対象鋼材: c.高力ボルトの材料試験 *行わない ・行う(対象ボルト: 1)材料試験の有無によらず、JISマーク表示認証工場以外の製品を使用する場合は、 ×-R管理図を提出する。 2)材料試験を行なう場合は、JIS形高力ボルトはJIS B 1186、トルシア形高力ボルトはJSS IIに述べる試験方法に基づいて試験を行なう。抜取り数は、監理者との協議による。 d.トルシア形超高力ボルト(F14T)は、構造図に示す「トルシア形超高力ボルト試験要領」により、試験を行う。	
		e.各特記事項の適用に関するルールは、次による。 1)印の付いたものを適用する。 2)印は、他の選択肢に○印の無い場合に適用する。ただし、*印の内容が「繩仕の特仕がない場合の仕様」を示す場合は繩仕として扱い、他の設計図書に異なる記載がある場合は、その記載を優先する。 3)印は○印と同義とする。 4)印と*印の両方が付いた場合は、両方とも適用する。 b.各章の章・節・項の番号は、公共建築協会編「民間(七会)連合協定工事請負契約約款に適合した工事共通仕様書 令和5年版 建築工事編」(以下、共仕)という及び国土交通省大臣官房工務局監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下、改修仕様)いう)の当該番号に対応する。ただし、項番号の頭に「繩」を付したもののは、国土交通省大臣官房工務局監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下、繩仕)という)の当該番号に対する注記である。なお、□はその章・節又は項の全体に対する注記を示し、〔 〕は、それを付された項目(号)のみに対する注記を示す。なお、〔付加M〕のように、M又はPの文字を付された注記も、その意味はMやPを付されていない注記と変わらない。 1) [置換]: 共仕・改修仕様の当該章・節・項の規定を特記仕様書(以下、特仕)と同一の当該規定と置換する。 2) [(b)(2)書き換]: 共仕・繩仕の(b)(2)号の規定を、特仕の当該規定と置換する。 特仕本文で置換内容を示した場合は、「置換」とする場合がある。 3) [付加]: 共仕・改修仕様に特仕の当該規定を新規追加する(新設の章・節・項)。 4) [付加]: 共仕・改修仕様に特仕の当該規定を考単位で追加する。ただし改修構造の当該号が明確な場合は[(c)付加]のように表示することもある。 5) [追補]: 共仕・改修構造にない当該規定を新規追加する(新設の章・節・項)。 d.特仕において、共仕又は改修仕様等の項番号を引用する場合は、 「共仕〔O, O, O〕」、「改修仕様〔O, O, O〕」等と表記する。 e.共仕・改修仕様及び特仕において、共仕又は改修仕様の項番号を引用している場合で、引用された共仕又は改修仕様の規定に対して特仕で追加、説明等を行っている場合は、それらも併せて適用する。 f.特記事項に示す表(表・図・図表)の番号は、共仕又は改修仕様の当該表又は図の番号を表す。 g.改修仕様及び本特仕の[8章耐震改修工事]の規定は、耐震改修工事のほか、それ以外の構造関連工事にも適用する。ただし、他の特記により適用を除外されるものは除く。 h.特仕の[12章 シックハウス対応]の特記内容に、他の部分の特記内容に相違がある場合は、他の部分の特記が優先する。また、特仕12章と改修仕様の各規定に相違がある場合は、特仕12章の規定が優先する。	8.1.6 鉄骨製作工場	a.施工管理技術者 *適用する(*鉄骨製作管理技術者2級同等以上) ・適用しない b.工場製作要領書を作成し、監理者の承認を受ける。	8.2.6 構造体用モルタルの材料及び調合	a.構造体用モルタルの圧縮強度及びフロー値 番号 圧縮強度 フロー値 使用箇所 備考	8.2.14 鋼材の材料試験等	a.鋼材の材料試験 *行わない ・行う(対象鋼材: 1)試験要領は、改修構造[8.2.14(1)]による。 b.板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 *行わない ・行う(対象鋼材: c.高力ボルトの材料試験 *行わない ・行う(対象ボルト: 1)材料試験の有無によらず、JISマーク表示認証工場以外の製品を使用する場合は、 ×-R管理図を提出する。 2)材料試験を行なう場合は、JIS形高力ボルトはJIS B 1186、トルシア形高力ボルトはJSS IIに述べる試験方法に基づいて試験を行なう。抜取り数は、監理者との協議による。 d.トルシア形超高力ボルト(F14T)は、構造図に示す「トルシア形超高力ボルト試験要領」により、試験を行う。
		8.1.7 鉄骨製作工場	a.施工管理技術者 *適用する(*鉄骨製作管理技術者2級同等以上) ・適用しない b.工場製作要領書を作成し、監理者の承認を受ける。	8.2.7 型枠の材料	a.せき板の材料 *合板(厚さ12mm) b.スリープに用いる材料の材種、規格	8.2.14 鋼材の材料試験等	a.鋼材の材料試験 *行わない ・行う(対象鋼材: 1)試験要領は、改修構造[8.2.14(1)]による。 b.板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 *行かない ・行う(対象鋼材: c.高力ボルトの材料試験 *行わない ・行う(対象ボルト: 1)材料試験の有無によらず、JISマーク表示認証工場以外の製品を使用する場合は、 ×-R管理図を提出する。 2)材料試験を行なう場合は、JIS形高力ボルトはJIS B 1186、トルシア形高力ボルトはJSS IIに述べる試験方法に基づいて試験を行なう。抜取り数は、監理者との協議による。 d.トルシア形超高力ボルト(F14T)は、構造図に示す「トルシア形超高力ボルト試験要領」により、試験を行う。	
		8.1.8 [追補] 鉄骨製作工場	a.耐震補強による設備機器の移設、仮撤去復旧は、設計図によるほか、壁面や柱面等の設備類(スイッチ、空調コントローラ、コンセント、テレビ、電話等)の移設、仮撤去復旧は、本工事に含む。	8.2.8 鋼材	a.材質等 *次による 種類の記号 使用箇所 名称 備考	8.2.14 鋼材の材料試験等	a.鋼材の材料試験 *行わない ・行う(対象鋼材: 1)試験要領は、改修構造[8.2.14(1)]による。 b.板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 *行かない ・行う(対象鋼材: c.高力ボルトの材料試験 *行かない ・行う(対象ボルト: 1)材料試験の有無によらず、JISマーク表示認証工場以外の製品を使用する場合は、 ×-R管理図を提出する。 2)材料試験を行なう場合は、JIS形高力ボルトはJIS B 1186、トルシア形高力ボルトはJSS IIに述べる試験方法に基づいて試験を行なう。抜取り数は、監理者との協議による。 d.トルシア形超高力ボルト(F14T)は、構造図に示す「トルシア形超高力ボルト試験要領」により、試験を行う。	
		8.1.9 [付加] 鉄骨製作工場	a.鉄筋の種類 規格名称 種類の記号 使用箇所 呼び径(mm) 備考	8.2.9 高力ボルト	a.あと施工アンカーの種類は次による。 1)金属系アンカー イ.アンカー本体の径、有効埋込み長さ、引張耐力、せん断耐力及び使用箇所 径(mm) 有効埋込み長さ 引張耐力(kN/本) せん断耐力(kN/本) 使用箇所	8.2.14 鋼材の材料試験等	a.鋼材の材料試験 *行わない ・行う(対象鋼材: 1)試験要領は、改修構造[8.2.14(1)]による。 b.板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 *行かない ・行う(対象鋼材: c.高力ボルトの材料試験 *行かない ・行う(対象ボルト: 1)材料試験の有無によらず、JISマーク表示認証工場以外の製品を使用する場合は、 ×-R管理図を提出する。 2)材料試験を行なう場合は、JIS形高力ボルトはJIS B 1186、トルシア形高力ボルトはJSS IIに述べる試験方法に基づいて試験を行なう。抜取り数は、監理者との協議による。 d.トルシア形超高力ボルト(F14T)は、構造図に示す「トルシア形超高力ボルト試験要領」により、試験を行う。	
		8.1.10 [付加] 鉄骨製作工場	b.溶接機器等の移設、仮撤去復旧は、設計図によるほか、壁面や柱面等の設備類(スイッチ、空調コントローラ、コンセント、テレビ、電話等)の移設、仮撤去復旧は、本工事に含む。	8.2.10 溶接材料	a.溶接金網、鉄筋格子の形状、寸法及び径 種類 記号 使用箇所 径(mm)	8.2.14 鋼材の材料試験等	a.鋼材の材料試験 *行わない ・行う(対象鋼材: 1)試験要領は、改修構造[8.2.14(1)]による。 b.板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 *行かない ・行う(対象鋼材: c.高力ボルトの材料試験 *行かない ・行う(対象ボルト: 1)材料試験の有無によらず、JISマーク表示認証工場以外の製品を使用する場合は、 ×-R管理図を提出する。 2)材料試験を行なう場合は、JIS形高力ボルトはJIS B 1186、トルシア形高力ボルトはJSS IIに述べる試験方法に基づいて試験を行なう。抜取り数は、監理者との協議による。 d.トルシア形超高力ボルト(F14T)は、構造図に示す「トルシア形超高力ボルト試験要領」により、試験を行う。	
		8.1.11 [付加] 一般事項	c.各部の部材部分に示される注記の意味は、次による。なお、□はその章・節又は項の全体に対する注記を示し、〔 〕は、それを付された項目(号)のみに対する注記を示す。なお、〔付加M〕のように、M又はPの文字を付された注記も、その意味はMやPを付されていない注記と変わらない。 1) [置換]: 共仕・改修仕様の当該章・節・項の規定を特記仕様書(以下、特仕)と同一の当該規定と置換する。 2) [(b)(2)書き換]: 共仕・繩仕の(b)(2)号の規定を、特仕の当該規定と置換する。 特仕本文で置換内容を示した場合は、「置換」とする場合がある。 3) [付加]: 共仕・改修仕様に特仕の当該規定を新規追加する(新設の章・節・項)。 4) [付加]: 共仕・改修仕様に特仕の当該規定を考単位で追加する。ただし改修構造の当該号が明確な場合は[(c)付加]のように表示することもある。 5) [追補]: 共仕・改修構造にない当該規定を新規追加する(新設の章・節・項)。	8.2.11 鋼筋	a.鋼筋の種類 規格名称 種類の記号 使用箇所 呼び径(mm) 備考	8.2.14 鋼材の材料試験等	a.鋼材の材料試験 *行わない ・行う(対象鋼材: 1)試験要領は、改修構造[8.2.14(1)]による。 b.板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 *行かない ・行う(対象鋼材: c.高力ボルトの材料試験 *行かない ・行う(対象ボルト: 1)材料試験の有無によらず、JISマーク表示認証工場以外の製品を使用する場合は、 ×-R管理図を提出する。 2)材料試験を行なう場合は、JIS形高力ボルトはJIS B 1186、トルシア形高力ボルトはJSS IIに述べる試験方法に基づいて試験を行なう。抜取り数は、監理者との協議による。 d.トルシア形超高力ボルト(F14T)は、構造図に示す「トルシア形超高力ボルト試験要領」により、試験を行う。	
		8.1.12 [付加] 一般事項	d.各部の部材部分に示される注記の意味は、次による。なお、□はその章・節又は項の全体に対する注記を示し、〔 〕は、それを付された項目(号)のみに対する注記を示す。なお、〔付加M〕のように、M又はPの文字を付された注記も、その意味はMやPを付されていない注記と変わらない。 1) [置換]: 共仕・改修仕様の当該章・節・項の規定を特記仕様書(以下、特仕)と同一の当該規定と置換する。 2) [(b)(2)書き換]: 共仕・繩仕の(b)(2)号の規定を、特仕の当該規定と置換する。 特仕本文で置換内容を示した場合は、「置換」とする場合がある。 3) [付加]: 共仕・改修仕様に特仕の当該規定を新規追加する(新設の章・節・項)。 4) [付加]: 共仕・改修仕様に特仕の当該規定を考単位で追加する。ただし改修構造の当該号が明確な場合は[(c)付加]のように表示することもある。 5) [追補]: 共仕・改修構造にない当該規定を新規追加する(新設の章・節・項)。	8.2.12 鋼筋	a.鋼筋の種類 規格名称 種類の記号 使用箇所 呼び径(mm) 備考	8.2.14 鋼材の材料試験等	a.鋼材の材料試験 *行わない ・行う(対象鋼材: 1)試験要領は、改修構造[8.2.14(1)]による。 b.板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 *行かない ・行う(対象鋼材: c.高力ボルトの材料試験 *行かない ・行う(対象ボルト: 1)材料試験の有無によらず、JISマーク表示認証工場以外の製品を使用する場合は、 ×-R管理図を提出する。 2)材料試験を行なう場合は、JIS形高力ボルトはJIS B 1186、トルシア形高力ボルトはJSS IIに述べる試験方法に基づいて試験を行なう。抜取り数は、監理者との協議による。 d.トルシア形超高力ボルト(F14T)は、構造図に示す「トルシア形超高力ボルト試験要領」により、試験を行う。	
		8.1.13 [付加] 一般事項	e.各部の部材部分に示される注記の意味は、次による。なお、□はその章・節又は項の全体に対する注記を示し、〔 〕は、それを付された項目(号)のみに対する注記を示す。なお、〔付加M〕のように、M又はPの文字を付された注記も、その意味はMやPを付されていない注記と変わらない。 1) [置換]: 共仕・改修仕様の当該章・節・項の規定を特記仕様書(以下、特仕)と同一の当該規定と置換する。 2) [(b)(2)書き換]: 共仕・繩仕の(b)(2)号の規定を、特仕の当該規定と置換する。 特仕本文で置換内容を示した場合は、「置換」とする場合がある。 3) [付加]: 共仕・改修仕様に特仕の当該規定を新規追加する(新設の章・節・項)。 4) [付加]: 共仕・改修仕様に特仕の当該規定を考単位で追加する。ただし改修構造の当該号が明確な場合は[(c)付加]のように表示することもある。 5) [追補]: 共仕・改修構造にない当該規定を新規追加する(新設の章・節・項)。	8.2.13 鋼筋	a.鋼筋の種類 規格名称 種類の記号 使用箇所 呼び径(mm) 備考	8.2.14 鋼材の材料試験等	a.鋼材の材料試験 *行わない ・行う(対象鋼材: 1)試験要領は、改修構造[8.2.14(1)]による。 b.板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 *行かない ・行う(対象鋼材: c.高力ボルトの材料試験 *行かない ・行う(対象ボルト: 1)材料試験の有無によらず、JISマーク表示認証工場以外の製品を使用する場合は、 ×-R管理図を提出する。 2)材料試験を行なう場合は、JIS形高力ボルトはJIS B 1186、トルシア形高力ボルトはJSS IIに述べる試験方法に基づいて試験を行なう。抜取り数は、監理者との協議による。 d.トルシア形超高力ボルト(F14T)は、構造図に示す「トルシア形超高力ボルト試験要領」により、試験を行う。	
		8.1.14 [付加] 一般事項	f.各部の部材部分に示される注記の意味は、次による。なお、□はその章・節又は項の全体に対する注記を示し、〔 〕は、それを付された項目(号)のみに対する注記を示す。なお、〔付加M〕のように、M又はPの文字を付された注記も、その意味はMやPを付されていない注記と変わらない。 1) [置換]: 共仕・改修仕様の当該章・節・項の規定を特記仕様書(以下、特仕)と同一の当該規定と置換する。 2) [(b)(2)書き換]: 共仕・繩仕の(b)(2)号の規定を、特仕の当該規定と置換する。 特仕本文で置換内容を示した場合は、「置換」とする場合がある。 3) [付加]: 共仕・改修仕様に特仕の当該規定を新規追加する(新設の章・節・項)。 4) [付加]: 共仕・改修仕様に特仕の当該規定を考単位で追加する。ただし改修構造の当該号が明確な場合は[(c)付加]のように表示することもある。 5) [追補]: 共仕・改修構造にない当該規定を新規追加する(新設の章・節・項)。	8.2.14 鋼筋	a.鋼筋の種類 規格名称 種類の記号 使用箇所 呼び径(mm) 備考	8.2.14 鋼材の材料試験等	a.鋼材の材料試験 *行わない ・行う(対象鋼材: 1)試験要領は、改修構造[8.2.14(1)]による。 b.板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 *行かない ・行う(対象鋼材: c.高力ボルトの材料試験 *行かない ・行う(対象ボルト: 1)材料試験の有無によらず、JISマーク表示認証工場以外の製品を使用する場合は、 ×-R管理図を提出する。 2)材料試験を行なう場合は、JIS形高力ボルトはJIS B 1186、トルシア形高力ボルトはJSS IIに述べる試験方法に基づいて試験を行なう。抜取り数は、監理者との協議による。 d.トルシア形超高力ボルト(F14T)は、構造図に示す「トルシア形超高力ボルト試験要領」により、試験を行う。	
		8.1.15 [付加] 一般事項	g.各部の部材部分に示される注記の意味は、次による。なお、□はその章・節又は項の全体に対する注記を示し、〔 〕は、それを付された項目(号)のみに対する注記を示す。なお、〔付加M〕のように、M又はPの文字を付された注記も、その意味はMやPを付されていない注記と変わらない。 1) [置換]: 共仕・改修仕様の当該章・節・項の規定を特記仕様書(以下、特仕)と同一の当該規定と置換する					

[(5)付加]		9.天然ガス圧接の工法は、圧接接合面の脆化防止のため高分子還元材を採用した工法とする。 また、日本鉄筋継手協会「ガス圧接性判定基準」に合格した工法認定を取得し、A級継手として性能が確認された工法とする。圧接技能者の認定に際しては監理者の承認を受ける。
[(6)(イ)置換]		10.圧接しようとする筋筋は、その端面が直角で平滑となるように、日本鉄筋継手協会による認定を受けた鉄筋冷間直角切断機を用いて切断する。
[(7)付加]		11.筋筋を切断したのち、圧接業者までに時間がある場合等で、監理者の承認のうえ、防錆上の観点から端面に圧接面保護剤を塗布することができる。圧接面保護剤は、日本鉄筋継手協会による認定を受けた、ガス圧接部の性能に影響を及ぼさない塗料を用いる。
[(10)(7)付加]		12.外観試験 1)目視による外観検査を全数実施するほか、次に示す詳細外観検査を行う。 イ)検査数は、抜き取り試験のロットあたり3箇所とする。 ロ)検査項目、検査方法、合否判定基準は、日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書ガス圧接施工工事(2017年)」(4.1.2 外観検査)による。 ハ)詳細外観検査を行ったのち、ロット番号、部材番号、鉄筋径、各項目の測定値、検査日、検査員等を結果一覧表に記録し、監理者へ提出するとともに、記録と検査部が照合できるようにする。
[(10)(イ)置換]		13.超音波探傷試験 1) *行う ・行わない 2) ロット当たりの抜き取本数及び抜取率 *30箇所 3) 試験方法、判定基準は、JIS Z 3062かつ、次の1)、2)による。試験の要領は日本鉄筋継手協会「ガス圧接工事標準仕様書」による。 1)超音波探傷試験の採触子の走査方法は、日本鉄筋継手協会「鉄筋コンクリート用異形筋鋼溶接部の超音波探傷試験方法及び判定基準」における直角に走査法とする。 2)超音波探傷試験の合否判定基準は、基準レベルの-26dB(日本鉄筋継手協会 A級継手相当)とする。 〔追補〕 1)超音波探傷試験の試験従事者は、当該工事のガス圧接作業に従事しない者とし、技量及び経験の証明となる資料により監理者の承認を受ける。 2)超音波探傷試験の試験技術者は、日本鉄筋継手協会による超音波探傷検査技術者とし、次による。 *2種又は3種かつJIS-UTレベル2以上の有資格者で検査会社に所属する者 ・種 3)機械式継手及び溶接継手 8.4.2 [付加] a.機械式継手の作業を行う技能資格者は、使用する機械式継手工法の技術講習を受講した作業者として認められた者とし、監理者の承認を受ける。 b.機械式継手の適用箇所、性能及び種類 平12建告第1463号に示す(*A級) 部位:() 工法:() c.鉄筋相手のあき *設計図による d.継手部品の試験を行う技能資格者は、当該工事における継手部の品質管理を行っていない者とし、技量及び経験の証明となる資料により監理者の承認を受ける。 e.試験を行う技能資格者は、日本継手協会による鉄筋継手部検査技術者1M種又は3種の有資格者で検査会社に所属する者とする。 f.機械式継手についての施工完了後の検査及び試験の要領は、日本継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書機械式継手工事(2017年)」による。 g.外観試験 1)目視による外観検査を全数実施する。検査項目、検査方法、合否判定基準は、日本継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書機械式継手工事(2017年)」(4.4.2 外観検査)による。 2)外観試験を行ったのち、部材番号、鉄筋径、各項目の測定値、検査日、検査員等を結果一覧表に記録し、監理者へ提出するとともに、記録と検査部位が照合できるようにする。 h.超音波測定試験 *行わない 1.検査で不合格が生じた場合は、直ちに作業を中止し、欠陥発生の原因を調査して必要な改善措置を定め、監理者の承認を得る。 2.外観試験で不合格となった継手部は、次の処置をとる。 1)継手部品に有害な損傷があった場合は、継手部品を交換又は継手部を切り取って再施工し、外観試験を行う。 2)鉄筋に挿入マークが施されていない場合や鉄筋に施した挿入マークが所定位置にない場合は、超音波測定試験を行う。 3)カフラーの両側からグラウト材が溢れ出ている場合は、原則として継手部を切り取つて再施工し、外観試験を行う。 4)超音波測定試験で不合格となった継手部は、不合格となった継手部を切り取って再施工(再度外観試験及び超音波測定試験を実施)、又は添え筋による補強とし、監理者と協議する。 添え筋による補強の場合の重ね継手の長さは、監理者の指示による。
8.4.3 [置換]		a.溶接継手は原則用いない。 溶接継手 5節 レディミクストコンクリート工場の選定、コンクリートの製造及び運搬 8.5.3 [付加] a.回収食のうちスラッジ水は、原則として使用しない。 コンクリートの発送のうち上澄水を使用する場合は、次の規定を満足する。配合計画にて水質試験結果を提出する。 検査項目 品質規準 検査頻度 検査方法 懸濁物質の濃度 透視度深さ20cm以上 (2g/l 以下) 1回/日 (始業前) 透視度計による目視 懸濁物質の量 ≤2g/l *X JIS A 5308 附属書C 溶解性残留物の量 ≤5g/l *X JIS A 5308 附属書C *X: 12か月に1回及び受注契約時に製造者と協議により必要と認められた場合
6節 コンクリートの品質管理 8.6.1 [(1)付加]		a.練り上がり時のコンクリート温度は、荷卸し時に35℃以下とし、できるだけ低く定める。 品質管理一般
7節 コンクリートの工事現場内運搬、打込み及び抹固め 8.7.2 [(1)置換]		a.フレッシュコンクリートの練混せ開始から打込み完了までの時間は、その間の外気温がコンクリートの機械混ぜから打込み終了までの時間 25℃以下の場合は90分以内、25℃を超える場合は60分以内とする。
8.7.8 型枠工事		a.外部に面するコンクリート打放し仕上げの場合の打増し *設計図による - 20mm - 25mm mm b.内部に面するコンクリート打放し仕上げの場合の打増しは、次による。ただし、化粧仕上げがある場合で、監理者の承認を受けた場合を除く。 *設計図による - 10mm mm c.シアコネクタとセパレーターの兼用 *兼用しない ・兼用してもよい
8節 コンクリートの試験等		[付加] a.外部に面するコンクリート打放し仕上げの場合の打増し *設計図による - 20mm - 25mm mm b.内部に面するコンクリート打放し仕上げの場合の打増しは、次による。ただし、化粧仕上げがある場合で、監理者の承認を受けた場合を除く。 *設計図による - 10mm mm c.シアコネクタとセパレーターの兼用 *兼用しない ・兼用してもよい
9節 軽量コンクリート 8.9.1 一般事項		[付加] a.常時又は水に直接接する部分 軽量コンクリートを *用いない ・用いる(8.1.3による) b.溶害の危険性 ・あり ・なし 溶害の危険性がありの場合には、断熱材の外側等凍結のおそれのある現場打ち部分には軽量コンクリートを用いない。 c.軽量コンクリートの種類 ・1種 気乾単位容積質量()t/m³ ・2種 気乾単位容積質量()t/m³
10節 番中コンクリート		
11節 無筋コンクリート 8.11.1 一般事項		[付加] a.無筋コンクリートの適用箇所 コンクリートの種類 適用箇所 設計基準強度(N/mm²) スランプ(cm) *普通コンクリート *18 - 21 *15 - 18 ・軽量コンクリート
12節 あと施工アンカー工事 8.12.2 [(1)付加]		a.施工管理技術者は、日本建築あと施工アンカー協会認定の次の有資格者とする。 *あと施工アンカー技術管理士 *あと施工アンカー主任技士 *あと施工アンカー主任技士
13節 鉄骨工作 8.13.2 鉄骨の工作図		[付加] a.あと施工アンカーの施工後の確認試験 *実施する ・実施しない 1)確認試験方法 *引張試験 2)ロットの定義 *1日に施工されたものの径及び仕様ごと 3)試験の箇所数 *1ロットに対し3本とし、ロットから無作為に抽出 4)確認強度 *アンカーの鋼材による引張荷重とコンクリート破壊による引張荷重(埋込み及びヘリあきの影響を受ける場合は低減した荷重)の小さい方の荷重の2/3とする。接着系の場合は、付着破壊の荷重も考慮する。
14節 高力ボルト接合 8.14.1 [置換]		a.高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの緯端距離、ボルト周囲、ゲージ等は以下による。 *設計図による
15節 溶接接合		[付加] d.試験方法、試験片の摩耗面の状態 *日本建築学会「高力ボルト接合設計施工ガイドブック」による
16節 スタッド溶接 8.16.2 [(1)置換]		[付加] e.ボルト長さがねじの呼び径の5倍を超える場合は、導入張力試験を行う。 綿付け施工法の確認
17節 鉄骨の鍛止め塗装 8.17.2 [(1)付加]		[付加] f.溶接作業における施工管理技術者の資格 *鉄骨製作管理技術者2級以上またはWES2级以上
18節 タンドド溶接 8.18.2 [付加]		[付加] g.溶接付加試験 *行わない
19節 耐火被覆 8.19.2 [付加]		[付加] h.開先形状 *設計図による
20節 タンドド溶接 8.19.4 [付加]		[付加] i.エンドタブの切削部 *配筋上支障となる部分 ・見え掛け部 ・柱梁仕口部
21節 鉄骨の鍛止め塗装 8.17.4 [付加]		[付加] j.エンドタブの切削部の仕上り程度 *エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から、1~5mm残して、部材断面を欠損しないように直線状に切削する。切削端が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。また切削面は、グラインダー掛けにより、粗さ100μmRz程度以下及びノッチ深さ1mm程度以下に仕上げる。
22節 耐火被覆 8.18.1 [付加]		[付加] k.エンドタブの仕上り程度 *適用部位: 配筋上支障となる部分 ・エンドタブ、裏当て金等は、切削のうえ、部材断面を欠損しないように切削面をグラインダー掛けにより仕上げる。適用部位、仕上げの程度は、次による。
23節 耐火被覆 8.18.2 [付加]		[付加] l.柱厚が異なる完全溶込み溶接突合せ継手の形状 *低応力高サイクル疲労を受ける部位 (適用部位:) [付加] m.完全溶込み溶接部のスカラップ形状 工場溶接 *ノンスカラップ工法 ・複合円型スカラップ工法 工事現場溶接 *複合円型スカラップ工法 ・ノンスカラップ工法 ・反転スカラップ工法 (梁端工事現場溶接のみ)
24節 溶接施工試験 8.18.3 [付加]		[付加] n.溶接施工試験 *行わない
25節 耐火被覆 8.18.4 [付加]		[付加] o.溶接施工試験 *引張試験 *行う (適用部位:) 溶接施工試験を行う場合は、事前に溶接施工試験要領書を作成し、監理者の承認を受ける。
26節 溶接施工試験 8.18.5 [付加]		[付加] p.溶接ロボットによる溶接施工試験 *溶接用ロボットが日本ロボット工業会の建築鉄骨溶接ロボット型式認定範囲内の溶接施工をする場合、本工事の施工条件を踏まえ、7.6.3に示すロボット溶接オペレータによる溶接施工試験を行う。事前に溶接施工試験要領書を作成し、監理者の承認を受ける。
27節 耐火被覆 8.18.6 [付加]		[付加] q.溶接ビードの見え掛け部のグラインダ掛け *行かない ・行う (適用部位: 仕上り程度:) 仕上げを行う場合、ビード高さは母材板厚以下にならないようする。
28節 溶接部の試験を行なう検査会社は、機器、材料製造者、専門工事業者一覧表から選定し、かつ受注との第三者性が確保されていると監理者が承認した検査会社とする。 8.15.11 [(2)付加]		[付加] r.溶接部の試験を行なう検査会社を行なう *設計図 (意匠図)による
29節 溶接部の試験を行なう 8.16.3 [付加]		[付加] s.受入検査 発注者の直接発注による受入検査 *行わない
30節 溶接部の試験を行なう技術資格者は、CIW(日本溶接協会溶接検査認定委員会)の認定事業所に所属し、鉄骨技術者教育センターが認定する「建築鉄骨溶接検査技術者」と「建築鉄骨超音波検査技術者」の資格を有する者とする。 8.16.4 [付加]		[付加] t.溶接部の試験を行なう検査会社は、機器、材料製造者、専門工事業者一覧表から選定し、かつ受注との第三者性が確保されていると監理者が承認した検査会社とする。
31節 溶接部の試験を行なう 8.16.5 [付加]		[付加] u.受入検査 発注者の直接発注による受入検査 *行わない
32節 溶接部の試験を行なう 8.16.6 [付加]		[付加] v.溶接部の試験を行なう技術資格者は、CIW(日本溶接協会溶接検査認定委員会)の認定事業所に所属し、鉄骨技術者教育センターが認定する「建築鉄骨溶接検査技術者」と「建築鉄骨超音波検査技術者」の資格を有する者とする。
33節 溶接部の試験を行なう 8.16.7 [付加]		[付加] w.溶接部の試験を行なう検査会社は、機器、材料製造者、専門工事業者一覧表から選定し、かつ受注との第三者性が確保されていると監理者が承認した検査会社とする。
34節 溶接部の試験を行なう 8.16.8 [付加]		[付加] x.耐火被覆の性能は、関係法規により次の適用とする。 *建築基準法施行令第107条の規定による要求性能を有するものとする *建築基準法施行令第108条の3の規定により大臣認定を受けたものとする
35節 溶接部の試験を行なう 8.16.9 [付加]		[付加] y.エレベーターシャフト内、エレベーター機械室及びエアチャンバー等の風圧、振動を受けた部位の耐火被覆 *設計図 (意匠図)による
36節 溶接部の試験を行なう 8.16.10 [付加]		[付加] z.PSやEPS、電気室、機械室等の柱やプレース部で、メンテナンス要員の通行等が多い部位の露出部の耐火被覆 *設計図 (意匠図)による
37節 溶接部の試験を行なう 8.16.11 [付加]		[付加] aa.厨房、浴室等の湿潤状態にある部位の耐火被覆 *設計図 (意匠図)による
38節 溶接部の試験を行なう 8.16.12 [付加]		[付加] ab.天井裏をヤンバーとして使用する部位の耐火被覆 *設計図 (意匠図)による
39節 溶接部の試験を行なう 8.16.13 [付加]		[付加] ac.耐火被覆の性能は、関係法規により次の適用とする。 *建築基準法施行令第107条の規定による要求性能を有するものとする *建築基準法施行令第108条の3の規定により大臣認定を受けたものとする
40節 溶接部の試験を行なう 8.16.14 [付加]		[付加] ad.耐火被覆の性能は、関係法規により次の適用する。 *地盤構造の有無、材料破損の有無、固定ピンの腐食について、大臣認定内容に基づき所定の性能を確保する。
41節 溶接部の試験を行なう 8.16.15 [付加]		[付加] ae.耐火被覆工法では、補強材や耐火板接合釘等を用いて鉄骨を被覆し、所定の性能を確保する。
42節 溶接部の試験を行なう 8.16.16 [付加]		[付加] af.吹付け工法では大梁フランジ下端面(W300mm以上の場合)、風圧・振動を受けるところ等、はく離が起きやすい箇所は、プライマー処理等付着性の確認を行い、監理者の承認を受ける。
43節 溶接部の試験を行なう 8.16.17 [付加]		[付加] ag.耐火被覆表面で鍛止め塗装を施したうえに耐火被覆材を吹き付ける場合は、接着剤との適合性を確認のうえ、プライマー処理等付着性の確認を行い、監理者の承認を受ける。
44節 溶接部の試験を行なう 8.16.18 [付加]		[付加] ah.溶接部張り工法では、補強材や耐火板接合釘等を用いて鉄骨を被覆し、所定の性能を確保する。
45節 溶接部の試験を行なう 8.16.19 [付加]		[付加] ai.耐火被覆工法では、地盤構造の有無、材料破損の有無、固定ピンの腐食について、大臣認定内容に基づき所定の性能を確保する。
46節 溶接部の試験を行なう 8.16.20 [付加]		[付加] aj.耐火被覆工法では、地盤構造の有無、材料破損の有無、固定ピンの腐食について、大臣認定内容に基づき所定の性能を確保する。
47節 溶接部の試験を行なう 8.16.21 [付		

20節 溶融垂鉛めつき工法	8.20.5 溶融垂鉛めつき 高力ボルト接合 [付加]	a.溶融垂鉛めつき高力ボルトの摩擦面の処理 *プラスチック処理(適用部位： ○りん酸塩処理(適用部位：屋根下地鉄骨等 b.リリース処理を施したすべり係数試験体と同様の処理を施した対比試験片を、工場、工事現場用に用意し、これを見本として摩擦面の管理を行う。		【付加】 b.コンクリート打込み時には、型枠や増設部分に接する既存コンクリート面は、十分吸水させた状態とする。 8.23.6 a.柱頭及び柱脚の隙間 *隙間を設ける(寸法：*設計図による ・隙間を設けない 8.23.7 a.補強工事後の仕上げ *設計図による 8.23.7 仕上げ		
21節 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	8.21.2 既存部分の撤去等 [付加]	a.既存仕上げの撤去範囲 *設計図による ・本工事に支障となる最小限の範囲 b.工事に支障となる設備機器、配管等の撤去及び移設 1)位置方法 *指定された設備機器、配管等を撤去及び処分する。ただし、撤去が指定されていない設備機器、配管等のうち、軸体撤去部分に打ち込まれているもの及び新設・増設軸体部分にあるものについては、施工時に一時撤去し、復旧する。 2)撤去範囲 *設計図による c.既存構造体の撤去範囲 *設計図による ・増設又は新設コンクリート壁が土間コンクリートと干渉する場合には、国土交通省監修「建築改修工事監理指針 平成28年版」8.21.2による d.既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の処置は、次による。 鉄筋の切断 範囲 適要 ・既存鉄筋は切断せず残す *設計図による ・すべての撤去部分 ・適用なし ・コンクリート撤去範囲の周囲より一定長さを残し 切断する ・コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する *撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 (切断せず残す範囲を除く) ・適用なし ・適用なし ・適用なし		8.24.1 【付加】 a.連続織維補強工事 一般事項 8.24.4 既存部分の撤去等 a.仕上げモルタルの除去 *既存構造部全面で除去する b.仕上げモルタルの強度調査 ・行う(調査箇所：全数 調査方法：シュミットハンマー試験 ・行わない 8.24.6 施工 a.下地処理 1)ひび割れ部の改修 ・行う 2)柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ・適用なし b.連続織維補強材の強度試験 1)引張強度試験 *実施しない 2)付着強度試験 *実施しない c.炭素繊維シートの巻き数 *設計図による ・1巻き ・2巻き 8.24.7 仕上げ a.補強工事後の仕上げ *設計図による 8.25.2 施工 a.耐震スリットの幅及び深さ *設計図による b.スリット部への充填材の挿入及び周囲補修 1)耐火材の使用箇所及び仕様 *設計図による 2)遮音材の使用箇所及び仕様 *設計図による 3)既存部分の撤去部の補修 *設計図による ・撤去部と同一材で補修 [付加] c.耐震スリットの施工方法 *設計図による ・ダイヤモンドカッターによる連結削孔 ・チェーンソー		
8.21.3 既存部分の処理 [付加]	e.はり出した鉄筋の処置 *鉄筋及び既存コンクリートに損傷を与えないようはり出し、かぶり厚さを確認し、付着性能を損ねないように清掃後養生を施す f.はり出した鉄骨の処置 *鉄骨及び既存コンクリートに損傷を与えないようはり出し、かぶり厚さを確認し、付着性能を損ねないように清掃後養生を施す		8.28.2 既存杭の撤去範囲及び撤去方法 *設計図による b.既存杭の杭頭部の処理 *設計図による c.既存杭の補強 *設計図による d.既存杭の健全性の確認試験 *設計図による 8.28.3 土工事 a.埋戻し及び盛土の材料及び工法の種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 b.建設発生土の処理 ・設計図による ・構外に搬出し、関係法令等に従い、適切に処理する [付加] c.山留めの存置 ・する *しない			
8.21.6 鉄筋の加工及び組立 8.21.8 コンクリートの打込み [付加]	a.割裂補強筋の仕様 *設計図による b.コンクリートの打込み工法の種類 補強工法 打込み工法 部位 ◎流込み工法 ◎すべての増設壁 ・設計図による ・圧入工法 ・すべての増設壁 ・設計図による 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・工法指定なし ・すべての増設壁 ・設計図による b.コンクリート打込み時には、型枠や増設部分に接するコンクリート面は、十分吸水させた状態とする。		8.28.4 地盤工事 a.杭の載荷試験 *行わない ・行う(次による) 1)試験杭の位置、本数、寸法及び載荷荷重 *設計図による 2)試験杭の施工方法 *設計図による 3)杭の載荷試験 ・鉛直 ・水平 4)杭の載荷試験の方法 5)報告書の記載事項 b.地盤の載荷試験 *行わない ・行う(次による) 1)地盤の載荷試験の種類 *平板載荷試験 2)試験位置及び載荷荷重 *設計図による 3)載荷試験の方法 *設計図による 4)報告書の記載事項 *設計図による c.杭地盤 1)杭地盤の工法 *設計図による ・8.2.14による 2)支持層の位置及び土質 *設計図による ・8.2.14による 3)杭の根入れ長さ *設計図による ・8.2.14による 4)杭の水平方向の位置ずれの精度 *設計図による ・8.2.14による 5)杭の寸法等 *設計図による ・8.2.14による 6)溶接資格者の技量 *設計図による ・8.2.14による 7)溶接部の確認 *設計図による ・8.2.14による 8)杭頭の処理 *設計図による ・8.2.14による 9)本杭の施工方法 *設計図による ・8.2.14による 10)杭の施工状況記録の記載事項 *設計図による d.砂利、砂、捨コンクリート地盤等 1)砂利及び砂地盤の範囲及び厚さ ・設計図による ・60mm 2)捨コンクリートの範囲及び厚さ ・設計図による ・50mm			
8.21.9 既存構造体との取合い [付加]					a.既存構造体と増設壁との取合いの処理方法 部位 処理方法 備考 ・増設壁の上部 *グラウト材を注入 *寸法は設計図による 8.21.10 仕上げ a.増設壁工事後の仕上げ *設計図による	
22節 鉄骨フレースの設置工事 8.22.7 既存構造体との取合い [付加]	a.割裂補強筋の仕様 *設計図による					
	b.フレース設置工事後の仕上げ *設計図による					
23節 柱補強工事 8.23.5 溶接金網巻き工法 及び溶接閉鎖フープ巻き工法					a.コンクリート及び構造用モルタルの打込み工法の種類 補強工法 打込み工法 部位 ・流込み工法 ・すべての補強柱 ・設計図による ・圧入工法 ・すべての補強柱 ・設計図による ・工法指定なし ・すべての補強柱 ・設計図による	
看工	代表となる設計者 勝矢 武之 一級建築士 その他の設計者 久次米 真一 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認) 宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士 若松 宏輔 中村 優人 大和 紗子	日建設計 (仮称)人生100年の学びの拠点 中領別学園整備工事 2024.8.30 検査者:宇田川 貴章 改修工事特記仕様書(3) No. J-221730-C 23.07.31 仕様書委員会 発行 Ver.2.0 780 × 570		
復工				
監理				
施工				







代表となる設計者 勝矢 武之 一級建築士
その他の設計者 久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認)
宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士
若松 宏輔
中村 優人
大和 梅子

日建設計 (仮称)人生100年の学びの拠点
中頓別学園整備工事

(通し番号 000)
12 - 3

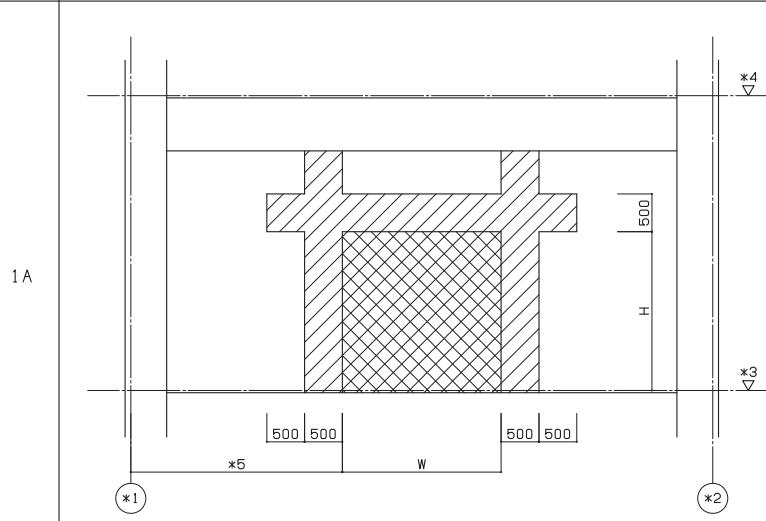
No. J - 221730 - C

2024. 8.30 検査者:宇田川 貴章 棟2 改修前後図(R階床梁伏図) A1=1/200 A3=1/400

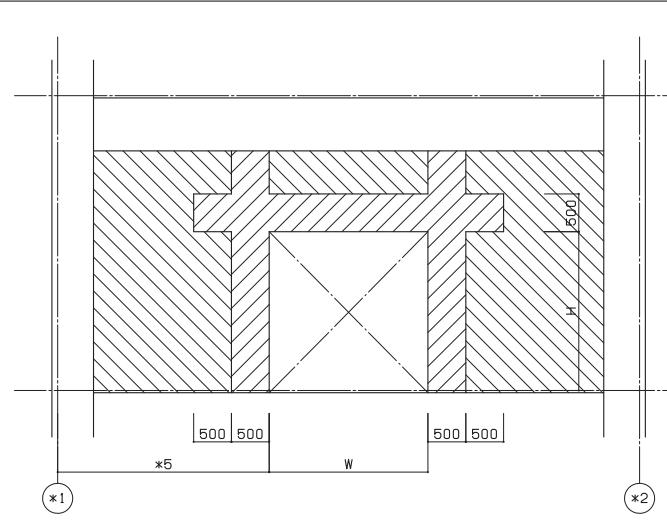
耐震壁解体範囲図

A1:1/50
A3:1/100
注記) 記入なき限り下記による。
1.
2.

撤去

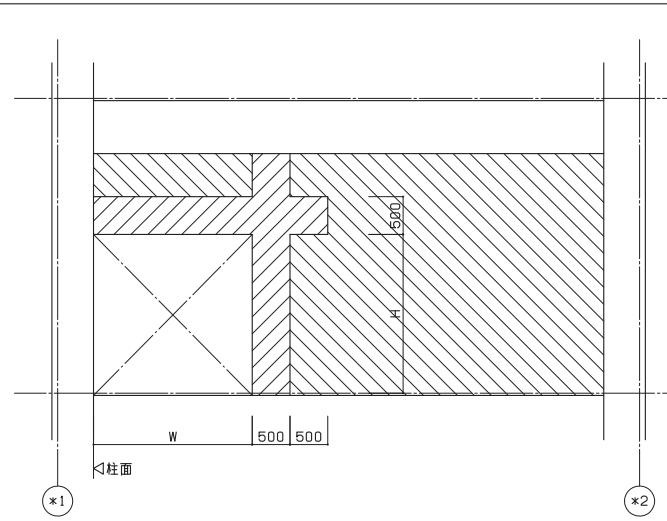
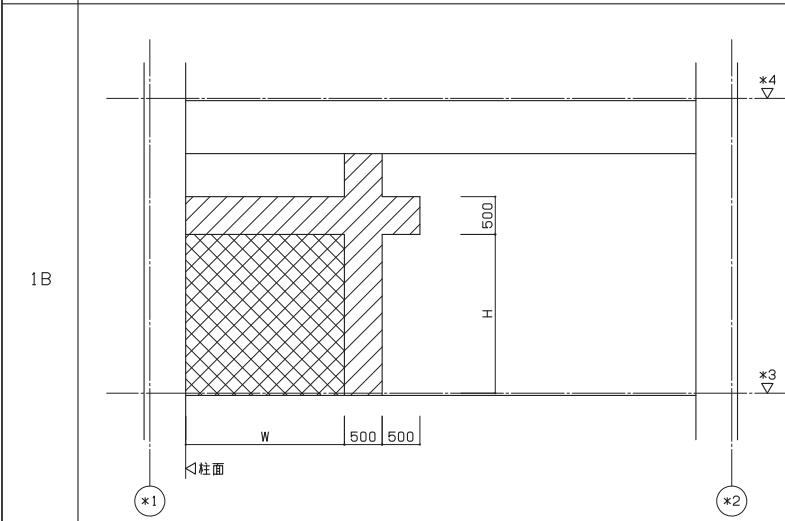


改修

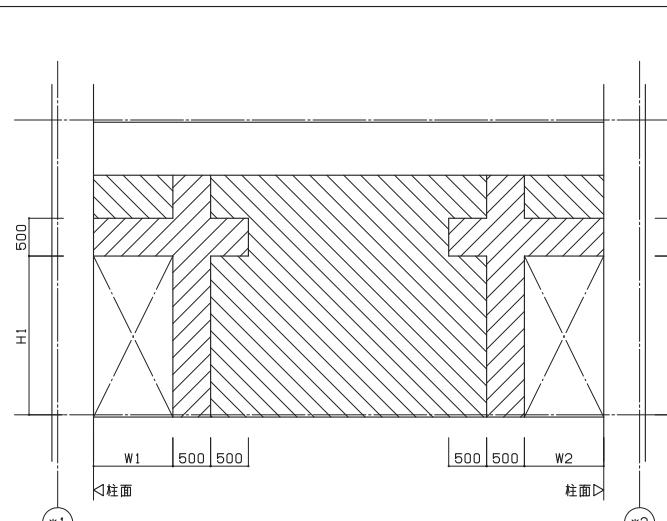
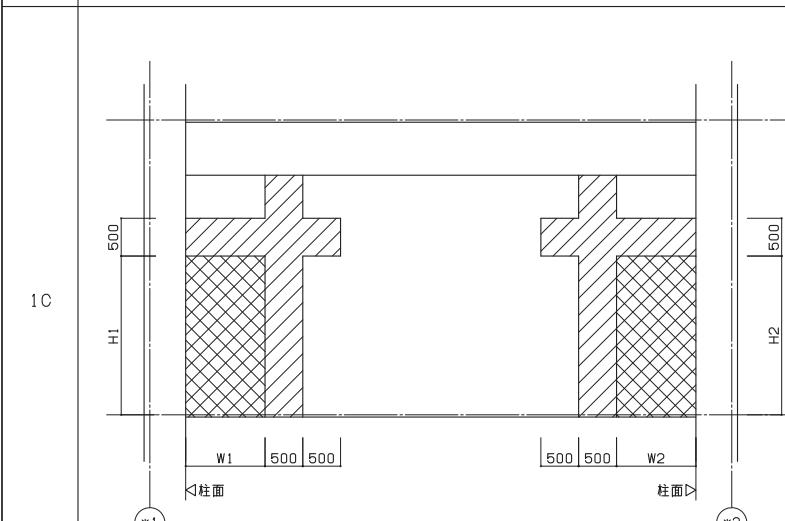


改修範囲

所属通	通芯				階	開口位置	躯体開口幅	躯体開口高
	*1	*2	*3	*4				
X7	Y3	Y4	1FL	2FL	2600	1400	2100	
X13	Y1	Y2	1FL	2FL	2800	2100	2100	
X15	Y1	Y2	1FL	2FL	2800	2100	2100	
X18	Y3	Y4	1FL	2FL	?	2100	2100	
Y2	X19	X20	2FL	3FL	960	1200	2100	



所属通	通芯				階	開口位置	躯体開口幅	躯体開口高
	*1	*2	*3	*4				
X9	Y1	Y2	1FL	2FL	2100	2100		
X17	Y2	Y1	1FL	2FL	2100	2100		
X19	Y4	Y3	1FL	2FL	2100	2100		



所属通	通芯				階	開口位置	躯体開口幅	躯体開口高
	*1	*2	*3	*4				
X6	Y1	Y2	1FL	2FL	1050	2100	1050	2100

□ : 鉄筋とコンクリートを撤去
▨ : 鉄筋を残置、鉄筋に損傷を与えないようコンクリートを撤去

共通

□ : 既存壁面を目荒らしのうえ、コンクリート t100打増とする。
打増部の配筋はD10@200シングルとする。

▨ : 既存壁小口を目荒らしのうえ、コンクリート t250打設する。
開口補強筋と既存壁筋、打増部壁筋に加え、開口周囲にコの字筋を配筋する。

着工	.	.	.
竣工	.	.	.
監理	.	.	.
施工	.	.	.

代表となる設計者 藤矢 武之 一級建築士
その他の設計者 久次米 薫 一級建築士・構造設計一級建築士(法適合確認)
宮城 正弘 一級建築士・構造設計一級建築士
若松 宏輔
中村 優人
大和 純子

日建設計

(仮称)人生100年の学びの拠点
中領別学園整備工事

(通し番号)
構 12 - 4

2024. 8.30

検査者:宇田川 貴章

耐震壁解体範囲図

A1=1/50

A3=1/100

No. J - 221730 - C

着工	
竣工	
監理		..	
施工		..	

代表となる設計者	勝矢 武之	一級建築士
その他の設計者	久次米 薫 宮城 正弘 若松 宏輔 中村 優人 大和 純子	一級建築士・構造設計士 一級建築士・構造設計士 一級建築士・構造設計士 一級建築士 一級建築士

日建設計

中頓別学園整備工事	12-5
2024.8.30 検査者：宇田川 貴章 檢査部位：棟2 配筋詳細図等 A1=1/20 A3=1/20	No. J-221730-C